
THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP
KYOKUSHIN・INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION・
+日本赤十字社　災害義援金チャリティー
第58回 オープントーナメント
全日本空手道選手権大会



＋日本赤十字社
災害義援金チャリティー

第58回 オープントーナメント
全日本空手道選手権大会

主催／国際空手道連盟 極真会館　館長／松井章奎

協賛／KAATSU JAPAN 株式会社　シダックス株式会社

後援／日本赤十字社　公益財団法人 全日本空手道連盟　スポーツ庁　メディアエイト　ワールド空手

2026年11月7日㈯8日㈰　東京体育館

＋日本赤十字社　災害義援金チャリティー

第58回 オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

11/7 土

10:00	**開会式**
10:20	**女子1回戦**（7試合）
10:50	**男子1回戦**（17試合）
11:50	**女子2回戦**（8試合）
12:20	**初日試合終了**

11/8 日

9:30	**男子2回戦**（32試合）
11:30	**男子3回戦**（16試合）
13:10	**開会式**
13:20	**選手紹介**
13:30	**ルール説明**
14:00	**試割り（男子のみ）** ①正拳 ②足刀 ③猿臂 ④手刀
14:35	**男子4回戦**（8試合）
15:15	**女子3回戦**（4試合）
15:30	**男子準々決勝戦**（4試合）
15:50	**女子準決勝戦**（2試合）
16:00	**男子準決勝戦**（2試合）
16:15	**演武**
16:35	**女子3位決定戦**（1試合）
16:40	**男子3位決定戦**（1試合）
16:45	**女子決勝戦**（1試合）
16:50	**男子決勝戦**（1試合）
17:15	**表彰式・閉会式**
17:35	**大会終了**

※両日とも進行状況により時間が変動する場合があります。

試合時間

女子1～3回戦	①本戦　2分間 ②延長戦　2分間 ③体重判定（有効差5kg） ④再延長戦2分間の順で勝敗を決する
女子準決勝戦以降	①本戦　3分間 ②延長戦　2分間 ③再延長戦2分間 ④試割の枚数 準決勝は手刀 決勝戦・3位決定戦は猿臂 体重判定（有効差5kg） ⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する
男子1～3回戦	①本戦　2分間 ②延長戦　2分間 ③体重判定（有効差10kg） ④再延長戦2分間の順で勝敗を決する
男子4回戦以降	①本戦　3分間 ②延長戦　2分間 ③再延長戦2分間 ④試割の合計枚数 体重判定（有効差10kg） ⑤再々延長戦2分間の順で勝敗を決する



国際空手道連盟 極真会館 館長

松井章圭

◎大会ごあいさつ

+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第58回オープントーナメント全日本空手道選手権大会

本日は、御来場いただき誠にありがとうございます。

皆様方の温かい御支援を賜り、『日本赤十字社 災害義援金チャリティー 第58回オープントーナメント全日本空手道選手権大会』を、ここに開催できますことを心より御礼申し上げます。

1969年に第1回大会を開催して以来、全日本空手道選手権大会は半世紀以上にわたり、直接打撃制空手の頂点を競う大会として、数々の名勝負とともにその歩みを刻んでまいりました。歴代の選手たちが築き上げてきた伝統と誇りは、今日に至るまで脈々と受け継がれ、極真空手の発展を支える大きな礎となっています。この伝統ある大会を本年も開催できますことを大変喜ばしく存じますとともに、長年にわたり御支援、御協力を賜りました皆様方に、改めて深く感謝申し上げます。

本日開催される全日本空手道選手権大会は、前述のように『直接打撃制ルール』の競技会としては最も歴史が古く、伝統と権威のある大会となっております。第58回目となる本大会には全国で選抜された組手競技の選手をはじめ海外からの招待選手など男子81名・女子23名の合計104名が出場し、2日間にわたって体重無差別で直接打撃制空手の『日本一』を競います。

そして、来年には極真会館の最大行事である『第14回全世界空手道選手権大会』が開催されます。世界各国各地域から集う強豪選手たちが、体重無差別の頂点を懸けて競い合うこの大会は、極真会館の活動の真価を世に問う重要な機会となります。その世界大会に向けた『日本代表選手選抜戦』となる本大会は、国内の頂点を競うと同時に、世界の頂点を目指す選手たちにとって、まさに世界への扉を開く重要な戦いになります。

日本代表の座を懸け、有力選手や次代を担う新鋭達がしのぎを削る中で、どの選手が勝ち上がり、世界への切符を掴むのか。長年にわたり全日本大会を彩ってきた数々の名勝負に加え、来年の世界大会を見据えた新たな戦いに、ぜひご注目いただき、ご期待くださいますようお願いいたします。

極真会館の象徴の一つとも言える『全日本選手権大会』の価値は、単に優勝者を決めることだけにあるのではありません。選手たちが競技を通じて互いに高め合い、その姿が観る者の心を動かし、次の世代に新たな目標を与えることにも大きな意義があります。伝統とは、過去の歩みをそのまま守り続けることだけではなく、先人が築いた礎の上に新たな挑戦を積み重ね、未来へとつないでいくものです。今大会においても、選手たちの熱戦を通じて極真空手の持つ力と魅力が広く伝わり、さらなる発展につながるよう願っております。

一方で、極真会館は『競技団体』ではなく、『武道団体』であり、極真会館においての競技会・大会というのは、武道を志す者達の修行の場であるべきだと考えます。武道・武術である以上は『最強を目指す』という意味での『実戦性』が示されること。競技会である以上は、師・大山倍達が『地に沿った基本、理に適った型、華麗なる組手』『品格と理念のある空手が極真空手である』と常々教示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして社会体育活動である以上は、『安全性』が担保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。この『実戦性』、『競技性』、『安全性』、そして武道としての『精神性』や極真としての『理念』が顕在化される『修行の場』としての競技会・大会でなければなりません。

私達は、師・大山倍達から極真は『勝負偏重主義』であると教示されてきました。これは決して『勝利至上主義』ではなく、『勝』『負』のそれぞれを同様に重んじ受け止めるという精神です。試合には必ず勝者・敗者が生まれますが、『勝って驕らず、負けて挫けず』の精神を以て、各々がそこで得た結果を受け入れ、学んだことを明日からの稽古に活かし、さらなる成長を目指すということですので、選手の皆さんはぜひこの主旨を心に刻み、正々堂々と本日の試合に臨んでいただきたいと思います。

改めまして、私供、『国際空手道連盟 極真会館』は、我々の師である大山倍達が波乱万丈の人生の中で様々な経験を経て導き出した『頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する』という極真の理念に基づき、『真を極める』という志を団体名として活動を展開する武道団体です。また極真空手とは、師が教示した『実践なくんば証明されず、証明なくんば信用されず、信用なくんば尊敬されない』『力なき正義は無能なり、正義なき力は暴力なり』という独自の精神性に則った『実践空手・実戦空手』（実際に行うという意味と実際に戦うという意味を併せ持つ空手）を標榜する空手道であり、日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求するとともに、『極真会館・命知元年』で示した『世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める』という団体活動目的と『最強求道の志・相互互恵の志・永続繁栄の志』という3つの団体活動指針を基盤としています。極真会館は、日本の優れた伝統文化である武道精神と極真空手の普及を通じて「心・技・体」ともに人格の陶冶、健全な青少年の育成と各世代の健康増進、社会福祉、国際交流など『武道を通じて社会に貢献する』『武道を通じて世界平和に寄与する』という信念の下、武道団体・社会体育徳育団体として今後も様々な活動に邁進していく所存です。

なお、極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内の全ての大会や行事を災害義援金チャリティーとして開催しております。武道を通じて培われる他者を思いやる心と、社会の一員として果たすべき責任を忘れることなく、今後もこうした活動を通じて社会貢献に努めて参る所存ですので、皆様方にも引き続き御理解と御協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会の開催にあたり、多大なる御支援を賜りました御協賛各社様、御後援を賜りました各団体・各社様、ならびに御協力、御尽力を賜りました多くの皆様方に、衷心より敬意と感謝の意を表し、ご挨拶といたします。

本日は誠にありがとうございました。

GREETINGS

Officials
大会役員



大会実行委員長
松井 章奎
極真会館 館長
Championship Chairman
Matsui Shokei
President of the
I.K.O. Kyokushinkaikan



大会審議委員会相談役
待田京介
極真会館 大会特別相談役
Championship Committee Advisor
Machida Kyosuke
I.K.O. Special Advisor



大会審議委員長 兼 大会審判長
磯部 清次
極真会館 国際委員会委員
Championship Supreme Judge
Isobe Seiji
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
ケニー・ウーテンボガート
極真会館 国際委員会委員
Championship Executive Judge
Kenny Uytenbogaardt
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長
山田 雅稔
極真会館 副審判委員長
Championship Executive Judge
Yamada Masatoshi
I.K.O. Officiating Committee Vice Chairman



大会審議委員
河岡 博實
極真会館 審判委員会委員
Kawaoka Hiromi
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
五来 克仁
極真会館 国際委員会委員
Gorai Katsuhito
I.K.O. International Committee Member



大会審議委員
川畑 幸一
極真会館 審判委員会委員
Kawabata Kouichi
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
スチュアート・コリガル
極真会館 審判委員会委員
Stuart Corrigal
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員
浜井 良顕
極真会館 審判委員会委員
Hamai Yoshiaki
I.K.O. Officiating Committee Member



大会実行副委員長
福田 勇
極真会館 総本部師範
Fukuda Isamu
I.K.O. Honbu Shihan



大会実行委員
八巻建志
極真会館 総本部師範
Yamaki Kenji
I.K.O. Honbu Shihan

大会名誉顧問
菅　義偉（前衆議院議員）
小沢一郎（前衆議院議員）
亀井静香（元衆議院議員）
佐藤義昭（加圧トレーニング®発明者）
佐藤可士和（クリエイティブディレクター）

大会特別顧問
澤井明彦（株式会社サン・ラック代表取締役社長）
志太勤一（シダックス株式会社代表取締役会長兼社長）

大会相談役
泉　和彦（団体代表役員）
伊東信久（衆議院議員、医師）
大下英治（作家）
川島智太郎（元衆議院議員）
行田邦子（埼玉県行田市長）
篠崎　進（総本部特別相談役）
藤巻　潤（俳優）
山口　拓（東京都議会議員）
（※五十音順）

大会評議委員会
杉村福次郎

大会医事
極真会館 医事委員会

大会運営委員会
杉村多一郎（運営委員長）
青木英憲　　佐々木敏也
今西登之彦　　鈴木由一
江口芳治　　田口恭一
柿沼英明　　立川善久
鴨志田裕寿　　根本清志
川本英児　　羽田シゲル
菅野秀行　　ホスロ・ヤグビ
毛塚慎一　　（※五十音順）

国際空手道連盟及び参加協力団体
国際空手道連盟 剛毅會
国際空手道連盟 全日本真正空手道連盟 真正会
国際空手道連盟 錬空武館



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

第58回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催／国際空手道連盟 総本部 極真会館　館長／松井章圭

2027第14回世界大会日本代表選手選抜戦

ルール改定10年の進化を体現するのは誰か、世界を見据えた戦いが新たな時代を切り開く

1969年の創設以来、数々の伝説を生み出してきた直接打撃制空手の最高峰・
全日本空手道選手権大会。第58回目を迎える今大会は、来年に控える
「第14回全世界空手道選手権大会」の出場権を懸けた運命の日本代表選抜戦となる。
体格差や階級の壁を越えて争われる今回の無差別トーナメントには、国内外の実力者や勢いのある新鋭が集結。
組手競技の「ルール改定から10年という節目の大舞台で、新時代の旗手として世界への切符を掴むのは誰なのか。
覇権奪取を期す国内外の実力者から新進気鋭の若手まで、日本一の座を懸けて激突する
男子・女子各ブロックの注目選手と勝ち上がりの行方を展望する。


男子AブロックNo.1大秦稜司（左）


男子AブロックNo.21飯塚翼（右）


男子BブロックNo.27田水春樹（左）


男子AブロックNo.11髙田悠一郎（右）


男子BブロックNo.22樋口知春（左）


男子BブロックNo.40西村大河（右）

1969年に第１回大会が開催されて以来、半世紀以上にわたり、直接打撃制空手の最高峰として伝統と格式を築いてきた全日本空手道選手権大会。今年で第58回を迎える本大会は、来年開催される「第14回全世界空手道選手権大会」の日本代表選手選抜戦でもある。

国内最高峰のタイトルを目指す戦いであると同時に、世界の頂点を目指す選手たちにとって、世界大会の出場権を懸けた重要な一戦となる。

無差別で争われる過酷なトーナメントでは、実績を誇るトップ選手がその力を示すのか、それとも新たな才能が台頭し、勢力図を塗り替えるのか。体格や技術の違いを超え、心・技・体のすべてが問われる戦いのなかで、一瞬の判断と最後まで攻め抜く姿勢が勝敗を左右する。

国内の実力者、海外からの招待選手、新進気鋭の若手たちがしのぎを削るなか、どのような戦いが展開されるのか。来年の世界大会を見据えた選手たちの動向とともに、各ブロックの有力選手や勝ち上がりの行方を展望する。

■男子Aブロック

Aブロックは、昨年12月の第57回全日本大会で６位に入賞し、技能賞も獲得した大秦稜司（No.1=ゼッケン番号）が中心となりそうだ。大秦は2025年4月の全世界体重別大会－80kg級で優勝。昨年の全日本では、準々決勝でゴリウシキン・ダニル（I.K.O.ロシア）に敗れたものの、大型選手を相手に果敢な攻めを見せ、その実力を印象づけた。

対抗馬として挙げたいのが、髙田悠一郎（No.11）と飯塚翼（No.21）だ。髙田は2025年8月の全日本体重別大会－80kg級を制し、一方の飯塚は、2025全世界体重別大会－80kg級で準優勝。大秦、髙田、飯塚の３者は同じ－80kg級で実績を上げており、体格差もほとんどない。順当であればまず大秦と髙田の対戦が予想され、その勝者と飯塚が準々決勝で顔を合わせるという構図。特に世界体重別決勝で大秦に惜敗している飯塚にとっては絶対に負けられない戦いになる。一方、ゼッケン１番を背負う大秦は「決勝進出が与えられた最低限の使命」とさらにその先を見据える。

このブロックで注目したいのが、穐山和斗（No.6）と木山獅勇（No.12）の新鋭たち。両者ともに180cmを超える長身でスケールの大きい組手が特徴。大秦や飯塚といった本命を破って一気に上位進出の可能性も否定できない。

この他、海外勢のコベレフ･セルゲイ（No.16）やコストフ・ボゴミル（No.17）も、勝ち上がり次第ではシード選手たちを脅かす可能性もある。実績で一歩先を行く大秦が順当に勝ち上がるのか、それとも髙田や飯塚らがその前に立ちはだかるのか。Aブロックは、実力者同士の競り合いが見所となりそうだ。

■男子Bブロック

続いてBブロックは、昨年の第57回全日本大会で８位に入賞した西村大河（No.40）の存在感が際立つ。昨年は４回戦でエキモフ・マクシム（I.K.O.ロシア）を判定で破る殊勲の勝利を挙げ、準々決勝へ進出。世界屈指の強豪を相手に果敢な組手を展開した。今大会では昨年に続く上位入賞、さらにその上の表彰台を目指す。

ブロック先頭は2024全日本体重別－70kg級優勝者の樋口知春（No.22）。無差別全日本は２年ぶりの出場になるが、29歳のベテランらしい駆け引きで、秋山大知（No.26）ら勢いのある若手を翻弄する場面が見られるかもしれない。

日本重量級の逸材と言えるのが田水春樹（No.27）。田水は同じく重量級の足立龍二（No.28）を初戦の２回戦で退ければ、３回戦は2025年全ロシア大会＋90kg級準優勝者で190cm、110kgのユラソフ・エフゲニー（No.31）との対戦が有力。田水が自分より大きいユラソフに対してどんな試合展開を見せるのか、来年の世界大会に向けた試金石となる。とはいえ、ユラソフは２回戦で世界大会３度出場の清水祐貴（No.30）との対戦が予想され、試合巧者の清水がユラソフを封じ込めることも大いに考えられる。

Bブロックで台風の目になりそうなのが、グリンスキフ・ウラジスラフ（No.32）。195cm・98kgの大型で、今年６月のアジアオープンカップでは決勝でフェドシーフ・アレクセイ（I.K.O.ロシア）を破って優勝した実力者だ。また、世界体重別大会以来の復帰戦になる徳田寛大（No.35）は初戦（２回戦）でブラトリー・ノーラン（No.34）、３回戦でグリンスキフと外国人選手との対戦が続くことが予想され、何とかクリアして３度目の世界大会出場に繋げたい。

Bブロック全体を通して、ユラソフやグリンスキフなど大型選手の体格差を生かした圧力や長いリーチに日本勢がどう対応するかが重要なポイントと言えそうだ。

■男子Cブロック

Cブロックは、昨年の第57回全日本大会で４位に入賞したベロフ・マクシム（No.41）が、前半の有力候補になる。192cm、110kgの大型で、体格とパワーを生かした組手が持ち味。今大会でもその実力を発揮して上位へと勝ち進むことが予想される。

対する日本勢は３回戦で佐藤拓海（No.44）、４回戦で山上大輝（No.46）が有力。前回第13回世界大会で共に技能賞を受賞した二人がベロフのパワーにどう対抗するのかがCブロックの行方を左右する。

また、１回戦の橋田裕彦（No.48）と岩田大（No.49）の試合は、３月の埼玉県大会決勝の再戦。３月は若い橋田が競り勝ったが、岩田は９月の神奈川県大会で優勝して橋田攻略に自信を


男子CブロックNo.41ベロフ・マクシム（右）


男子BブロックMo.60谷川蒼哉（右）


男子DブロックNo.70髙木信（右）


男子BブロックNo.51佐川人成（右）


男子DブロックNo.61大秦零司（左）


男子DブロックNo.81西村界人（左）

深めている。その勝者が全日本体重別－70kg級準優勝の平沢拓巳（No.50）と対戦し、さらにその勝者と山上の対戦が予想される。

ブロック後半では、今年の全日本体重別大会－70kg級優勝者の佐川人成（No.51）と、昨年の第57回全日本大会で技能賞を獲得し、2025年世界体重別－80kg級でも４位に入賞した谷川蒼哉（No.60）の動向に注目したい。本来は佐川－70kg級、谷川－80kg級で１階級違うはずだが、谷川は今年キックボクシングに出場した影響もあり今大会の体重は70kg。二人はほぼ同体重ということになる。両者は、順当に勝ち上がればベスト8進出を懸けた４回戦で対戦。佐川の勢いが優るのか、キック２連勝も含め真正会全日本優勝などこれまで多くの舞台で経験を積んできた谷川の底力が優るのか、この一戦はCブロック後半の大きな見所となる。

ベロフの圧倒的なパワーに対して、技術と試合運びに優れた日本勢がどう攻略するのか、またブロック前半と後半で異なる見所があり、勝ち上がりの行方から目が離せない。

■男子Dブロック

Dブロックの最後尾に控えるのは、日本の大黒柱・西村界人（No.81）だ。全日本大会で２度の優勝と２度の準優勝を誇り、世界大会でも準優勝を経験するなど、その実績は群を抜いている。身長188cm、体重110kgという恵まれた体格に加え、優れたフィジカルと強烈な膝蹴りをはじめとする高い技術力を備え、海外の大型選手にも十分に対抗できる総合力を持つ。今大会の優勝候補筆頭であり、その一挙手一投足に大きな注目が集まる。

ブロック前半では、大秦零司（No.61）が本命となりそうだ。2025年の全日本体重別大会－90kg級優勝者で、今年の同大会では＋90kg級に階級を上げ４位入賞。無差別でも上位進出を狙える実力を備えている。対抗となるのは、今年の全日本体重別－90kg級準優勝の髙木信（No.70）。大秦と髙木の過去の対戦成績は１勝１敗と互角で、両者が順当に勝ち進めば、実力伯仲の対決が４回戦で実現する。

また、序盤の注目カードとして挙げたいのが、百戦錬磨の34歳ナカノ・ソウタ（No.66）と、今大会最年少の17歳・上田琴乃助（No.67）の一戦だ。経験に裏打ちされたナカノの巧みな試合運びが優るのか、それとも若い上田が物怖じしない溌剌とした組手でベテランを脅かすのか。世代の異なる両者がどのような攻防を見せるか、見逃せない一戦となりそうだ。

さらに、ブロック前半では辻隆行（No.63）の挑戦にも注目したい。辻は、2025年全日本体重別－60kg級優勝者で、10月に行われた真正会初の全日本無差別大会でも準優勝。体重60kgは今大会の出場選手中、最軽量だ。体格差の大きい相手との対戦が想定されるなか、持ち前の技術とスピードを生かし、無差別の全日本でどんな活躍を見せてくれるのか、軽量選手の可能性を示す戦いに期待がかかる。

ブロック後半で注目したいのは、まだ19歳ながら今年3月のロシアンカップ－75kg級で優勝したドヴォレツキー・キリル（No.71）。初めての全日本大会出場でどこまで自身をアピールできるのかが試される。同じく19歳の加藤颯真（No.76）は、ユース時代から実績を積み重ね、2025年12月の西日本大会で優勝するなど、着実に成長している。２回戦では、今年の全関西大会＋75kg級優勝者・外川勝宗（No.78）との対戦が予想され、ここを突破すれば、西村界人への挑戦が見えてくる。経験豊富なトップ選手を相手に、若さを武器とした思い切りの良い組手でどこまで迫れるか。新鋭の挑戦がブロック後半の展開に変化をもたらす可能性もある。

実績、体格、技術のすべてで優勝候補筆頭に挙げられる西村界人を軸に、大秦零司と髙木信の争い、世代を超えた注目対決、そして辻隆行や加藤颯真らの挑戦が絡み合うDブロック。西村が順当に勝ち上がるのか、それとも若手や伏兵が西村にストップを掛けるのか、各選手の持ち味を生かした試合展開に期待したい。

■女子A・Bブロック

まずAブロックは、昨年の第57回全日本大会で初めて無差別全日本３位入賞を果たした森岡優海（No.201）が中心となりそうだ。７月の全日本体重別大会では－60kg級に階級を上げて優勝し、２階級制覇を達成。大会ごとに実力を上げ、期待に応える活躍を続けている。

森岡は２回戦で、同学年の所羽奈（No.203）と対戦する可能性が高く、所を退けて勝ち進めば、次はアルテメワ・ナタリア（No.204）と福永ゆら（No.206）の勝者との対戦が予想される。アルテメワは2025年の世界体重別大会－55kg級で３位に入賞し、森岡に対して過去２勝を挙げている実力者。今年10月の全ロシア大会でも－55kg級を制しており、森岡にとっては最も警戒すべき相手の一人である。一方の福永は、今年の全日本体重別－60kg級で３位に入賞。昨年の同大会では－55kg級決勝で森岡に敗れているだけに、再戦が実現すれば雪辱を期す一戦となる。森岡がこの難関を突破し、順当に勝ち上がれるかがAブロックの見所となる。

Bブロックでは、2024年＆2025年のヨーロッパ無差別大会を連覇したハラス・ジャスミン（No.207）に注目したい。打ち合いの中から不意に繰り出す上段蹴りを得意とし、一瞬の隙を突いて試合の流れを変える力を持つ。

Bブロックの最後尾には、知念琉花（No.212）


女子AブロックNo.201森岡優海（右）


女子BブロックNo.212知念琉花（左）


女子DブロックNo.218今井彩弥（右）


女子BブロックNo.207ハラス・ジャスミン（右）


女子CブロックNo.213小城みなみ（右）


女子DブロックNo.223宮本神（左）

が控える。十分な実力を備えながらも、これまであと一歩のところで全日本大会の入賞を逃してきた知念にとって、今大会は上位進出を果たす好機となる。初戦となる２回戦では、岡野結衣（No.210）と今井佑奈（No.211）の勝者と対戦。体重差のある相手に対しても、持ち前のテクニックをどこまで発揮し、主導権を握れるかが鍵となる。ここを突破すれば、次は実績豊富な田崎佑麻（No.209）とハラス・ジャスミンの勝者との対戦が予想される。もし田崎であれば、両者は2024年の全日本体重別大会で対戦し、知念は判定で敗れている。その差を埋めるべく積み重ねてきた稽古の成果を、今大会で示せるか。

そして準決勝は、順当であれば森岡と知念が顔を合わせる可能性が高く、実現すれば昨年の第57回全日本大会準々決勝の再戦となる。前回は森岡が競り勝ったが、今回も森岡がしのぎ切るか、それとも知念が雪辱を果たすのか。両者が再び相まみえる展開となれば、優勝の行方をも左右する大一番となる。

■女子C・Dブロック

C・Dブロックでは、昨年の第57回全日本大会で４位に入賞した小城みなみ（No.213）と、第56回・第57回大会で２年連続準優勝の宮本神（No.223）がトップシードに名を連ねる。

小城は２回戦で、徳田茄麗（No.214）と本村愛花（No.215）の勝者と対戦。32歳のベテラン本村は、気迫あふれる組手が持ち味で、小城にとっては初戦から気の抜けない相手となりそうだが、得意の上段への蹴り技を効果的に決める展開に持ち込めるかが、その先の勝ち上がりを占うポイントとなる。

ブロック後半では、フェドセーエワ・アリーナ（No.216）の存在感が光る。今年10月の全ロシア大会－65kg級で、全日本体重別－65kg級準優勝のカザリアン・アレクサンドラ（I.K.O.ロシア）を決勝で下して優勝。20歳のフェドセーエワが、無差別全日本で潜在能力を一気に開花させるかもしれない。

そのフェドセーエワに２回戦で挑むのが、藤本美桜（No.217）だ。藤本は2025年の全日本体重別大会－65kg級優勝者で、今年も同階級で３位に入賞。この試合は、フェドセーエワが体格と攻撃力を生かして主導権を握るのか、それとも藤本が得意の鋭い蹴り技で突破口を開くのかが見所となる。

小城にとっては、フェドセーエワ、藤本のいずれと対戦しても初顔合わせ。フェドセーエワとの対戦が実現すれば、身長・体重がほぼ同じ両者による、互いに譲らない攻防が予想される。一方、藤本が勝ち上がってきた場合は、お互いが得意とする上段蹴りの攻防が試合の大きなポイント。相手の持ち味を見極めながら、小城が自らの組手を展開できるかが問われる。

Dブロックの先頭は今井彩弥（No.218）。スピード感あふれる試合展開と、正確な受け返しを武器に、今大会では初の上位入賞を狙う。

今井は初戦となる２回戦では、櫻田まどか（No.219）と河合風香（No.220）の勝者を迎える。櫻田は今年の全日本体重別－55kg級３位、河合は＋65kg級３位。櫻田のスピードと河合のパワーが真っ向からぶつかる一戦となる。

対する今井にとって、櫻田が勝ち上がればスピード対決に、河合が進出すれば相手のパワーを持ち味の機動力で封じ込められるかが勝負の分かれ目となりそうだ。

ブロック後半では、今年の全日本体重別－60kg級４位の鈴木花菜（No.221）とブラウン・ネネ（No.222）の勝者が、２回戦で宮本神に挑む。宮本はパワーに加え、最近は攻守の安定感にも優れており、この対戦では宮本が優位に立つと予想される。

次の準々決勝で今井と宮本が顔を合わせる展開となれば、スピードと正確な技術で勝負する今井に対し、宮本がパワーでその動きを封じ込められるかが焦点となる。河合が勝ち上がった場合も、パワーと機動力、そして安定感で上回る宮本が有利と見られるが、ベスト４入賞を懸けた緊張感あふれるこの一戦で、どのような攻防が展開されるかは予断を許さない。

C・Dブロック全体を見渡したとき、ぜひ実現を期待したいのが、小城みなみと宮本神の準決勝での初対決だ。小城の得意とする前蹴りが宮本のパワーを凌駕するのか、それとも宮本が圧倒的な力で小城を押し切るのか。技術とパワー、それぞれの持ち味が真っ向からぶつかる一戦となれば、決勝進出を懸けた戦いにふさわしい好勝負が期待できる。果たして両者は準決勝まで勝ち上がり、初対決を実現させるのか。

直接打撃制の組手競技ルールを大山総裁が創設した当時の原点に回帰すべく、実戦性・安全性・競技性、そして極真らしい武道性を柱に大胆なルール改定を行ったのが、ちょうど10年前の2016年。つまり、今大会は改定された「I.K.O.極真ルール」の施行から10年という節目の年にあたる。

その意味で今年の全日本は、来年開催される第14回全世界空手道選手権大会の日本代表選手を選抜する重要な一戦であると同時に、この10年間にわたる極真空手の進化と競技水準の向上、そして選手たちが培ってきた実力が問われる大会でもある。積み重ねてきた鍛錬と研鑽を、選手たちはどのような戦いで示すのか。日本一の座を懸けた熱戦の先に、極真空手が歩んできた10年の集大成と、次なる時代への新たな可能性が見えてくるはずだ。

男子Dブロック／No.81　NISHIMURA KAITO

西村界人

世界の頂点を見据え負けは許されない
3度目の全日本制覇で完全復活を期す





にしむら・かいと
東京城北支部、参段
188cm／110kg／32歳
◎主な戦績
2019オールアメリカンオープン3位
2020第52回全日本大会2位
2022第53回全日本大会優勝
2022第54回全日本大会優勝
2023第13回世界大会2位
2025第7回世界体重別+90kg級2位
2025第57回全日本大会2位

絶対的な優勝候補でありながら、「自分はあくまでも挑戦者」と覚悟を滲ませる西村界人。過去2度、無差別全日本王座に輝き、日本のエースとして臨んだ3年前の第13回世界大会は、惜しくも準優勝に終わった。一度は選手生活に区切りをつけたものの、世界王者への思いを断ち切れず、昨年復帰。しかし、第7回世界体重別+90kg級、第57回全日本大会と、いずれも準優勝に留まり、目指す頂きには届かず、「このままでは世界大会で優勝できないことを痛感し、全日本後の1年は自分に何が必要なのかを考え続けた」と振り返る。持ち味である圧倒的な破壊力に磨きをかけるとともに、勝負所での駆け引きや相手との調和を意識して稽古を重ねてきた。さらなる進化を遂げた西村が、来年の世界大会を見据え、3度目の全日本制覇に挑む。長年しのぎを削ってきたライバル、コバレンコ・コンスタンティンが不在の今大会。絶対に負けられない戦いが始まる。

男子Cブロック／No.1 OHATA RYOUJI

大秦稜司

武道家の矜持を胸に無差別の頂点へ
心・技・体を磨き全日本初制覇に挑む



おおはた・りょうじ
京都支部、初段
170cm／82kg／25歳
◎主な戦績
2022全日本体重別−80kg級優勝
2022第54回全日本大会3位
2024全日本体重別−80kg級4位
2025第7回世界体重別−80kg級優勝
2025第57回全日本大会6位
2026全日本体重別−90kg級3位

美しい姿勢と正確で強烈な技の数々。武道家らしい佇まいが印象的な、世界体重別−80kg級優勝者・大秦稜司の願いは「無差別の世界大会を制すること」。大型選手との対戦を見越して−90kg級に階級を上げて挑んだ7月の全日本体重別はベスト4止まり。本人は「フィジカルに頼りすぎて本来の動きができなかった」と反省を述べた。加え精神的な練り込みが足りないと、大会後は日常生活から隙のない日々を過ごし、今大会は全身全霊で無差別全日本初戴冠を目指す。

男子Bブロック／No.40 NISHIMURA TAIGA

西村大河

目指すのは先輩・西村界人との決勝対決
進化を遂げた若きエース候補が頂点に挑む



にしむら・たいが
東京城北支部、初段
183cm／97kg／22歳
◎主な戦績
2022全日本体重別−90kg級3位
2023全日本体重別−90kg級4位
2024全日本体重別+90kg級3位
2025全日本体重別+90kg級優勝
2025第57回全日本大会8位
2026全日本体重別+90kg級2位

アグレッシブな組手に加え、重量級とは思えないスピードが持ち味の西村大河。昨年は全日本体重別+90kg級で優勝すると、無差別全日本では初のベスト8入賞で夢の世界王者に一歩近付いた。連覇を目指した今年の全日本体重別はエキモフ・マクシムにリベンジを許して準優勝に終わったが、この試合から様々な気付きを得た。「必ず優勝して、来年に繋げる！」と意気込みを見せる西村が、今大会の目標に掲げるのは、先輩・西村界人との決勝対決で勝利することだ。

男子Cブロック／No.41 BELOV MAKSIM

ベロフ・マクシム

衝撃の初出場から急成長したロシアの怪童 強大なパワーを武器に頂点へと駆け上がる



I.K.O.ロシア、1級
192cm／110kg／22歳
◎主な戦績
2025ロシア無差別大会4位
2025第57回全日本大会4位
2026ロシアンカップ+90kg級3位

初出場となった昨年の全日本大会で4位入賞を果たし、強烈な存在感を示したベロフ・マクシム。準決勝では西村界人と激闘を繰り広げ、確かな手応えとともにトーナメントを勝ち抜くための明確な指標を得た。この一年は強大なパワーに磨きをかけ、どんな状況に置かれても冷静に爆発力を発揮する準備を整えてきた。大山総裁や松井館長ら伝説の空手家を敬愛するI.K.O.ロシアの怪童が、前回大会の悔しさをバネに急成長を遂げ、今年こそ頂点へと駆け上がる。

男子Cブロック／No.60 TANIGAWA SOYA

谷川蒼哉

大型選手をも圧倒する蹴りの鋭さとスピード 総本部道場の昇り龍がどこまで飛翔するのか



たにがわ・そうや
総本部道場、初段
170cm／70kg／24歳
◎主な戦績
2021・2022真正会全日本−75kg級優勝
2024全日本体重別−80kg級2位
2024第56回全日本大会7位
2025第7回世界体重別−80kg級4位
2025第57回全日本大会技能賞

今大会、最も注目を集める選手の一人が谷川蒼哉だ。中量級の体格ながら、第56回全日本大会で7位に入賞すると、第57回大会では技能賞を獲得。今年はキックボクシングのR.I.S.E.でデビュー以来、2戦負けなしの快進撃を続ける。世界トップクラスの大型外国人選手とも互角に渡り合ってきた谷川。その組手は、上段蹴りの鋭い切れ味に加え、キックの経験を生かした防御技術にも磨きがかかる。総本部道場が誇る昇り龍は、今大会でどこまで飛翔するのか。

男子Cブロック／No.51 SAGAWA JINSEI

佐川人成

鋭い足技を武器に大型選手に立ち向かう 軽量級優勝の意地を懸けて世界の舞台へ



さがわ・じんせい
大阪南支部、初段
173cm／72kg／23歳
◎主な戦績
2025全日本体重別−70kg級2位
2026全日本体重別−70kg級優勝

−70kg級の体格ながら、鋭い足技を武器に無差別の強豪に挑む佐川人成。今年の全日本体重別−70kg級では、上段前蹴りで技有りを奪うなど持ち味を発揮して初優勝に輝いた。今大会に向けて、階級が上の相手との組手を重ね、無差別で戦うための準備を進めてきた。「軽量級でも無差別で通用することを証明したい」と語る佐川。4年前、同世代の選手が世界大会に出場する姿を応援するしかなかった悔しさを糧に、何としても今大会で日本代表の座を勝ち取る。

男子Dブロック／No.70 TAKAGI SHIN

髙木 信

磨き上げた組手で強豪を乗り越え 3度目の世界へ日本代表の座を狙う



たかぎ・しん
東京城西世田谷東支部、初段
172cm／88kg／28歳
◎主な戦績
2022全日本体重別−90kg級4位
2024真正会全日本+75kg級優勝
2025真正会全日本+75kg級2位
2026全日本体重別−90kg級2位

第12回、第13回と2度の世界大会出場を果たし、今大会で3度目の日本代表入りを狙う髙木信。近年は組手改革に取り組み、2024年真正会全日本大会で優勝、翌年は準優勝。今年の全日本体重別でも大秦稜司を下して準優勝するなど、巧みな組手にしぶとさが加わり、さらなる進化を遂げている。今大会に向けてスタミナ強化と倒す組手を追求。「相手が誰であろうと自分の組手で勝ち上がる」と語る髙木が、積み重ねた稽古の成果を示し、再び世界への切符を掴む。

男子Aブロック／No.11 TAKATA YUICHIRO

髙田悠一郎

体格差を技術で覆す無差別への挑戦 新たな戦い方で全日本の頂点を狙う



たかた・ゆういちろう
東京城西支部、初段
171cm／81kg／23歳
◎主な戦績
2025全日本体重別−80kg級優勝
2026全日本体重別−80kg級4位

昨年の全日本体重別大会－80kg級で初優勝を遂げ、今年は4位に入賞した髙田悠一郎。今大会に向けて下半身を強化し、技の工夫を重ねるとともに、ステップで距離や角度を変え、体格差を技術と動きで補う新たな組手に取り組んできた。ベスト8を懸けた大秦稜司との一戦を大きな山場と見据え、目標はベスト8入り。磨いてきた新たな組手で夢への扉を開ける。

男子Aブロック／No.12 KIYAMA SHIYU

木山獅勇

誰もが認める潜在能力が開花する時 全日本優勝・世界の頂点が見えてくる



きやま・しゆう
愛知名古屋支部、初段
186cm／95kg／20歳
◎主な戦績
2023・2024・2026愛知県大会優勝
2024全日本体重別−90kg級4位
2024西日本大会2位
2025全日本体重別−90kg級3位

全日本体重別での敗戦を教訓に、相手を過小評価せず徹底的に油断を排して稽古に取り組んできた。木山仁師範の指導のもと、突きの強化や身体の使い方を磨き、関西地区の選手たちと数多くの組手稽古を積んだ。誰もが認める潜在能力。木山獅勇の力が100パーセント発揮された時、日本代表の座はおろか、全日本優勝、さらに世界の頂点が見えてくる。

男子Aブロック／No.21 IIZUKA TSUBASA

飯塚 翼

日本代表を任せられることを証明し、優勝だけを見据えて全力で戦い抜く



いいづか・つばさ
東京城北支部、弐段
173cm／82kg／23歳
◎主な戦績
2022第53回全日本大会8位
2022全日本体重別−70kg級優勝
2023・2024全日本体重別−80kg級優勝
2025第7回世界体重別−80kg級2位

仕事と空手を両立しながら、飯塚翼は今大会に照準を合わせ1年間計画的に身体を作り、稽古を重ねてきた。日々の鍛錬に裏打ちされた自信を胸に、強豪との対戦にも闘志を燃やす。スピードとスタミナ、そして「華のある組手で観客を魅了し、日本代表を任せられる選手であることを証明したい」と語る。代表権獲得にとどまらず、優勝を見据えて全力で戦い抜く。

男子Bブロック／No.22 HIGUCHI CHIHARU

樋口知春

四半世紀に及ぶ鍛錬と経験を力に変え 挑戦者の魂を忘れず再び世界を目指す



ひぐち・ちはる
総本部道場、初段
170cm／75kg／29歳
◎主な戦績
2017全日本体重別−80kg級2位
2018全日本体重別−80kg級優勝
2022全日本体重別−70kg級4位
2024全日本体重別−70kg級優勝

4歳で極真空手を始め、すでに四半世紀に及ぶ歩みを重ねてきた樋口知春。大会出場は昨年4月の世界体重別以来だが、約1年半にわたり打撃力の強化に取り組み、多彩なコンビネーションにも磨きをかけて、技術と精神の両面から自身の課題と向き合ってきた。2度目の世界大会出場に向け、チャレンジャーの気持ちを忘れず、持てる力を出し切って頂点を狙う。

男子Bブロック／No.26 AKIYAMA DAICHI

秋山大知

幼い頃から夢見た世界大会の舞台に立つため 倒せる技を磨き勝利をこの手に手繰り寄せる



あきやま・だいち
東京城西西多摩支部、初段
176cm／90kg／22歳
◎主な戦績
2024全関東大会+80kg級優勝
2023・2025東日本大会優勝
2025全日本体重別−90kg級2位

日本代表選抜を懸けた今大会に向け、フットワークを生かした組手に磨きをかけ、倒せる技の精度を高めるとともに、試合を優位に進めるための工夫を重ねてきた。東京城西西多摩支部の期待の星と言われる秋山大知が目指すのは、相手に効かせる組手で勝ち上がること。幼い頃から夢見てきた世界大会への出場を果たすべく、持てる力のすべてを懸けて今大会に挑む。

男子Bブロック／No.27 TAMIZU HARUKI

田水春樹

自分よりパワーで勝る相手への対策に自信 初優勝に向け一戦一戦全力で勝利を目指す



たみず・はるき
東京城西支部、初段
183cm／106kg／22歳
◎主な戦績
2024第56回全日本大会新人賞
2025全日本体重別+90kg級2位

強烈なパワーで相手を圧倒する田水春樹。昨年の全日本体重別で準優勝し、自信を深める一方、あと一歩届かなかった悔しさを味わった。今大会に向けて自分より体格やパワーで勝る相手を攻略するための実戦的な稽古に取り組んできた。その成果を証明すべく「目標はベスト8ではなく日本一」と力強く語る。初優勝に向け、一戦一戦全力で勝利を追い求める。

男子Bブロック／No.35 TOKUDA KANTA

徳田寛大

盤石な組手を貫き3度目の日本代表へ 世界体重別以来の復帰戦で真価を示す



とくだ・かんた
大阪南支部、初段
180cm／90kg／32歳
◎主な戦績
2018全日本体重別＋90kg級4位
2022全日本体重別－90kg級2位
2023全日本体重別－90kg級3位
2024全日本体重別－90kg級3位

第12回、第13回世界大会の日本代表選手・徳田寛大。どんな相手にも崩されない盤石な組手を持ち味とするベテランが、世界体重別大会以来の復帰戦に挑む。その世界体重別では－90kg級で優勝したグセイノフ・ラシャドと再延長にわたる好勝負を展開。一歩も退かぬ攻防で日本勢の意地を見せて会場を沸かせた。今大会も観る者の心を熱くする組手で優勝を目指す。

男子Cブロック／No.46 YAMAGAMI DAIKI

山上大輝

独特の上段前蹴りにさらに磨きを掛け 不退転の決意で全日本初制覇に挑む



やまがみ・だいき
東京城北支部、初段
181cm／86kg／25歳
◎主な戦績
2023第54回全日本大会8位
2023全日本体重別－80kg級2位
2024全日本体重別－90kg級優勝
2025第7回世界体重別－90kg級2位

独特のモーションから繰り出す上段前蹴りを武器に戦う山上大輝。だが昨年の全日本以降は結果を残せず、今大会には雪辱を期して臨む。この1年は従来の組手に接近戦を融合させ、得意の前蹴りのみならず全体的な底上げに確かな手応えを得た。「目の前の相手に敬意を払い、倒しにいく」と山上。積み上げた稽古の成果を全てぶつけ、悲願の初優勝を掴み取る覚悟だ。

男子Cブロック／No.50 HIRASAWA TAKUMI

平沢拓巳

体重別準優勝でいよいよ覚醒の兆し 懐深い巧みな組手で上位の壁を破る



ひらさわ・たくみ
東京城西支部、弐段
178cm／73kg／25歳
◎主な戦績
2022全日本体重別－70kg級4位
2025全日本体重別－70kg級3位
2026全日本体重別－70kg級2位

今年の全日本体重別で自身最高位の準優勝。タイトルこそ逃したものの、いよいよ覚醒の前兆を見せた。178cmの長身で細身でありながら、懐が深く巧みに自分のペースに持ち込む試合展開が平沢拓巳の勝利の方程式。昨年の全日本では大秦稜司と好勝負を演じるなど、体重差があっても簡単には崩されない粘り強さが備わり、もうひと皮むければ上位入賞も夢ではない。

男子Cブロック／No.56 KANEHISA KEITAROU

兼久啓太朗

真正会、セミコンタクトで経験値を高め 世界大会日本代表の夢を実現させる



かねひさ・けいたろう
東京城北支部、弐段
179cm／90kg／27歳
◎主な戦績
2025全日本体重別－90kg級4位
2026真正会全日本大会＋85kg級優勝
2026アジアオープンカップ4位

全日本クラスの大会から地方大会、真正会の大会や国際大会まで精力的に活動する兼久啓太朗が、今年掴んだのが4月に行われた真正会全日本のタイトル。6月にはアジアオープンカップに出場してベストスピリット賞を獲得した。大学時代は全空連系の空手部で活躍。セミコンタクトルール3度優勝で経験値を高め、遂に世界大会日本代表の夢を実現する時が来た。

男子Dブロック／No.61 OHATA REIJI

大秦零司

体格差を乗り越えて大型選手を撃破 世界を目指し全身全霊で勝負に挑む



おおはた・れいじ
京都支部、初段
172cm／95kg／25歳
◎主な戦績
2024全日本体重別－90kg級2位
2025全日本体重別－90kg級優勝
2026全日本体重別＋90kg級4位

来年の世界大会を見据え、大秦零司は並々ならぬ覚悟で今大会に臨む。川畑幸一師範の指導のもと、日々の準備を大切にしながら鍛錬を重ね、弟・稜司をはじめ西日本地区のトップ選手との組手稽古で多くの収穫を得た。全日本体重別で味わった悔しさを糧に、体格差を乗り越えて強豪を撃破する姿を披露すべく、思いのすべてをぶつけ全身全霊で勝負に挑む。

男子Dブロック／No.63 TSUJI TAKAYUKI

辻 隆行

最軽量60kgの挑戦者が全日本に参戦 鋭い突きを武器に体格の差を跳ね返す



つじ・たかゆき
真正会、初段
164cm／60kg／26歳
◎主な戦績
2023全日本体重別－60kg級2位
2024全日本体重別－60kg級2位
2025全日本体重別－60kg級優勝
2026真正会全日本無差別2位

真正会軽量級の第一人者・辻隆行が、全日本体重別－60kg級で優勝したのが1年前。「極真の世界大会に出場するのが空手を始めた小学生の頃からの夢」と語る辻は、今年10月に真正会で初めて行われた無差別全日本に出場して準優勝し、今大会への挑戦を決めた。得意技は切れのあるカウンターの突き。今大会最軽量60kgの辻が全日本でどんな試合を見せるのか!?

女子Dブロック／No.223 MIYAMOTO JIN

宮本神

全日本体重別2階級制覇の自信を胸に 3度の準優勝を越え悲願の王座獲りへ





みやもと・じん
本部直轄浅草道場、弐段
167cm／67kg／25歳
◎主な戦績
2023全日本体重別+55kg級2位
2024・2025全日本体重別+65kg級優勝
2024第56回・2025第57回全日本大会2位
2025第7回世界体重別+65kg級2位
2026全日本体重別−65kg級優勝

昨年、一昨年と全日本大会、そして昨年４月の世界体重別でいずれも準優勝し、あと一歩で頂点の座を逃してきた宮本神。短期間で計３度の悔しさを味わったからこそ、７月の全日本体重別では体重を約7kg絞り−65kg級で新たな組手の構築に努めた。結果は、対戦相手を全く寄せ付けることなく２階級制覇を達成。自信を深めた宮本は、全日本体重別以降の３カ月間で技の精度や攻撃のつなぎを見直し、より盤石な組手へとスキルアップを試みた。目指すのは、相手の体格やリーチに臆することなく、自ら前に出て攻め続ける組手。誰が相手でも勝つという強い気持ちを前面に出し、自分らしい迫力ある技で勝利を手繰り寄せる。「３度の準優勝と、全日本体重別２連覇で培った経験は決して無駄にはしない」という宮本が闘志を発揮し、最後まで攻め抜くことができるか。優勝候補の筆頭として迎える今大会、悲願の初優勝を懸けた宮本の戦いから目が離せない。

女子Aブロック／No.201 MORIOKA YUMI

森岡優海

好機逃さず前回3位から今年はその先へ 攻め抜く姿勢を貫き全日本初優勝を狙う



もりおか・ゆうみ
東京城西南多摩支部、初段
167cm／57kg／20歳
◎主な戦績
2023・2025全日本体重別−55kg級優勝
2025世界体重別−55kg級4位
2025第57回全日本大会3位
2026全日本体重別−60kg級優勝

昨年の全日本大会で軽量級唯一の入賞となる３位と技能賞に輝いた森岡優海。学業と両立しながら短時間集中で質の高い稽古を積み、課題だった冷静な状況判断と強みである強烈な打撃力に磨きをかけてきた。「自分から試合を組み立て、自分のペースに持ち込むことで、勝利に繋げていきたい」と森岡。トーナメント先頭で挑む今大会を最大のチャンスと捉え、見据えるのは全日本の頂点と日本代表の座。最後まで諦めずに攻め抜く姿勢を貫いて悲願の初優勝を狙う。

女子Cブロック／No.213 KOJYO MINAMI

小城みなみ

対戦相手の良さを封じ自分の組手を貫く 優勝して自分が成長したことを証明する



こじょう・みなみ
千葉西支部、初段
170cm／63kg／22歳
◎主な戦績
2024全日本体重別−65kg級優勝
2024第56回全日本大会3位
2025第7回世界体重別−65kg級優勝
2025第57回全日本大会4位

昨年の全日本４位の悔しさをバネに、小城みなみが約１年ぶりの大会に挑む。この間、小城は己の課題と徹底的に向き合い組手の質を高めてきた。近い距離では突きと膝蹴りで相手を崩し、離れた距離では長いリーチを生かした上段前蹴りをピンポイントで決める。追い求めてきたのは、相手の良さをすべて封じて、自分の得意な距離とテンポで組手を貫き通すスタイル。成長した姿を証明するとともに、勝ち方にもこだわり抜いて、優勝の栄冠をその手で掴み取る。

女子Aブロック／No.203 TOKORO HANA

所 羽奈

二階級制覇への挑戦を経て掴んだ自信 様々な大会での経験を糧に次なる高みへ



ところ・はな
東京城北支部、初段
155cm／51kg／21歳
◎主な戦績
2023・2025全日本体重別－50kg級優勝
2025真正会全日本大会無差別級優勝
2026真正会全日本大会＋50kg級優勝
2026全日本体重別－55kg級2位

7月の全日本体重別ではこれまで2度優勝していた－50kg級から一つ上の－55kg級に上げて2階級制覇に挑戦。惜しくも準優勝に終わったものの、試合後には「相手の圧力を感じることなく、全日本への手応えを感じた」と収穫を口にした。無差別世界大会出場や真正会全日本での優勝など経験も十分、大きく成長した所羽奈がどこまで勝ち上がるのか、注目される。

女子Bブロック／No.207 HALASZ JAZMIN

ハラス・ジャスミン

欧州無差別2連覇の強豪が全日本初参戦 得意の蹴りで日本勢を撃破し頂点を狙う



I.K.O.ハンガリー、弐段
174cm／70kg／20歳
◎主な戦績
2024・2025ヨーロッパ無差別優勝
2024US体重別－65kg級優勝
2024ヨーロッパ体重別－65kg級3位
2025ヨーロッパ体重別－65kg級優勝

2024年・2025年のヨーロッパ無差別大会を連覇したハラス・ジャスミン。来年の世界大会を想定して肉体改造に取り組み、昨年から約5kg増の70kgで今大会に臨む。日本選手を彷彿とさせる上段前蹴りや上段廻し蹴りは、精度、キレ、スピード、タイミングともに秀逸。数々の試合で技有りを奪ってきたこれらの技を武器に、全日本初出場初優勝の快挙も十分期待できる。

女子Bブロック／No.212 CHINEN RUKA

知念琉花

冷静な判断と確かな技術で接戦を制し、優勝して世界大会への一歩を踏み出す



ちねん・るか
神奈川横浜北支部、初段
171cm／65kg／25歳
◎主な戦績
2022第54回全日本大会3位
2025第7回世界体重別－65kg級2位

171cmの長身と天性の素質を備え、将来を嘱望されてきた知念琉花。今年の全日本体重別では、自分の攻撃を当てる意識が強くなり、視野が狭まったことを反省点に挙げ、相手の動きや反応を見極め、冷静な状況判断から次の攻撃へと繋げる意識を徹底。これまで培ってきた技術と試合運びで接戦を制し、悲願の全日本初優勝を果たして、世界大会への足掛かりとする。

女子Cブロック／No.217 FUJIMOTO MIO

藤本美桜

「岩手から世界へ」東北の誇りを胸に 世界大会でも通用する強さを証明する



ふじもと・みお
総本部岩手道場、初段
163cm／64kg／24歳
◎主な戦績
2024全日本体重別－65kg級4位
2024全東北大会2位
2025全日本体重別－65kg級優勝
2026全日本体重別－65kg級3位

昨年の全日本体重別で初優勝し、今年は3位。その反省から、7月以降は自分より身長やパワーで勝る相手への対策に重点を置いて稽古を積んできた。得意の上段蹴りにさらに磨きを掛け「世界でも通用する強さを証明する」と藤本。世界大会代表は必ず実現させる最低限の目標。「地元・岩手から世界へ」の思いを胸に、藤本美桜は東北代表の誇りを懸けて今大会に挑む。

女子Dブロック／No.218 IMAI AYA

今井彩弥

組手と並行して型にも貪欲に取り組み 培った技術とスピードで初優勝を狙う



いまい・あや
東京城西西多摩支部、初段
160cm／60kg／22歳
◎主な戦績
2025全日本体重別－60kg級優勝
2026アジアオープンカップ－65kg級3位
2026全日本体重別－65kg級2位

今井彩弥の長所は、何事にもひたむきに貪欲に取り組む姿勢だ。組手と並行して型でも実績を上げ、それらの経験に裏打ちされた技術とスピード感あふれる攻防が持ち味。今大会に向けた稽古のテーマは、リーチやパワーで勝る相手への対策に重点を置き、技有りや一本を奪える組手。その成果を存分に発揮し、来年の世界大会につながる戦いを示して初優勝を目指す。

女子Dブロック／No.220 KWAI FUKA

河合風香

誰よりも気迫あふれる試合を見せる覚悟 前へ出る組手で世界への切符を勝ち取る



かわい・ふうか
広島支部、2級
170cm／72kg／28歳
◎主な戦績
2024全日本体重別－65kg級2位
2026全日本体重別＋65kg級3位

初めて+65kg級に上げて臨んだ今年の全日本体重別は3位入賞。その反省から、河合風香は下半身の安定と最後まで攻撃を出し切るスタミナを徹底的に鍛え上げてきた。世界大会につながる大一番に向け、「誰よりも気迫あふれる試合を見せる」と強い覚悟を胸に抱く。常に前へ出る組手が河合の真骨頂。一戦一戦を全力で勝ち抜いて必ず世界大会の出場権を勝ち取る。

COMPETITOR'S LIST

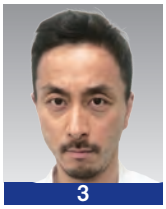
A BLOCK



1
大秦 稜司
OHATA RYOUJI
170cm·82kg·25歳·初段
京都支部



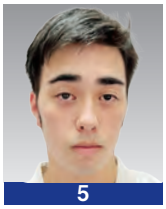
2
ハン サンボム
HAN SANG BEOM
180cm·85kg·28歳·初段
I.K.O.KOREA



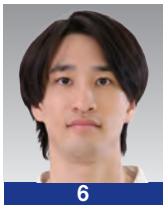
3
杉山 徳
SUGIYAMA ATSUSHI
173cm·80kg·43歳·弐段
東京城北支部



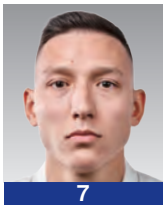
4
神﨑 凌
KANZAKI RYO
178cm·89kg·29歳·初段
千葉中央支部



5
小野里 リース拳真
ONOSATO REYS KENSHIN
176cm·86kg·23歳·初段
埼玉南支部



6
穐山 和斗
AKIYAMA KAZUTO
185cm·79kg·21歳·初段
東京城西支部



7
アルテメフ アスカー
ARTEMEV ASKAR
172cm·77kg·25歳·弐段
I.K.O.RUSSIA



8
宮本 靖祥
MIYAMOTO YASUNAGA
174cm·93kg·35歳·弐段
錬空武館



9
北村 佳祐
KITAMURA KEISUKE
173cm·83kg·29歳·弐段
東京城西国分寺支部



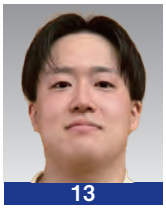
10
アフマド アリ
AHMAD ALI
186cm·99kg·29歳·1級
I.K.O.UAE



11
高田悠一郎
TAKATA YUICHIRO
170cm·81kg·23歳·弐段
東京城西支部



12
木山 獅勇
KIYAMA SHIYU
186cm·95kg·20歳·初段
愛知名古屋支部



13
原口 大輝
HARAGUCHI HIROKI
162cm·78kg·26歳·1級
東京城西世田谷東支部



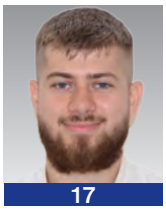
14
新井 遼平
ARAI RYOHEI
165cm·70kg·21歳·初段
神奈川横浜北支部



15
沼尾 晃司
NUMAO KOJI
170cm·84kg·28歳·初段
栃木南支部



16
コベレフ セルゲイ
KOBELEV SERGEI
175cm·89kg·24歳·初段
I.K.O.RUSSIA



17
コストフ ボゴミル
KOSTOV BOGOMIL
175cm·83kg·22歳·弐段
I.K.O.BULGARIA



18
鈴木 奏成
SUZUKI KANARU
183cm·85kg·20歳·初段
東京城西支部



19
小枝 怜生
KOEDA REI
185cm·94kg·26歳·弐段
東京城西南多摩支部



20
村岡 賢和
MURAOKA YOSHIKAZU
180cm·105kg·45歳·弐段
総本部札幌道場



21
飯塚 翼
IIZUKA TSUBASA
173cm·82kg·23歳·弐段
東京城北支部

B BLOCK



22
樋口 知春
HIGUCHI CHIHARU
170cm·75kg·29歳·初段
総本部道場



23
金田 貴裕
KANEDA TAKAHIRO
173cm·77kg·31歳·初段
東京城西下北沢·町田支部



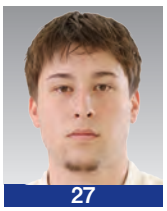
24
平岩 皓太
HIRAIWA KOTA
180cm·86kg·42歳·参段
東京城北支部



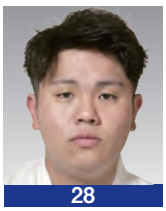
25
前川 生向
MAEKAWA IBUKI
176cm·84kg·23歳·弐段
静岡富士支部



26
秋山 大知
AKIYAMA DAICHI
176cm·90kg·22歳·初段
東京城西西多摩支部



27
田水 春樹
TAMIZU HARUKI
183cm·106kg·22歳·初段
東京城西支部



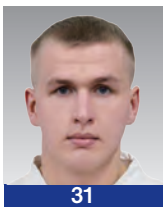
28
足立 龍二
ADACHI RYUJI
177cm·95kg·22歳·初段
神奈川横浜東支部



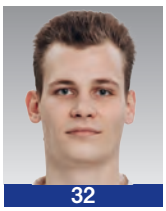
29
李 櫂允
RI KAI
178cm·85kg·32歳·初段
神奈川横浜北支部



30
清水 祐貴
SHIMIZU YUKI
170cm·78kg·31歳·初段
東京城北支部



31
ユラソフ エフゲニー
IURASOV EVGENII
190cm·110kg·30歳·参段
I.K.O.RUSSIA



32
グリンスキフ ウラジスラフ
GLINSKIKH VLADISLAV
195cm·98kg·25歳·初段
I.K.O.RUSSIA



33
中島 寛高
NAKASHIMA HIROTAKA
169cm·79kg·36歳·弐段
東京城西南多摩支部



34
ブラトリー ノーラン
BLATRY NOLAN
190cm·90kg·24歳·初段
I.K.O.FRANCE



35
徳田 寛大
TOKUDA KANTA
180cm·90kg·32歳·初段
大阪南支部



36
橋田 陽彦
HASHIDA HARUHIKO
186cm·88kg·21歳·初段
東京城西世田谷東支部



37
笠原 佑斗
KASAHARA YUTO
170cm·86kg·36歳·初段
錬空武館



38
平山 尚樹
HIRAYAMA NAOKI
174cm·73kg·26歳·初段
東京城西支部

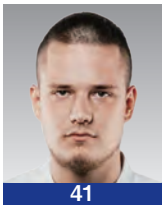


39
アルファデル アブドゥルアジズ
ALFADHEL ABDULAZIZ
192cm·105kg·28歳·2級
I.K.O.KUWAIT



40
西村 大河
NISHIMURA TAIGA
183cm·97kg·22歳·初段
東京城北支部

C BLOCK



41
ベロフ マクシム
BELOV MAKSIM
192cm・110kg・22歳・1級
I.K.O.RUSSIA



42
大神田 圭
OOKANDA KEI
170cm・83kg・31歳・弐段
東京城西南多摩支部



43
大関 彪
OHZEKI TSUYOSHI
162cm・75kg・19歳・初段
栃木南支部



44
佐藤 拓海
SATO TAKUMI
174cm・88kg・26歳・弐段
東京城西支部



45
山田 太樹
YAMADA TAIKI
174cm・85kg・27歳・初段
千葉中央支部



46
山上 大輝
YAMAGAMI DAIKI
181cm・86kg・25歳・初段
東京城北支部



47
ペリク ミハイロ
PELIKH MYKHAILO
189cm・90kg・19歳・初段
I.K.O.POLAND



48
橋田 裕彦
HASHIDA HIROHIKO
186cm・90kg・18歳・初段
東京城西世田谷東支部



49
岩田 大
IWATA DAI
180cm・96kg・29歳・弐段
神奈川横浜港南支部



50
平沢 拓巳
HIRASAWA TAKUMI
178cm・73kg・25歳・弐段
東京城西支部



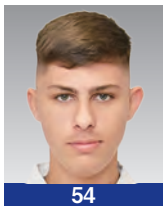
51
佐川 人成
SAGAWA JINSEI
173cm・72kg・23歳・初段
大阪南支部



52
大塚 正輝
OTSUKA MASAKI
172cm・78kg・36歳・1級
錬空武館



53
藤田 陽央
FUJITA YOU
181cm・74kg・20歳・初段
東京城西国分寺支部



54
ストラティエフ ストラティミル
STRATIEV STRATIMIR
182cm・85kg・19歳・初段
I.K.O.BULGARIA



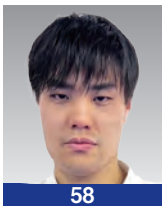
55
鈴木 哉琉
SUZUKI KANARU
158cm・77kg・21歳・初段
東京城西支部



56
兼久啓太朗
KANEHISA KEITAROU
179cm・90kg・27歳・弐段
東京城北支部



57
ドヴォレツキー ドミトリー
DVORETSKII DMITRII
190cm・80kg・19歳・初段
I.K.O.RUSSIA



58
川端 翔
KAWABATA SHOU
172cm・82kg・24歳・弐段
静岡富士支部



59
加藤 竜成
KATO RYOSEI
168cm・70kg・20歳・初段
神奈川横浜東支部



60
谷川 蒼哉
TANIGAWA SOYA
170cm・70kg・24歳・初段
総本部道場

D BLOCK



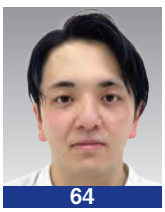
61
大秦 零司
OHATA REIJI
172cm・95kg・25歳・初段
京都支部



62
小林 一樹
KOBAYASI KAZUKI
173cm・75kg・19歳・1級
大阪西支部



63
辻 隆行
TSUJI TAKAYUKI
164cm・60kg・26歳・初段
真正会



64
岡部慎太郎
OKABE SHINTARO
177cm・98kg・24歳・弐段
東京城西支部



65
荒井 瑞生
ARAI MIZUKI
164cm・74kg・29歳・弐段
福島地区道場



66
ナカノ ソウタ
NAKANO SOTA
172cm・80kg・34歳・弐段
I.K.O.USA



67
上田琴乃助
UEDA KOTONOSUKE
174cm・74kg・17歳・初段
東京城北支部



68
ドルゴフ アンドレイ
DOLGOV ANDREI
181cm・89kg・23歳・1級
I.K.O.RUSSIA



69
森 天斗
MORI TAKATO
170cm・72kg・22歳・初段
神奈川川崎中央支部



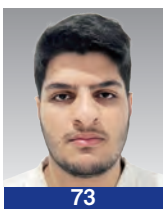
70
髙木 信
TAKAGI SHIN
172cm・88kg・28歳・初段
東京城西世田谷東支部



71
ドヴォレツキー キリル
DVORETSKII KIRILL
187cm・80kg・19歳・初段
I.K.O.RUSSIA



72
澤村 海詠
SAWAMURA KAIEI
184cm・83kg・24歳・初段
東京城西国分寺支部



73
アルバヤティ フセイン
AL BAYATI HUSSEIN
180cm・125kg・22歳・弐段
I.K.O.KUWAIT



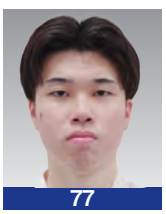
74
牛久 京亮
USHIKU KYOSUKE
177cm・80kg・20歳・初段
神奈川横浜東支部



75
奥寺 勇輝
OKUDERA YUKI
168cm・73kg・29歳・弐段
東京城西支部



76
加藤 颯真
KATO SOUMA
171cm・80kg・19歳・初段
東京城西西多摩支部



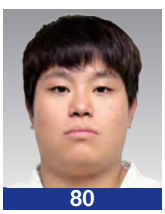
77
近藤 響
KONDO HIBIKI
175cm・80kg・22歳・初段
神奈川横浜北支部



78
外川 勝宗
SOTOKAWA MASAMUNE
175cm・78kg・22歳・初段
大阪南支部



79
後藤 風磨
GOTO FUMA
177cm・79kg・20歳・初段
東京城南大崎支部



80
齊 勇晴
HITOSHI YUSEI
177cm・104kg・22歳・初段
山梨支部

81
西村 界人
NISHIMURA KAITO
188cm・110kg・32歳・参段
東京城北支部

第58回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会（男子）

優　勝

104（決勝戦）

所属支部	段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢			
京都支部	初段	170	82	25	オオハタ　リョウジ 大秦　稜司 OHATA RYOUJI	1	
I.K.O.KOREA	初段	180	85	28	ハン サンボム HAN SANG BEOM	2	
東京城北支部	弐段	173	80	43	スギヤマ　アツシ 杉山　徳 SUGIYAMA ATSUSHI	3	
千葉中央支部	初段	178	89	29	カンザキ　リョウ 神﨑　凌 KANZAKI RYO	4	
埼玉南支部	初段	176	86	23	オノザト　ケンシン 小野里リース拳真 ONOSATO REYS KENSHIN	5	
東京城西支部	初段	185	79	21	アキヤマ　カズト 穐山　和斗 AKIYAMA KAZUTO	6	
I.K.O.RUSSIA	弐段	172	77	25	アルテメフ アスカー ARTEMEV ASKAR	7	
錬空武館	弐段	174	93	35	ミヤモト　ヤスナガ 宮本　靖祥 MIYAMOTO YASUNAGA	8	
東京城西国分寺支部	弐段	173	83	29	キタウラ　ケイスケ 北村　佳祐 KITAMURA KEISUKE	9	
I.K.O.UAE	1級	186	99	29	アフマド　アリ AHMAD ALI	10	
東京城西支部	弐段	170	81	23	タカタ　ユウイチロウ 髙田悠一郎 TAKATA YUICHIRO	11	
愛知名古屋支部	初段	186	95	20	キヤマ　シユウ 木山　獅勇 KIYAMA SHIYU	12	
東京城西世田谷東支部	1級	162	78	26	ハラグチ　ヒロキ 原口　大輝 HARAGUCHI HIROKI	13	
神奈川横浜北支部	初段	165	70	21	アライ　リョウヘイ 新井　遼平 ARAI RYOHEI	14	
栃木南支部	初段	170	84	28	ヌマオ　コウジ 沼尾　晃司 NUMAO KOJI	15	
I.K.O.RUSSIA	初段	175	89	24	コベレフ セルゲイ KOBELEV SERGEI	16	
I.K.O.BULGARIA	弐段	175	83	22	コストフ ボゴミル KOSTOV BOGOMIL	17	
東京城西支部	初段	183	85	20	スズキ　カナル 鈴木　奏成 SUZUKI KANARU	18	
東京城西南多摩支部	弐段	185	94	26	コエダ　レイ 小枝　怜生 KOEDA REI	19	
総本部札幌道場	弐段	180	105	45	ムラオカ　ヨシカズ 村岡　賢和 MURAOKA YOSHIKAZU	20	
東京城北支部	弐段	173	82	23	イイズカ　ツバサ 飯塚　翼 IIZUKA TSUBASA	21	

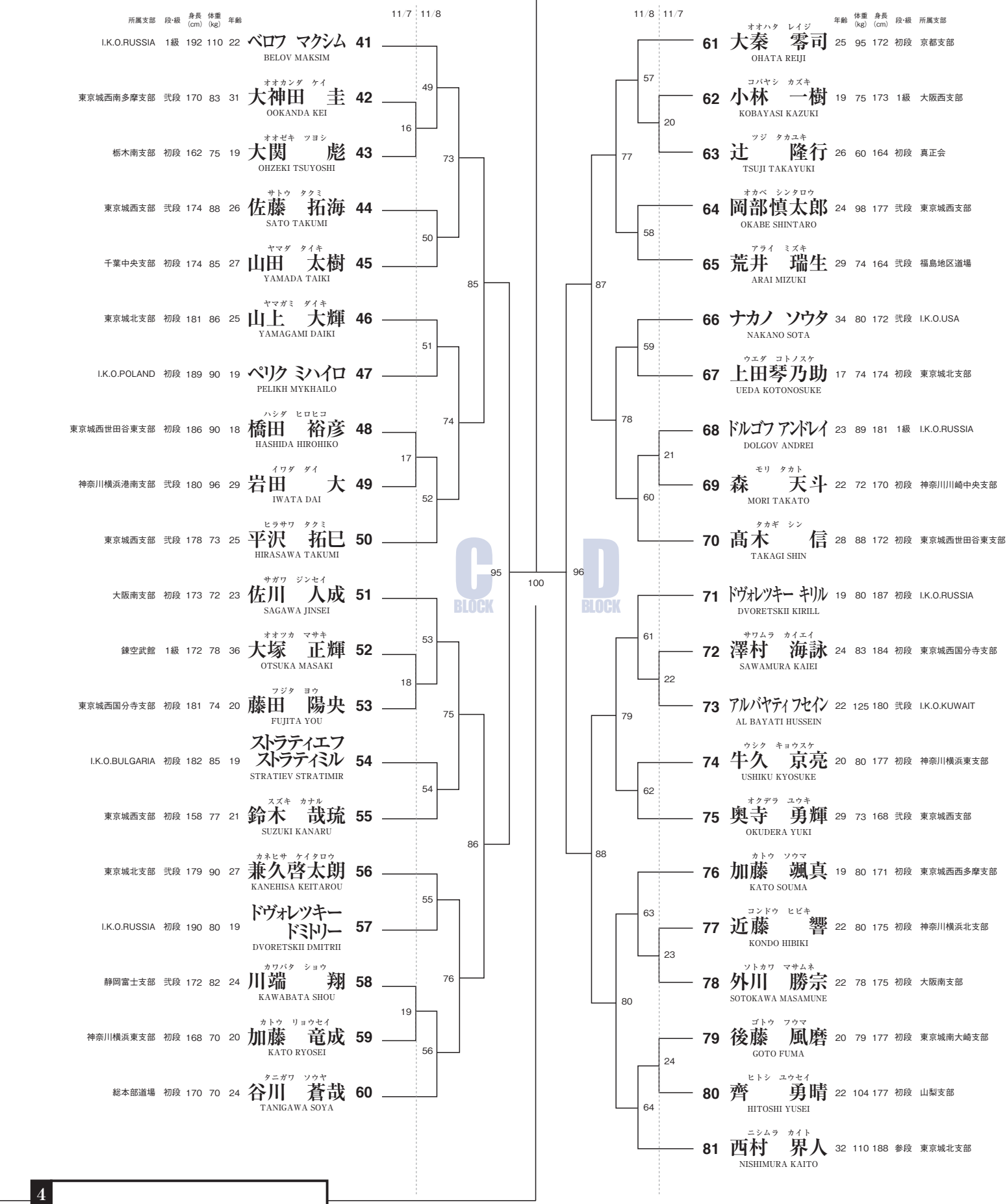
年齢	体重(kg)	身長(cm)	段・級	所属支部		
29	75	170	初段	総本部道場	ヒグチ　チハル 樋口　知春 HIGUCHI CHIHARU	22
31	77	173	初段	東京城西下北沢・町田支部	カネダ　タカヒロ 金田　貴裕 KANEDA TAKAHIRO	23
42	86	180	参段	東京城北支部	ヒライワ　コウタ 平岩　皓太 HIRAIWA KOTA	24
23	84	176	弐段	静岡富士支部	マエカワ　イブキ 前川　生向 MAEKAWA IBUKI	25
22	90	176	初段	東京城西西多摩支部	アキヤマ　ダイチ 秋山　大知 AKIYAMA DAICHI	26
22	106	183	初段	東京城西支部	タミズ　ハルキ 田水　春樹 TAMIZU HARUKI	27
22	95	177	初段	神奈川横浜東支部	アダチ　リュウジ 足立　龍二 ADACHI RYUJI	28
32	85	178	初段	神奈川横浜北支部	リ　カイ 李　櫂允 RI KAI	29
31	78	170	初段	東京城北支部	シミズ　ユウキ 清水　祐貴 SHIMIZU YUKI	30
30	110	190	参段	I.K.O.RUSSIA	イラソフ エフゲニー IURASOV EVGENII	31
25	98	195	初段	I.K.O.RUSSIA	グリンスキフ ウラジスラフ GLINSKIKH VLADISLAV	32
36	79	169	弐段	東京城西南多摩支部	ナカシマ　ヒロタカ 中島　寛高 NAKASHIMA HIROTAKA	33
24	90	190	初段	I.K.O.FRANCE	ブラトリー ノーラン BLATRY NOLAN	34
32	90	180	初段	大阪南支部	トクダ　カンタ 徳田　寛大 TOKUDA KANTA	35
21	88	186	初段	東京城西世田谷東支部	ハシダ　ハルヒコ 橋田　陽彦 HASHIDA HARUHIKO	36
36	86	170	初段	錬空武館	カサハラ　ユウト 笠原　佑斗 KASAHARA YUTO	37
26	73	174	初段	東京城西支部	ヒラヤマ　ナオキ 平山　尚樹 HIRAYAMA NAOKI	38
28	105	192	2級	I.K.O.KUWAIT	アルファデル アブドゥルアジズ ALFADHEL ABDULAZIZ	39
22	97	183	初段	東京城北支部	ニシムラ　タイガ 西村　大河 NISHIMURA TAIGA	40

3位

102（3位決定戦）

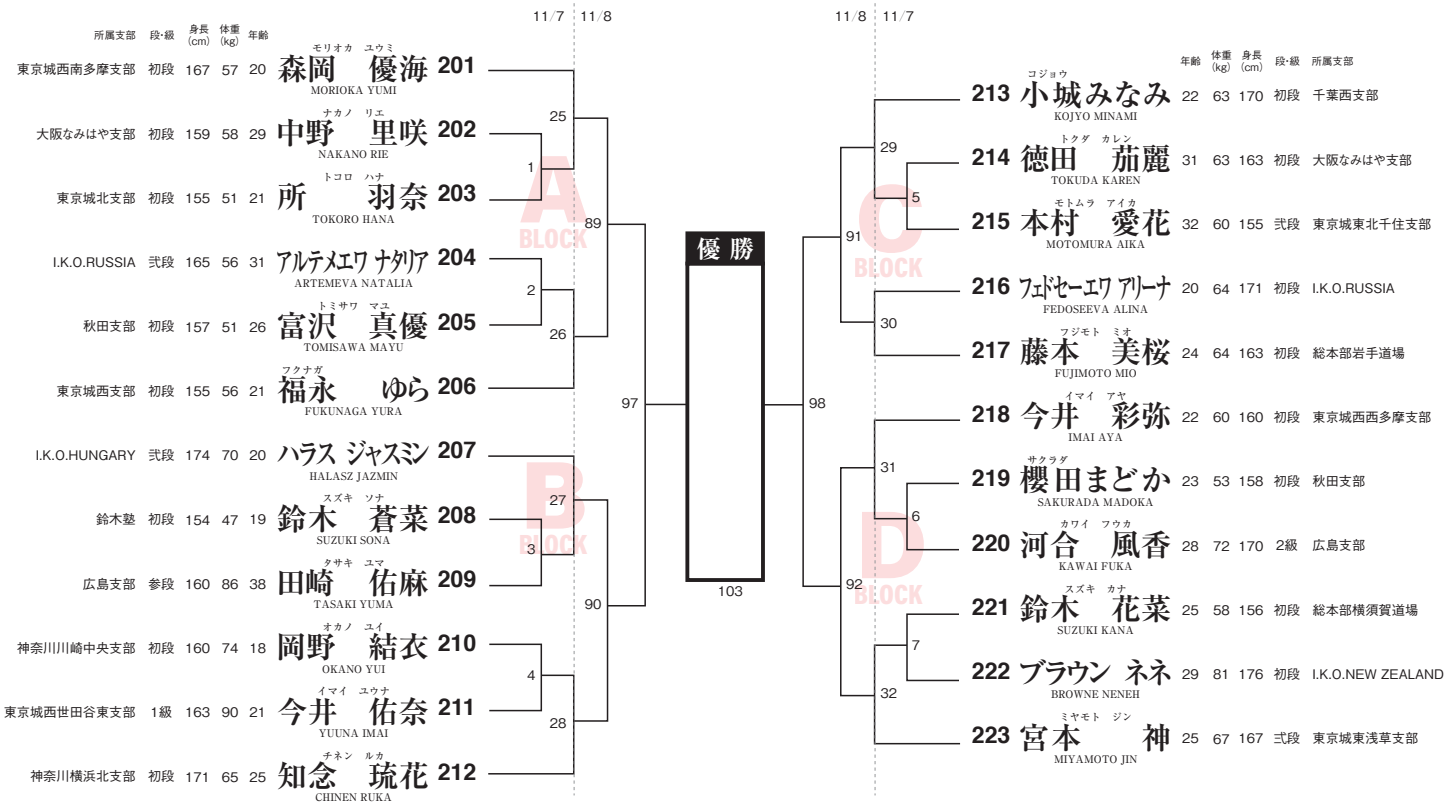
準優勝

4位



TOURNAMENT DRAW

第58回オープントーナメント全日本空手道選手権大会（女子）



第58回オープントーナメント全日本空手道選手権大会（女子）出場選手一覧



201
森岡 優海
MORIOKA YUMI
167cm・57kg・20歳・初段
東京城西南多摩支部



202
中野 里咲
NAKANO RIE
159cm・58kg・29歳・初段
大阪なみはや支部



203
所 羽奈
TOKORO HANA
155cm・51kg・21歳・初段
東京城北支部



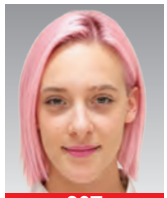
204
アルテメエワ ナタリア
ARTEMEVA NATALIA
165cm・56kg・31歳・弐段
I.K.O.RUSSIA



205
富沢 真優
TOMISAWA MAYU
157cm・51kg・26歳・初段
秋田支部



206
福永 ゆら
FUKUNAGA YURA
155cm・56kg・21歳・初段
東京城西支部



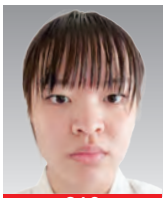
207
ハラス ジャスミン
HALASZ JAZMIN
174cm・70kg・20歳・弐段
I.K.O.HUNGARY



208
鈴木蒼菜
SUZUKI SONA
154ccm・47kg・19歳・初段
鈴木塾



209
田崎 佑麻
TASAKI YUMA
160cm・86kg・38歳・参段
広島支部



210
岡野 結衣
OKANO YUI
160cm・74kg・18歳・初段
神奈川川崎中央支部



211
今井 佑奈
YUUNA IMAI
163cm・90kg・21歳・1級
東京城西世田谷東支部



212
知念 琉花
CHINEN RUKA
171cm・65kg・25歳・初段
神奈川横浜北支部



213
小城みなみ
KOJYO MINAMI
170cm・63kg・22歳・初段
千葉西支部



214
徳田 茄麗
TOKUDA KAREN
163cm・63kg・31歳・初段
大阪なみはや支部



215
本村 愛花
MOTOMURA AIKA
155cm・60kg・32歳・弐段
東京城東北千住支部



216
フェドセーエワ アリーナ
FEDOSEEVA ALINA
171cm・64kg・20歳・初段
I.K.O.RUSSIA



217
藤本 美桜
FUJIMOTO MIO
163cm・64kg・24歳・初段
総本部岩手道場



218
今井 彩弥
IMAI AYA
160cm・60kg・22歳・初段
東京城西西多摩支部



219
櫻田まどか
SAKURADA MADOKA
158cm・53kg・23歳・初段
秋田支部



220
河合 風香
KAWAI FUKA
170cm・72kg・28歳・2級
広島支部



221
鈴木 花菜
SUZUKI KANA
156cm・58kg・25歳・初段
総本部横須賀道場



222
ブラウン ネネ
BROWNE NENEH
176cm・81kg・29歳・初段
I.K.O.NEW ZEALAND



223
宮本 神
MIYAMOTO JIN
167cm・67kg・25歳・弐段
東京城東浅草支部

試割表(男子)

■Aブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Cブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Bブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■Dブロック

ゼッケン	名前	正拳	足刀	遠臂	手刀	合計

■第58回全日本空手道選手権大会 男子入賞者

優　勝

準優勝

第３位

第４位

第５位

第６位

第７位

第８位

■第58回全日本空手道選手権大会 女子入賞者

優　勝

準優勝

第３位

第４位

敢闘賞

技能賞

新人賞

試割賞(男子)　　(　　枚)

1969-2025
全日本&全世界空手道選手権大会
歴代入賞者【男子】

第1回全日本空手道選手権大会
1969年9月20日◎東京体育館
優勝：山崎照朝
2位：添野義二
3位：長谷川一幸
4位：朴 邦治
5位：ポール・ジャクソン
6位：利川重男

第2回全日本空手道選手権大会
1970年9月26日◎東京体育館
優勝：長谷川一幸
2位：山崎照朝
3位：添野義二
4位：増田賢一
5位：金 次憲
6位：佐藤定志

第3回全日本空手道選手権大会
1971年10月24日◎東京体育館
優勝：佐藤勝昭
2位：大山泰彦
3位：大石代悟
4位：三浦美幸
5位：金城健一
6位：吉岡幸男

第4回全日本空手道選手権大会
1972年10月22日◎東京体育館
優勝：三浦美幸
2位：ハワード・コリンズ
3位：佐藤俊和
4位：山崎照朝
5位：添野義二
6位：今泉幸久

第5回全日本空手道選手権大会
1973年11月4日◎東京体育館
優勝：盧山初雄
2位：山崎照朝
3位：佐藤俊和
4位：佐藤勝昭
5位：富樫宣資
6位：松友登喜良
7位：浜井識安
8位：二宮城光

第6回全日本空手道選手権大会
1974年11月9日～ 10日◎東京体育館
優勝：佐藤勝昭
2位：東 孝
3位：盧山初雄
4位：西田幸夫
5位：佐藤俊和
6位：大石代悟
7位：山田政彦
8位：三瓶啓二

第1回全世界空手道選手権大会
（第7回全日本大会を兼ねる）
1975年11月1日～ 2日◎東京体育館
優勝：佐藤勝昭
2位：盧山初雄
3位：二宮城光
4位：大石代悟
5位：佐藤俊和
6位：東 孝
7位：チャールズ・マーチン
8位：フランク・クラーク

第8回全日本空手道選手権大会
1976年10月30日～ 31日◎東京体育館
優勝：佐藤俊和
2位：二宮城光
3位：東 孝
4位：沢柳俊夫
5位：三瓶啓二
6位：エディー・フレイジャー
7位：野口敏郎
8位：中山 明

第9回全日本空手道選手権大会
1977年11月5日～ 6日◎東京体育館
優勝：東 孝
2位：中山猛夫
3位：中村 誠
4位：浜井識安
5位：中村辰夫
6位：三瓶啓二
7位：廣重 毅
8位：斎藤良二

第10回全日本空手道選手権大会
1978年11月18日～ 19日◎東京体育館
優勝：二宮城光
2位：三瓶啓二
3位：中村 誠
4位：廣重 毅
5位：三好一男
6位：瀬戸秀二
7位：鈴木 勝
8位：川畑幸一

第11回全日本空手道選手権大会
1979年5月18日◎東京体育館
優勝：中村 誠
2位：三瓶啓二
3位：東 孝
4位：野口敏郎
5位：廣重 毅
6位：三好一男
7位：川畑幸一
8位：立崎辰雄

第2回全世界空手道選手権大会
1979年11月23日～ 25日◎日本武道館
優勝：中村 誠
2位：三瓶啓二
3位：ウィリー・ウイリアムス
4位：東 孝
5位：ハワード・コリンズ
6位：バーナード・クレトン
7位：セノ・マクサー
8位：川畑幸一

第12回全日本空手道選手権大会
1980年11月15日～ 16日◎東京体育館
優勝：三瓶啓二
2位：中村 誠
3位：為永 隆
4位：松井章圭
5位：矢島史郎
6位：ミカエル・ソーデルクビスト
7位：竹山晴友
8位：白石昌幸

第13回全日本空手道選手権大会
1981年11月14日～ 15日◎東京体育館
優勝：三瓶啓二
2位：中村 誠
3位：松井章圭
4位：白石昌幸
5位：三好一男
6位：田中正文
7位：竹山晴友
8位：前田政利

第14回全日本空手道選手権大会
1982年11月13日～ 14日◎東京体育館
優勝：三瓶啓二
2位：水口敏夫
3位：松井章圭
4位：三好一男
5位：竹山晴友
6位：アデミール・ダ・コスタ
7位：脇内 勉
8位：増田 章
敢闘賞：アデミール・ダ・コスタ
　　増田 章
新人賞：山岡哲基

第15回全日本空手道選手権大会
1983年11月12日～ 13日◎東京体育館
優勝：大西靖人
2位：小笠原和彦
3位：竹山晴友
4位：三好一男
5位：増田 章
6位：水口敏夫
7位：三瓶啓二
8位：松井章圭
敢闘賞：大西靖人
新人賞：藤田耕太郎

第3回全世界空手道選手権大会
1984年1月20日～ 22日◎日本武道館
優勝：中村 誠
2位：三瓶啓二
3位：松井章圭
4位：アデミール・ダ・コスタ
5位：大西靖人
6位：ニコラス・ダ・コスタ
7位：田原敬三
8位：デイブ・グリーブス
敢闘賞：ジェームス北村

第16回全日本空手道選手権大会
1984年11月3日～ 4日◎東京体育館
優勝：黒澤浩樹
2位：竹山晴友
3位：水口敏夫
4位：木元正資
5位：小笠原和彦
6位：五来克仁
7位：敷島知章
8位：湯澤元美
敢闘賞：七戸康博
新人賞：奥村啓治

第17回全日本空手道選手権大会
1985年11月3日～ 4日◎東京体育館
優勝：松井章圭
2位：黒澤浩樹
3位：増田 章
4位：ジェームス北村
5位：緑 健児
6位：大賀雅裕
7位：内山武盛
8位：小井義和
敢闘賞：緑 健児
新人賞：岡本信夫

第18回全日本空手道選手権大会
1986年11月2日～ 3日◎代々木第一体育館
優勝：松井章圭
2位：増田 章
3位：八巻建志
4位：小井義和
5位：七戸康博
6位：奥村幸一
7位：小笠原和彦
8位：桑島保浩
敢闘賞：ミッシェル・ウェーデル
技能賞：豊田宜邦
新人賞：ウシュリフ・ジョアド
　　ピーター・スミット

第4回全世界空手道選手権大会
（第19回全日本大会を兼ねる）
1987年11月6日～ 8日◎日本武道館
優勝：松井章圭
2位：アンディ・フグ
3位：増田 章
4位：マイケル・トンプソン
5位：アデミール・ダ・コスタ
6位：黒澤浩樹
7位：七戸康博
8位：ニコラス・ダ・コスタ
敢闘賞：ジェフリー・セベクル
技能賞：緑 健児
試割賞：スビグニウ・マタシ（22枚）

第20回全日本空手道選手権大会
1988年11月19日～ 20日◎両国国技館
優勝：桑島保浩
2位：石井 豊
3位：八巻建志
4位：山口 徹
5位：高橋 衛
6位：ホセイン・サディカマル
7位：草階 誠
8位：柴田英樹
敢闘賞：高橋 衛
技能賞：吉岡 智
試割賞：柚井知志（25枚）
新人賞：石井 豊

第21回全日本空手道選手権大会
1989年12月23日～ 24日◎両国国技館
優勝：八巻建志
2位：田村悦宏
3位：桑島保浩
4位：増田 章
5位：川本英児
6位：石井 豊
7位：滝田 巌
8位：七戸康博
敢闘賞：アビブ・ザルコ
技能賞：ステファン・タキワ
試割賞：川本英児（22枚）
新人賞：川本英児

第22回全日本空手道選手権大会
1990年12月1日～ 2日◎東京体育館
優勝：増田 章
2位：緑 健児
3位：岩崎達也
4位：外舘慎一
5位：三明広幸
6位：南 豪宏
7位：内山武盛
8位：八巻建志
敢闘賞：三明広幸
技能賞：緑 健児
試割賞：阿部清文（24枚）
新人賞：南 豪宏

第5回全世界空手道選手権大会
（第23回全日本大会を兼ねる）
1991年11月2日～ 4日◎東京体育館
優勝：緑 健児
2位：増田 章
3位：黒澤浩樹
4位：ジャン・リビエール
5位：八巻建志
6位：石井 豊
7位：七戸康博
8位：ジョニー・クレイン
敢闘賞：フランシスコ・フィリォ
技能賞：マイケル・トンプソン
試割賞：阿部清文（24枚）

第24回全日本空手道選手権大会
1992年10月31日～ 11月1日◎東京体育館
優勝：田村悦宏
2位：数見 肇
3位：岡本 徹
4位：七戸康博
5位：石井 豊
6位：杉村多一郎
7位：八巻建志
8位：小川俊一
敢闘賞：数見 肇
技能賞：岡本 徹
試割賞：阿部清文（31枚）

第25回全日本空手道選手権大会
1993年10月29日～ 30日◎東京体育館
優勝：数見 肇

2位：田村悦宏
3位：岡本 徹
4位：七戸康博
5位：青木英憲
6位：黒澤浩樹
7位：八巻建志
8位：野上利幸
試割賞：数見 肇（23枚）

第26回全日本空手道選手権大会
1994年10月29日～30日◎東京体育館
優勝：八巻建志
2位：数見 肇
3位：市村直樹
4位：岡本 徹
5位：吾孫子功二
6位：塚本徳臣
7位：谷川 光
8位：川原奈穂樹
敢闘賞：塚本徳臣
技能賞：川原奈穂樹
試割賞：数見 肇（26枚）

第6回全世界空手道選手権大会
（第27回全日本大会を兼ねる）
1995年11月3日～5日◎東京体育館
優勝：八巻建志
2位：数見 肇
3位：フランシスコ・フィリォ
4位：ギャリー・オニール
5位：ニコラス・ペタス
6位：黒澤浩樹
7位：ルシアーノ・バジレ
8位：グラウベ・フェイトーザ
敢闘賞：黒澤浩樹
技能賞：成嶋 竜
試割賞：ウォルター・シュナーベルト（29枚）

第28回全日本空手道選手権大会
1996年11月3日～4日◎東京体育館
優勝：数見 肇
2位：ギャリー・オニール
3位：高久昌義
4位：高尾正紀
5位：市村直樹
6位：ウォルター・シュナーベルト
7位：田村悦宏
8位：堀池典久
敢闘賞：野地竜太
技能賞：成嶋 竜
試割賞：数見 肇（29枚）

第29回全日本空手道選手権大会
1997年11月1日～2日◎東京体育館
優勝：数見 肇
2位：ギャリー・オニール
3位：堀池典久
4位：田村悦宏
5位：守友完矢
6位：市村直樹
7位：高尾正紀
8位：岩崎達也
敢闘賞：岩崎達也
技能賞：ギャリー・オニール
試割賞：ウォルター・シュナーベルト（25枚）

第30回全日本空手道選手権大会
1998年11月14日～15日◎東京体育館
優勝：数見 肇
2位：田村悦宏
3位：木山 仁
4位：野地竜太
5位：高久昌義
6位：市村直樹
7位：門井敦嗣
8位：木村靖彦
敢闘賞：木立裕之
技能賞：伊藤 慎
試割賞：岩崎達也（27枚）

第7回全世界空手道選手権大会
（第31回全日本大会を兼ねる）
1999年11月5日～7日◎東京体育館
優勝：フランシスコ・フィリォ
2位：数見 肇
3位：アレキサンダー・ピチュクノフ
4位：グラウベ・フェイトーザ
5位：ニコラス・ペタス
6位：木村靖彦
7位：野地竜太
8位：成嶋 竜
敢闘賞：福田達也
技能賞：成嶋 竜
試割賞：エミル・コストフ（25枚）

第32回全日本空手道選手権大会
2000年11月4日～5日◎東京体育館
優勝：木山 仁
2位：木村靖彦
3位：市村直樹
4位：木立裕之
5位：池田雅人
6位：伊藤 慎
7位：田中健太郎
8位：幸 龍敬
敢闘賞：子安慎悟
技能賞：伊藤 慎
試割賞：池田雅人（24枚）

第33回全日本空手道選手権大会
2001年11月3日～4日◎東京体育館
優勝：木山 仁
2位：木村靖彦
3位：足立慎史
4位：市川雅也
5位：池田雅人
6位：池田祥規
7位：田中健太郎
8位：加藤達哉
敢闘賞：市川雅也
技能賞：池田雅人
試割賞：池田雅人（29枚）

第34回全日本空手道選手権大会
2002年11月2日～3日◎東京体育館
優勝：数見 肇
2位：木山 仁
3位：田中健太郎
4位：徳田忠邦
5位：住谷 統
6位：入澤 群
7位：市村直樹
8位：洪 太星
敢闘賞：徳田忠邦
技能賞：木山 仁
試割賞：住谷 統（23枚）
新人賞：洪 太星

第8回全世界空手道選手権大会
（第35回全日本大会を兼ねる）
2003年11月1日～3日◎東京体育館
優勝：木山 仁
2位：セルゲイ・プレカノフ
3位：エヴェルトン・テイシェイラ
4位：グラウベ・フェイトーザ
5位：レチ・クルバノフ
6位：木村靖彦
7位：セルゲイ・オシポフ
8位：木立裕之
敢闘賞：木立裕之
　　エミル・コストフ
技能賞：田ヶ原正文
試割賞：セルゲイ・プレカノフ（29枚）

第36回全日本空手道選手権大会
2004年11月6日～7日◎東京体育館
優勝：田中健太郎
2位：徳田忠邦
3位：ミハエル・コズロフ
4位：マキシム・デディック
5位：ダルメン・サドヴォカソフ
6位：森村謙信
7位：池本 理
8位：木立裕之
敢闘賞：ミハエル・コズロフ
技能賞：木立裕之
試割賞：徳田忠邦（24枚）
新人賞：池本 理

第37回全日本空手道選手権大会
2005年11月5日～6日◎東京体育館
優勝：内田義晃
2位：塩島 修
3位：徳田忠邦
4位：加藤達哉
5位：沢田秀男
6位：田ヶ原正文
7位：市村直樹
8位：田中健太郎
敢闘賞：塩島 修
技能賞：田ヶ原正文
試割賞：内田義晃（26枚）
新人賞：内田義晃

第38回全日本空手道選手権大会
2006年11月18日～19日◎東京体育館
優勝：内田義晃
2位：アルトゥール・ホヴァニシアン
3位：ディミトリー・ルネフ
4位：クリストフ・ハブラシカ
5位：木立裕之
6位：別府良建
7位：田中健太郎
8位：池本 理
敢闘賞：クリストフ・ハブラシカ
　　ディミトリー・ルネフ
試割賞：内田義晃（29枚）
新人賞：原田聡一郎

第9回全世界空手道選手権大会
（第39回全日本大会を兼ねる）
2007年11月16日～18日◎東京体育館
優勝：エヴェルトン・テイシェイラ
2位：ヤン・ソウクップ
3位：アルトゥール・ホヴァニシアン
4位：ダルメン・サドヴォカソフ
5位：アンドレイ・ステピン
6位：アレハンドロ・ナヴァロ
7位：エドアールド・タナカ
8位：村田達也
敢闘賞：村田達也
技能賞：アルトゥール・ホヴァニシアン
試割賞：レチ・クルバノフ（31枚）
新人賞：村田達也

第40回全日本空手道選手権大会
2008年11月1日～2日◎東京体育館
優勝：谷口 誠
2位：ザハリ・ダミヤノフ
3位：田中健太郎
4位：木立裕之
5位：村田達也
6位：赤石 誠
7位：イゴール・ティトゥコフ
8位：森 善十朗
敢闘賞：ザハリ・ダミヤノフ
　　イゴール・ティトゥコフ
試割賞：ヌルマガメド・マメドフ（29枚）

第41回全日本空手道選手権大会
2009年11月21日～22日◎東京体育館
優勝：田中健太郎
2位：アレハンドレ・ナヴァロ
3位：赤石 誠
4位：木立裕之
5位：ダルメン・サドヴォカソフ
6位：別府良建
7位：森 善十朗
8位：エドアールド・タナカ
敢闘賞：三田裕太／鎌田翔平
試割賞：ヌルマガメド・マメドフ（28枚）
新人賞：小林大起

第42回全日本空手道選手権大会
2010年11月20日～21日◎東京体育館
優勝：タリエル・ニコラシヴィリ
2位：森 善十朗
3位：田中健太郎
4位：沢田秀男
5位：荒田昇毅
6位：小林大起
7位：レチ・クルバノフ
8位：鎌田翔平
敢闘賞：中村昌永
技能賞：森 善十朗
試割賞：荒木 聡（22枚）
新人賞：高橋佑汰

第10回全世界空手道選手権大会
（第43回全日本大会を兼ねる）
2011年11月4日～6日◎東京体育館
優勝：タリエル・ニコラシヴィリ
2位：エヴェルトン・テイシェイラ
3位：ゴデルジ・カバナーゼ
4位：赤石 誠
5位：ザハリ・ダミヤノフ
6位：ニコライ・ダヴィドフ
7位：オレクサンダー・イエロメンコ
8位：イリヤ・カルペンコ
敢闘賞：ゴデルジ・カバナーゼ
技能賞：澤村勇太
試割賞：ザハリ・ダミヤノフ(24枚)
若獅子賞：タリエル・ニコラシヴィリ

第44回全日本空手道選手権大会
2012年11月3日～4日◎両国国技館
優勝：アレハンドロ・ナヴァロ
2位：ゴデルジ・カバナーゼ
3位：荒田昇毅
4位：ダルメン・サドヴォカソフ
5位：イリヤ・カルペンコ
6位：安島喬平
7位：鎌田翔平
8位：森 善十朗
敢闘賞：髙橋佑汰
技能賞：森 善十朗
試割賞：イリヤ・カルペンコ（24枚）
新人賞：加賀健弘
　　デビッド・シャルコシャン

第45回全日本空手道選手権大会
2013年11月2日～3日◎東京体育館
優勝：安島喬平
2位：アレハンドロ・ナヴァロ
3位：キリル・コチュネフ
4位：小沼隆一
5位：鎌田翔平
6位：イヴァン・メゼンツェフ
7位：上田幹雄
8位：デビッド・シャルコシャン
敢闘賞：中村昌永
技能賞：上田幹雄
試割賞：ニコライ・ダヴィドフ（22枚）
新人賞：石﨑恋之介／上田幹雄
　　中島千博／イヴァン・メゼンツェフ

第46回全日本空手道選手権大会
2014年11月2日～3日◎東京体育館
優勝：ダルメン・サドヴォカソフ
2位：荒田昇毅
3位：森 善十朗
4位：鎌田翔平
5位：イリヤ・カルペンコ
6位：上田幹雄
7位：髙橋佑汰
8位：キリル・コチュネフ
技能賞：森 善十朗／イリヤ・カルペンコ
試割賞：ジマ・ベルコジャ（25枚）
新人賞：山田拓馬／谷川聖哉

第11回全世界空手道選手権大会
（第47回全日本大会を兼ねる）
2015年11月20日～22日◎東京体育館
優勝：ザハリ・ダミヤノフ
2位：ジマ・ベルコジャ
3位：ダルメン・サドヴォカソフ
4位：キリル・コチュネフ
5位：アショット・ザリヤン
6位：上田幹雄
7位：イヴァン・メゼンツェフ
8位：荒田昇毅
敢闘賞：アショット・ザリヤン
技能賞：髙橋佑汰
試割賞：デビッド・シャルコシャン（25枚）
若獅子賞：南原健太

第48回全日本空手道選手権大会
2016年11月5日～6日◎東京体育館
優勝：鎌田翔平
2位：髙橋佑汰
3位：上田幹雄
4位：荒田昇毅
5位：アショット・ザリヤン
6位：コンスタンティン・コバレンコ
7位：谷川聖哉
8位：エルダー・イスマイロフ
敢闘賞：谷川聖哉
技能賞：鎌田翔平
試割賞：デビッド・ナボイアン（24枚）
新人賞：アントン・グリアエフ
　　ベイ・ノア

第49回全日本空手道選手権大会
2017年11月3日～ 4日◎東京体育館
優勝：髙橋佑汰
2位：鎌田翔平
3位：荒田昇毅
4位：上田幹雄
5位：アショット・ザリヤン
6位：ゴデルジ・カバナーゼ
7位：南原健太
8位：オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞：亘 和孝
技能賞：中島千博
試割賞：アンドレイ・ルジン（22枚）
新人賞：髙橋扶汰／奥寺勇輝

第50回全日本空手道選手権大会
2018年10月27日～ 28日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：上田幹雄
2位：鎌田翔平
3位：荒田昇毅
4位：キリル・コチュネフ
5位：アンドレイ・ルジン
6位：髙橋佑汰
7位：アントン・グリアエフ
8位：オレクサンダー・イエロメンコ
敢闘賞：アントン・グリアエフ
試割賞：西村界人（22枚）
新人賞：長澤大和／山上大輝

第12回全世界空手道選手権大会
（第51回全日本大会を兼ねる）
2019年11月22日～ 24日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：上田幹雄
2位：オレクサンダー・イエロメンコ
3位：アンドレイ・ルジン
4位：髙橋佑汰
5位：コンスタンティン・コバレンコ
6位：星龍之介
7位：イゴール・ザガイノフ
8位：荒田昇毅
敢闘賞：アショット・ザリヤン
星龍之介
技能賞：コンスタンティン・コバレンコ
試割賞：イリヤ・カルペンコ（28枚）
若獅子賞：イゴール・ザガイノフ
イカロ・ナシメント

第52回全日本空手道選手権大会
2020年11月29日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：コンスタンティン・コバレンコ
2位：西村界人
3位：清水祐貴
4位：石﨑恋之介
5位：山川竜馬
6位：加賀健弘
7位：奥寺勇輝
8位：小林健人
敢闘賞：亘 和孝
技能賞：奥寺勇輝
試割賞：コンスタンティン・コバレンコ（25枚）
新人賞：佐藤拓海

第53回全日本空手道選手権大会
2022年4月17日◎東京体育館
優勝：西村界人
2位：山川竜馬
3位：加賀健弘
4位：コンスタンティン・コバレンコ
5位：清水祐貴
6位：佐藤拓海
7位：石﨑恋之介
8位：飯塚 翼
敢闘賞：飯塚 翼
試割賞：西村界人（28枚）
新人賞：岡部慎太郎

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日◎東京体育館
優勝：西村界人
2位：コバレンコ・コンスタンティン
3位：大秦稜司
4位：荒田昇毅
5位：加賀健弘
6位：清水祐貴
7位：石﨑恋之介
8位：山上大輝
敢闘賞：荒田昇毅
技能賞：大秦稜司
試割賞：コンスタンティン・コバレンコ（22枚）
新人賞：西村大河

第13回全世界空手道選手権大会
（第55回全日本大会を兼ねる）
2023年11月17日～ 19日◎東京体育館
優勝：イエロメンコ・アレクサンダー
2位：西村界人
3位：ルジン・アンドレイ
4位：トゥセウ・アントニオ
5位：ザガイノフ・イゴール
6位：コバレンコ・コンスタンティン
7位：エキモフ・マクシム
8位：フェドシーフ・アレクセイ
敢闘賞：岡部慎太郎
技能賞：佐藤拓海／山上大輝
試割賞：ゴリウシキン・ダニル（28枚）
若獅子賞：コストフ・ボゴミル

第56回全日本空手道選手権大会
2024年11月30日～ 12月1日◎東京体育館
優勝：コバレンコ・コンスタンティン
2位：荒田昇毅
3位：エキモフ・マクシム
4位：ゴリウシキン・ダニル
5位：グセイノフ・ラシャド
6位：ボリアコフ・イリア
7位：谷川蒼哉
8位：トゥセウ・アントニオ
敢闘賞：谷川蒼哉
技能賞：ボリアコフ・イリア
試割賞：ゴリウシキン・ダニル（25枚）
新人賞：田水春樹

第57回全日本空手道選手権大会
2025年12月27日～ 28日◎日本空手道会館
優勝：コバレンコ・コンスタンティン
2位：西村界人
3位：ゴリウシキン・ダニル
4位：ベロフ・マクシム
5位：グセイノフ・ラシャド
6位：大秦稜司
7位：フェドシーフ・アレクセイ
8位：西村大河
技能賞：谷川蒼哉、大秦稜司
試割賞：ゴリウシキン・ダニル（28枚）
新人賞：ベロフ・マクシム

1996-2025 全日本&全世界空手道選手権大会 歴代入賞者【女子】

1996全国女子交流大会
1996年9月16日◎京都市武道センター
優勝：江口美幸
2位：那須潤子
3位：守屋 円
4位：渡邊雅子

1997全日本女子空手道選手権大会
1997年10月12日
◎台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝：江口美幸
2位：中村章子
3位：守屋 円
4位：渡邊雅子

1998全日本女子空手道選手権大会
1998年9月27日
◎台東区リバーサイドスポーツセンター
優勝：藤田典子
2位：岩井夏美
3位：村上知美
4位：原小夜子

2000全日本女子空手道選手権大会
2000年2月27日◎代々木第二体育館
優勝：中村章子
2位：藤田典子
3位：岩井夏美
4位：原小夜子

2011全日本女子空手道選手権大会
2011年6月11日◎大阪府立体育会館
優勝：田崎佑麻
2位：太田菜月
3位：中村綾乃
4位：田中千尋

2011世界女子空手道選手権大会
2011年11月3日◎東京体育館
優勝：アナスタシア・クリプノワ
2位：ジュリー・ラマー
3位：エレナ・ヴォロビヨワ
4位：アンナ・カチンスカ

2012全日本女子空手道選手権大会
2012年8月26日◎京都府立体育館
優勝：田崎佑麻
2位：島田慧巳
3位：田中千尋
4位：中村綾乃

2013全日本女子空手道選手権大会
2013年8月25日◎京都府立体育館
優勝：横山友美
2位：田崎佑麻
3位：島田慧巳
4位：小田幸奈

2014全日本女子空手道選手権大会
2014年8月24日◎京都府立体育館
優勝：田崎佑麻
2位：小田幸奈
3位：河原瑛里香
4位：横山友美

2015世界女子空手道選手権大会
2015年11月23日◎東京体育館
優勝：ウリアナ・グレベンシコワ
2位：エレナ・グルコ
3位：田中千尋
4位：アナスタシア・クリプノワ

2016全日本女子空手道選手権大会
2016年8月21日◎京都府立体育館
優勝：永吉美優
2位：砂川貴蘭
3位：小田幸奈
4位：島田慧巳

2017全日本女子空手道選手権大会
2017年11月3日～ 4日◎東京体育館
優勝：アナスタシア・カサノワ
2位：島田慧巳
3位：本村愛花
4位：小田幸奈

2018全日本女子空手道選手権大会
2018年10月27日～ 28日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：永吉美優
2位：佐藤七海
3位：アナスタシア・カサノワ
4位：イウリヤ・グリゴレワ

2019世界女子空手道選手権大会
2019年11月23日～ 24日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：永吉美優
2位：佐藤七海
3位：シャイネス・エルハイモワ
4位：アナスタシア・カサノワ
技能賞：シャイネス・エルハイモワ

2020全日本女子空手道選手権大会
2020年11月29日
◎武蔵野の森総合スポーツプラザ
優勝：佐藤七海
2位：鵜沢菜南
3位：遠藤ひとみ
4位：山﨑乙乃
敢闘賞：鵜沢菜南
技能賞：佐藤七海
新人賞：鵜沢菜南

2021全日本女子空手道選手権大会
2022年4月17日◎東京体育館
優勝：佐藤七海
2位：八幡華菜
3位：山﨑乙乃
4位：本村愛花
敢闘賞：宮本 神
新人賞：知念琉花

第54回全日本空手道選手権大会
2022年11月20日◎東京体育館
優勝：鵜沢菜南
2位：佐藤七海
3位：知念琉花
4位：山﨑乙乃
敢闘賞：知念琉花
技能賞：佐藤七海
新人賞：神田乙璃沙

第13回全世界空手道選手権大会
（第55回全日本大会を兼ねる）
2023年11月17日～ 19日◎東京体育館
優勝：佐藤七海
2位：鵜沢菜南
3位：ザベリナ・エリザベータ
4位：コズロワ・エカテリーナ
敢闘賞：カザリアン・アレクサンドラ
技能賞：佐藤七海
若獅子賞：スベトロワ・アリーナ
イサ・マリナ／所 羽奈
森岡優海／小木戸琉奈

第56回全日本空手道選手権大会
2024年11月30日～ 12月1日◎東京体育館
優勝：ザベリナ・エリザベータ
2位：宮本 神
3位：ザソリナ・クセニア
4位：小城みなみ
新人賞：岡野結衣

第57回全日本空手道選手権大会
2025年12月27日～ 28日◎日本空手道会館
優勝：カルボワ・エカテリーナ
2位：宮本 神
3位：森岡優海
4位：小城みなみ
技能賞：森岡優海

I.K.O. 審判資格者

2026年11月現在
as of 2026 November

I.K.O. Officiating License Holders List

※準副審判員は省略

◆審判委員会 *(Officiating Committee)*

審判長 *(Committee Chairman)*

磯部 清次 *ISOBE SEIJI*

副審判長 *(Committee Vice Chairman)*

ケニー ウーテンボガート *KENNY UYTENBOGAARDT*

山田 雅稔 *YAMADA MASATOSHI*

審議委員 *(Committee Member)*

河岡 博實 *KAWAOKA HIROMI*

川畑 幸一 *KAWABATA KOICHI*

浜井 良顕 *HAMAI YOSHIAKI*

スチュアート コリガル *STUART CORRIGAL*

◆特別審判員 *(Executive Referee)*

五来 克仁 *GORAI KATSUHITO*

福田 勇 *FUKUDA ISAMU*

八巻建志 *YAMAKI KENJI*

◆主審判員 *(Referee)*

赤石 誠
阿部 清文
伊藤 慎
入澤 群
小田 勝幸
鴨志田 裕寿
河岡 晶俊
川本 英児
菅野 秀行
木立 裕之
木山 仁
進 裕治
杉村 多一郎
田口 恭一
田中 隆昌
戸田 直志
羽田 シゲル
ホヴァニシアン アルトゥール
三村 政史
山口 進也
横山 誠

◆準主審判員 *(Associate Referee)*

青木 英憲
安島 喬平
足立 慎史
池田 祥規
石川 博栄
石黒 康之
石田 伸太
伊藤 和摩
今井 宏幸
岩田 厚
岡田 幸喜
隠岐 忠顕
柿沼 英明
加藤 瑞基
北本 久也
黒田 都士
毛塚 慎一
小坂 精作
佐々木 敏也
塩島 修
鈴木 雄三
瀬戸口 雅昭
田ヶ原 正文
竹石 修
谷口 正明
徳田 忠邦
中塚 信夫
仲間 博之
中村 章子
永田 太
西村 淳平
秦 貴典
初川 正彦
日比野 丈二
福田 達也
ホスロ ヤグビ
細野 由人
堀田 裕晴
本間 唯志
前川 克信
松永 敏
御子柴 直司
三村 忠司
三宅 義人
宮脇 英彰
村田 達也
森 善十朗
守友 完矢

◆公式審判員 *(Judge)*

青木 修
青木 慎二
東 博昭
荒井 茂
新井 敏雄
荒田 昇毅
荒玉 康夫
板橋 清隆
今西 登之彦
梅本 直
江口 美幸
江口 芳治
大谷 善次
岡田 祐樹
小沼 隆一
貝沼 慶多
垣内 翔
嘉藤 伸
加藤 雄作
香取 宏明
金久保 典幸
鎌田 翔平
鴨志田 洋幸
川村 剛宏
川村 龍馬
菊地 修
北川 宗裕
久保 則之
久保 英和
倉島 博
栗原 直樹
呉 昌紀
高武 慎之介
小坂 武史
小林 節
小林 龍太
桜沢 昌一
澤田 乃基
宍倉 一太郎
島田 好己
真鍋 宏二郎
鈴木 悦子
鈴木 由一
高井 康弘
高崎 秀之
高根 祥郎
竹岡 拓哉
田崎 佑麻
田中 勢二郎
田中 正信
田邊 英明
谷口 拓也
田原 一樹
塚原 典寿
津田 久義
徳田 寛大
戸谷 諒介
中 淳一
中辻 惟時
西尾 大輝
沼尾 陽司
根本 清志
羽田 和美
林 芳彦
馬場 武
比嘉 幸治
樋口 恵士
日野 正人
平尾 敏也
福井 裕樹
福森 堅仁
藤野 尊秀
古城 忠
堀内 徳浩
桝谷 謙人
松村 典雄
三角 裕隆
水品 秀樹
三井 良介
宮崎 昌浩
本村 愛花
八木 一貴
安川 千鶴
薮井 祐也
矢部 剛
山上 博文
山添 雅史
由木 克宜
吉田 浩一
鈴木 康之

◆準審判員 *(Associate Judge)*

相澤 一賀
相澤 孝次
相見 秀樹
青木 海
青木 孝貢
青木 宏至
青柳 香菜美
青山 優衣
明石 浩太
秋元 英公子
秋本 勝宏
秋元 結奈
秋山 治
穐山 和斗
秋山 俊太郎
秋山 大知
阿久津 典子
阿久津 実希
阿久津 怜音
明日 勝昌
浅井 清志
朝井 清
浅川 好子
浅田 和義
浅田 潤
浅沼 明美
朝日 浩司
阿座上 圭
阿曽 健太郎
阿曽 詩織
阿曽 芳樹
安達 努
熱海 完児
阿部 修一
安部 貴史
阿部 司
阿部 仁士
阿部 広樹
阿部 二三夫
阿部 有騎
阿部 ゆり子
阿部 良平
天沼 優望
天野 朝之
アミール バクシ
荒井 厚志
荒井 瑞生
新井 安行
荒井 裕志
新井 遼平
荒川 瑞希
荒川 善幸
荒木 聡
荒野 竜司
荒屋 秀樹
有田 晃之
有持 真人
安藤 和宏
安藤 公敬
安藤 誠一
安道 ノボル
安藤 増実
安藤 義人
飯島 信二
飯島 昌宏
飯島 美穂子
飯島 由久
飯田 一義
飯田 貴
飯塚 茂幸
飯塚 努
飯塚 勉
飯塚 翼
飯塚 光
飯塚 博之
飯野 圭一
飯渕 直人
飯山 勝彦
井川 貴順
五十嵐 洋介
井口 成人
池上 采那
池谷 佳紀
池嶋 傑
池尻 俊哉
池田 歩実
池田 孝徳
池田 雅之
池田 美穂
池田 心結
池田 康之
池田 喜紀
池田 亮太
池之内 貴光
池村 陵弥
池本 哲治
生駒 大
伊佐治 和雄
石井 昌二
石井 達一
石井 鉄也
石井 博裕
石井 百花
石井 豊
石井 礼助
石井 玲八
石岡 幸治
石川 貴雄
石川 強司
石川 豊
石川 廉大
石上 明
石坂 圭典
石崎 恋之介
石崎 文也
石塚 博之
石関 もも
石田 和良
石田 成樹
石田 拓巳
石田 稔人
石田 正人
石田 昌巳
石原 奈央子
石原 久雄
石灰 亜優
石橋 浩
石森 文久
石山 俊介
居島 敏和
猪尻 浩人
和泉 俊佑
磯 聖子
礒邉 龍吾
板倉 隆宏
板波 巧真
板波 ひとみ
伊丹 浩二
市川 竜也
一条 忠
一志 浩平
井手 雄一
伊藤 勝文
伊藤 一惠

伊藤 滉一郎
伊藤 光太郎
伊藤 真介
伊藤 孝明
伊藤 武志
伊藤 大治郎
伊藤 千華
伊藤 勉
伊藤 なな
伊藤 寧
伊東 信久
伊藤 正彦
伊藤 観世
伊藤 萌惠
伊藤 克剛
稲垣 源気
稲垣 達哉
稲崎 雄
犬塚 翔太
井上 一由
井上 健司
井上 真幸
井上 素世
伊原 武志
伊比 圭
井樋 奎介
伊深 達哉
今井 彩弥
今井 宏一
今井 俊輔
今井 智道
今井 秀樹
今井 康隆
今泉 智憲
今田 貴志
今津 優至
今畑 雅之
今本 博
井向 謙太
居村 将治
妹背 明
入井 歩
入口 裕太
入田 直也
岩井 浩二
岩尾 光弘
岩城 達也
岩崎 臣次
岩崎 伸之
岩崎 紀彦
岩崎 宗仁
岩崎 力也
岩田 いづみ
岩田 繁人
岩田 淳一
岩田 大
岩田 徹
岩田 龍真
岩沼 靖郎
岩橋 正憲
岩花 道久
岩間 明紀
岩間 雄二
岩谷 敏広
因 徹也
因泥 友成
宇井 清
上枝 知弘
上澤 俊一
植田 隆範
上田 海斗
上田 大介
上田 努
上田 英之
上野 志乃
上野 真吾
上野 洋平
上原 浩二
上原 秀雄
上原 真仁
上原 雄輔
植松 政洋
上村 康太
上村 聖弥
宇佐美 辰宜
宇佐美 真志
宇佐見 優二
牛久 京亮
後 英樹
臼井 大晟
薄井 弘幸
臼山 豊
歌川 宏見
宇田川 かすみ
宇田川 桂人
宇田川 正樹
内島 武志
内田 知美
内田 記央
内田 仁
有働 直樹
生方 旭
海野 雅紀
海野 守人
梅澤 潔
梅下 智弘
梅本 秀樹
浦出 高史
永楽 博徳
永楽 悠介
江川 晋示
江川 麟太朗
江口 友夫
江角 陽二
江副 守
越後 礼一
江戸 一成
榎本 亘
江平 奈央
蛯谷 実香
蛯名 透
遠藤 京多
遠藤 拓真
遠藤 健夫
遠藤 優衣
笈川 達弥
及川 弘喜
王 肖剛
大井 克宏
大泉 龍斗
大内 啓次
大内 星弥
大川 響介
大川 忠義
大神田 圭
大柿 慎也
大柿 龍星
大懸 慈人
大木 大輔
大久保 透
大越 卓人
大胡田 恭
大澤 佳心
大澤 克己
大澤 真也
大澤 忠義
大島 宏一郎
大島 貴義
大島 啓史
大須賀 鉱一郎
大角 直樹
大関 仁
大関 彪
太田 周作
太田 壮一
太田 英明
太田 広伸
太田 雅志
大高 浩
大竹 明宏
大竹 正陽
大谷 正道
太田和 幸充
大塚 建太
大塚 寿人
大塚 鉄也
大塚 裕一
大友 健義
大西 敦己
大西 秀治
大西 竜司
大貫 久歳
大野 聖矢
大野 幸秋
大野 滉弥
大野 雅章
大野 昌弘
大橋 和幸
大橋 初行
大畑 安史
大秦 稜司
大秦 零司
大原 昭彦
大庭 弘之
大平 銑一郎
大前 政夫
大曲 美樹
大間知 義人
近江 藤夫
大村 大輔
大村 道彦
大室 友良
大森 妃奈
大山 順二
大和 宏樹
岡 茂
岡 直樹
岡 宏仁
岡 正幸
岡上 朋弘
岡崎 藤二郎
岡崎 征史
岡田 恵子
岡田 健斗
岡田 優
岡田 行王
岡戸 信暁
岡部 慎太郎
岡村 真也
岡村 清二
岡村 美奈
岡本 香織
岡本 早代
岡本 敬義
岡山 伸英
緒方 彩瑛
尾形 隆明
尾形 忠由
小川 愛果
小川 香織
小川 公啓
小川 紫蓮
小川 武之
小川 識
小川 亮
隠岐 江利子
隠岐 泰子
沖森 真介
荻野 太陽
荻野 八真斗
荻本 陵史
奥 貴光
奥 直樹
奥原 幸雅
小椋 洋石
長田 誠
小山内 奈々美
長内 保乃楓
長内 雅人
尾崎 太一
尾崎 直人
尾崎 亮
小沢 剛
小澤 ほのみ
押尾 章治
押保 守彦
小田 昌平
小田 幸奈
落合 一也
小月 寿倫
小野 晃弘
小野 誠司
小野 孝
小野 龍也
小野瀬 陽絵
小野瀬 雄次
小野山 博
尾原 章正
小幡 匡志
小原 滋規
尾亦 勇治
尾本 和哉
折戸 法子
織茂 建司
加賀 健弘
加來 千明
角谷 茂
筧 誉
梯 智文
景山 仁志
笠原 ホベルト
樫村 方建
柏木 宏之
鍛冶 清和
梶原 悦生
梶本 曜二
神代 順子
加瀬 翔梧
加勢 貴英
加瀬 英明
加瀬澤 正義
片岡 浩司
片桐 杏未
片桐 一
片平 洋一郎
片山 雄登
片山 義幸
勝井 久美
葛田 勲
勝田 陵子
勝野 隆
勝間 正人
加藤 敦貞
加藤 昂英
加藤 達哉
加藤 ほのか
加藤 眞己
加藤 雅久
加藤 祐太
加藤 竜成
門井 敦嗣
角入 亮司
金井 邦彦
金井 史明
金瀬 裕
金津 亜美
金丸 泰已
金川 賢児
金子 賢一
金子 賢介
金子 虎太郎
金子 智一
金子 洋文
金子 由依
金子 祐一郎
金子 雄大
金島 隆
金田 聖子
金田 成次
金田 貴裕
兼久 啓太朗
釜村 毅
上岡 晃
上神田 克真
神里 巌
神長 崇之
上村 貴志
神谷 和宏
神谷 哲也
神谷 竜太
加茂 顕彦
萱野 知美
萱野 英明
假屋 勝利
軽部 颯太
河合 雅紀
河合 優
川合 良樹
河岡 茉奈
川上 奈美
川上 裕之
川口 武
川口 文宏
川嵜 雅央
川島 賢治
川島 徹也
川島 涼
川瀬 健太郎
河田 隆
川田 康照
川名 茂樹
川名 隆
川並 倫明
河野 英司
川野 裕介
川端 翔
川端 理恵
河辺 博之
川向 智則
川村 哲
川本 真也
河本 淳二
川本 正
河元 辰朗
菅家 誠也
神崎 凌
神沢 弥寿成
寒竹 愼一
神田 治明
神取 迅人
閑野 勇
菅野 勝志
神野 勉
菅野 浩
菅野 萌
菅野 森人
蒲生 直樹
菊地 克典
喜国 由香
岸 悦夫
岸 秀幸
岸本 親幸
北畠 正寛
北村 佳祐
北村 伸吾
北村 健文
北村 伸宏
北村 隆士
木立 雄大
吉川 保行
木之内 碧斗
木下 安伊子
木下 跳右
木原 哲
木原 拓也
木町 譲
金 慶浩
木村 建哉
木村 宣章
木村 哲之
木村 雅昭
木村 雅彦
木村 雅代
木村 由佳
桐澤 智
帰山 宗久
京極 重幸
京極 智和
草刈　俊之
草薙 智史
工藤 淳也
工藤 孝雅
工藤 拓朗
工藤 善美
國澤 信頼
国広 竜治
久保 栄
久保 聡美
久保田 明
熊谷 剛次
熊木 純
神代 慎一
倉成 誠也
倉野 水杉
鞍橋 俊範
鞍橋 渉
倉持 潤
藏元 志叙
栗田 光春
栗原 駿
栗原 光
栗原 麻友子
栗原 康行
黒岩 幹也
黒岩 丈介
黒川 和弥
黒崎 知岳
黒沢 茂弘

黒沢 陸
黒田 茂夫
黒田 哲也
黒田 凌
桑野 雄介
桑原 伸也
桑原 良明
ケル きりん
ケル ピーター
グエン スアン トゥック
小網 嘉明
小池 いづみ
小池 潤一郎
小泉 啓次朗
小泉 直也
小出 雅之
小枝 怜生
古賀 秀哉
小木戸 瑛斗
輿石 英明
越川 一美
小島 延斗
小島 弘樹
児島 司
小島 智秀
小城 みなみ
小杉 圭太
小竹 真樹
小谷 郁佳
小谷 夢加
小坪 功昌
小寺 英志
小西 英人
小西 祐範
小西 雅仁
小西 勇司
小沼 淳
コバレンコ コンスタンティン
小早川 徹也
小林 英治
小林 克利
小林 久美子
小林 賢悟
小林 健人
小林 幸枝
小林 重朝
小林 慎一
小林 壮大
小林 超
小林 鉄馬
小林 哲也
小林 英男
小林 浩己
小林 浩樹
小林 博
小林 真
小林 ゆうき
小林 幸男
小林 陽子
小林 竜
駒澤 剛
小峰 知己
小峯 寛丈
小峰 政夫
小向 聡
小室 宗一
古谷 竜一
子安 慎悟
小柳 佑太
小山 秀勇
小山 正次
小山 真史
小山 隆
小山 誠
是枝 秀朋
今 貴洋
近 光流
今 道夫
近藤 哲
近藤 勝矢
近藤 壮一郎
近藤 太郎
近藤 機
近藤 博和
金野 有汰
金野 佳子
郷田 正勝
後藤 勝巧
後藤 邦之
後藤 昇一
後藤 敏之
後藤 風磨
後藤 元康
後藤 力
五味 仁
権藤 大樹
崔 哲樹
西條 良香
齊田 博嗣
齋藤 信一
齊藤 聖汰
齊藤 聖也
斉藤 大助
斎藤 稔彦
齋藤 智信
齋藤 壽一
齊藤 大輝
斎藤 浩幸
齋藤 充広
齋藤 悠太
斎藤 幸弘
齋藤 麗奈
佐伯 緑
酒井 一雄
坂井 克司
境 健一
酒井 健志
酒井 健爾
酒井 貴大
栄井 大喜
境 敏昭
酒井 久雄
境野 泰資
坂上 守昌
榊 洋子
榊原 英樹
坂口 真也
坂田 正
坂西 真美
坂本 賢治
坂本 光一
坂本 妙子
坂本 忠一
坂本 剛
坂本 康裕
坂本 佑太朗
佐川 司
作田 眞一
作田 豊
佐久間 健一
佐久間 崇仁
佐久間 信行
佐久間 大典
櫻井 昭太
櫻井 ひより
桜井 幹雄
櫻田 文子
櫻田 英策
櫻田 心太郎
櫻田 まどか
櫻本 海斗
佐々木 一壽
佐々木 謙太
佐々木 仁一
佐々木 信尚
佐々木 一
佐々木 弘記
佐々木 博康
佐々木 文夫
佐々木 蓮太
笹沼 喜美男
サザーランド ジェームズ
笹生 誠哉
佐田 宏喜
佐藤 晃
佐藤 一也
佐藤 勝政
佐藤 恭子
佐藤 清伯
佐藤 恵一
佐藤 行
佐藤 拓海
佐藤 毅
佐藤 岳仁
佐藤 竜也
佐藤 達也
佐藤 七海
佐藤 伸久
佐藤 博之
佐藤 正博
佐藤 睦子
佐藤 由芽
佐藤 友亮
佐藤 優祐
佐藤 豊
佐藤 凜
佐野 忠輝
佐野 博文
佐俣 淳一
澤地 治
澤田 淳
澤田 達也
沢舘 正道
澤登 聡子
澤村 海詠
澤村 勇太
山海 敏弘
三瓶 昭浩
財満 啓次郎
椎名 貴之
椎橋 清一
シェック ルットフォー ラハマン
塩崎 快翔
潮崎 泰
塩路 裕
塩田 亮
塩谷 亘
塩田 博之
塩月 直樹
繁田 健司
静井 寿江
志田 晃
志太 勤一
篠崎 蒼翼
篠田 千晴
篠田 雅久
篠原 かほる
篠原 基樹
篠原 亮平
柴倉 愛弥
柴倉 好美
柴崎 剛
柴田 大介
柴田 昌利
柴山 明
渋 泰規
渋谷 明宏
渋谷 賢一
渋谷 誠哉
島 英輔
島崎 均
島崎 比呂希
島田 景虎
島田 和生
島田 松三
島田 政一
嶋田 芳隆
島野 啓士
島村 三男
清水 浩一
清水 巧
清水 智之
清水 祐貴
志村 敏夫
志村 優斗
下拂 千佐
下拂 大仁
下村 一貴
下村 涼太郎
下山 統久
謝花 孝之
社本 篤
東海林 博文
庄田 典弘
正田 弘幸
白石 浩司
白石 直久
白岩 康夫
白川 哲也
白濱 淳
申 玄拓
新海 義博
新里 隆幸
地紙 慎
地主 正孝
上所 孝広
神 晋
神 昊
末田 正幸
末吉 光太郎
末吉 重仁
菅 彩紅
菅 充
菅 羅桜
菅井 純
須貝 崇司
菅井 芽巳
菅波 彩乃
菅波 まこと
菅波 里穂
菅野 真人
管野 雅史
菅原 建徳
菅原 琥珀
菅原 弘喜
菅原 秀幸
杉浦 一
杉江 照幸
杉島 直樹
杉原 正浩
杉本 麻子
杉山 徳
杉山 肇
杉山 史紘
杉山 将一
鈴川 潤
鈴木 正彦
鈴木 花菜
鈴木 哉琉
鈴木 公啓
鈴木 浩一郎
鈴木 こころ
鈴木 茂
鈴木 獅沫
鈴木 修司
鈴木 俊司
鈴木 潤
鈴木 隆之
鈴木 拓
鈴木 武彦
鈴木 千凌
鈴木 俊之
鈴木 奈央子
鈴木 伸幸
鈴木 英夫
鈴木 正弘
鈴木 雅祥
鈴木 みらい
鈴木 康雄
鈴木 悠介
鈴木 良太
鈴木 燎真
壽田 透
須田 征士
数土 武延
須藤 美砂子
首藤 優
強矢 港
隅内 政憲
角倉 剛
スミス ウエイン
酢谷 隆弘
スルジャワン インドリヤニ
諏訪 海椰
清家 晃一
妹尾 巌
瀬川 拓也
関 鳴世
関 幸彦
関 芳武
関 利惠子
関口 直樹
関根 康太
関野 礼菜
関谷 頼輝
瀬戸 哲男
瀬戸 英明
瀬戸口 秀作
瀬ノ上 雅行
千徳 尚
全 康一
相馬 眞太
相馬 悠人
十河 昌司
曽根 五月
園部 容弘
祖父江 宏至
孫 敬宜
高井 久惠
高井 博司
高尾 正太
髙尾 良彦
高木 研治
高木 信
髙木 大地
髙木 嘉人
高木 稔
高木 美帆
高木 康行
高坂 直樹
高崎 純一
高澤 功
高澄 雅人
髙瀬 晃次
高瀬 弘将
髙瀬 奏
髙田 悠一郎
高田 朝磨
髙田 謙一郎
髙田 誠次
髙藤 祥彦
高根 昭仁
髙根 敏郎
高野 晋一
高野 正雄
髙野 澪碧
高橋 昭人
髙橋 和秀
高橋 主仁
高橋 健太郎
髙橋 恒治
高橋 耕平
高橋 幸代
高橋 誠治
髙橋 貴樹
高橋 大
高橋 伸明
髙橋 洸
高橋 博秀
高橋 円香
高橋 美帆
髙橋 芽依
高橋 優太朗
高橋 ゆかり
高橋 良樹
髙橋 佳大
高橋 良侑
高原 成明
高部 芳幸
高松 雅木
高本 真奈
髙山 ひなた
高山 恵
田川 雅久
瀧ヶ崎 美穂
瀧澤 正之
田口 創太
田口 剛章
田口 英典
田口 義文
武井 新一
武石 昌彦
竹内 和史
竹内 康二
竹内 繁広
竹内 翔悟
竹内 拓
武河 正紀
竹澤 良司
竹澤 蓮
竹下 真介
竹下 泰司
武田 賢源
武田 健太
竹田 大介
竹田 剛
武田 裕二
武藤 信也

竹仲 弘治
竹岡 理央
竹本 勝行
武本 晃矢
武元 悟
竹本　孝徳
武山 崇
多胡 圭介
田代 直美
多造 正信
多田 将太朗
多田 拓弥
立川 誠治
田附 暁嗣
立石 勝秀
立石 颯
立箱 由佳
田中 愛琉
田中 郁
田中 克昌
田中 規世
田中 清親
田中 宏一
田中 聡
田中 誠司
田中 壮馬
田中 隆生
田中 孝幸
田中 千尋
田中 俊彦
田中 伴明
田中 直人
田中 信夫
田中 輝
田中 秀仁
田中 洋行
田中 慎
田中 稔
田中 康弘
田邊 里砂
谷 琉生
谷池 精華
谷川 蒼哉
谷川 友美
谷口 治
谷口 敬介
谷口 将都
谷口 正文
谷口 竜介
谷本 晋一
谷本 剛
谷和 令
種 芳洋
種家 温人
種村 政浩
田原 実
田渕 淳司
玉田 昌也
玉津 義伸
田水 春樹
田宮 崇
田村 絵梨子
田村 勇次
田村 勇翔
為本 清雄
田谷 真人
田山 英明
田山 侑希
丹 美穂
伊達 正
知久 定司
知念 琉花
千野 晏輝
千葉 英明
千葉 実波
千葉 祐次郎
千葉 廉太郎
千村 英晃
トランティ アイン トゥエット
丁田 政二郎
長戸 来夢
沈 毅
塚越 若菜
築山 三枝
筑波 秀男
辻 耕司
辻 辰男
辻 好信
津田 和久
津田 健太郎
津田 成則
土谷 一郎
土屋 香織
土屋 建太
土屋 大
土谷 奉功
筒井 隼太
筒井 順治
堤田 真矢
常川 淳
恒川 優司
坪井 信也
坪内 嘉次
津村 雅史
津山 晃浩
鶴 泰治
鶴田 丈
鶴原 学
鶴見 達夫
鶴見 真義
勅使河原 大毅
鉄尾 猛司
鉄本 皐
鉄本 潤
寺崎 雅人
寺島 清二
寺田 勝法
寺田 悠人
寺峯 典子
寺峯 勝治
出口 佳代
出口 隼人
出口 正人
當間 義朗
当銘 将司
遠山 裕明
徳田 茄麗
徳永 徹朗
徳久 無限
戸口 茂司
年野 昌幸
戸島 啓助
戸谷 昌弘
戸田 昌江
栃澤 大介
戸塚 謙
冨岡 新吾
富沢 俊悦
富澤 文彦
富沢 真優
冨田 大介
富田 英樹
冨田 弘睦
富永 恵吾
冨永 里実
友田 一博
豊田 聖人
土井 清隆
土肥 渉
道幸 水紀
道堂 広大
土橋 芳孝
内藤 茂敏
内藤 貴之
内藤 博道
内藤 昌之
内藤 玲奈
中尾 広延
中岡 京介
中川 充
中川 僚
中川 英貴
千徳 美登里
仲川 耶真人
中込 達哉
仲沢 欣規
中島 正二
中島 寛高
中島 レベッカ
中島 伸
中島 純次
中島 季央
中島 盛雄
中城 毅
中水流 嘉臣
中曽根 和男
中谷 考志
中田 功章
中達 太郎
中坪 美実
中坪 由
中西 大志
仲野 創一
中野 哲弥
中野 雄太
中野 陽一
中橋 光二
中原 慎一郎
中又 正
中町 裕子
中水 正人
中村 彩乃
中村 慶太郎
中村 健太
中村 玄也
中村 聡
中村 俊介
中村 樹慧
中村 淳一
中村 武博
中村 直樹
中村 尚美
中村 典雄
中村 比呂志
中村 行央
中本 洋路
中森 和寿
中森 哲也
中山 翔太
中山 慎太郎
中山 浩巳
永井 宏治
永井 哲也
長石 康俊
長尾 悟
長岡 史善
長崎 健一
長沢 紋奈
永澤 衛
長澤 大和
長澤 龍馬
長島 新
永田 拳也
長田 聡史
永田 真也
永田 大祐
長田 龍太郎
長妻 和成
長富 要
長縄 大樹
長原 士郎
長屋 哲雄
長屋 俊輝
名郷根 幸枝
那須 晶
名手 賢治
鍋田 良寛
浪越 孝
波間 友美
名目良 明利
成田 崇彰
成田 竜哉
成田 憲雄
成田 真好
鳴島 英二
新村 康裕
西 康成
西井 潔
西尾 誠太郎
西尾 祐司
西川 益生
西川 嘉一
西島 秀起
西田 謙司
西田 光伸
西野 和弥
西野 佳奈
西野 咲都
西野 洋平
西畑 孝優
西村 界人
西村 将真
西村 俊昭
西村 俊哉
西村 直也
西村 真
二宮 勝司
丹羽 エヴァンジェリン
貫 貴秀
塗師 輝大
沼尾 晃司
沼尾 晶司
沼澤 和也
根内 俊哉
根岸 治
根岸 和憲
根岸 眞一
根本 明芳
野口 弘一
野崎 かおり
野澤 徹
野嶋 淳
能勢 正崇
野武 照男
野田 浩一
野中 杏華
野畑 圭司
野見山 和久
野村 彰紀
野村 勝善
野村 健
野村 智之
萩原 小百合
萩原 規善
萩原 洋介
葉倉 康実
橋田 陽彦
橋爪 二朗
橋詰 雄一
橋場 泰志
橋場 秀哉
橋村 亜美
橋本 浩司
橋本 正憲
橋本 直澄
橋本 雅彦
橋本 竜
柱 武志
蓮井 竜二
長谷川 拓司
長谷川 千佳子
長谷川 正臣
長谷川 聖拳
長谷川 裕子
羽田 皇喜
畠山 孝成
旗手 浩
畑中 実
畑中 陽介
八谷 隆晴
八田 安章
羽藤 精一
花井 祐樹
花倉 孝典
花田 直樹
英 智雄
埴生 志朗
羽生 大輔
羽田 夏規
濵岡 秀星
濱口 均
浜田 和已
浜田 洋介
濱野 恭嗣
濱本 哲徳
早川 広一
早川 晃司
早川 久也
早川 満
林 和夫
林 圭一
林 孝一
林 滋
林 修司
林 昌広
林 祐希
林 行彦
林田 仁宏
原 敬一
原 裕之
秡川 直也
原口 敦
原田 聡一郎
原田 倫明
原田 浩之
原田 祐光
原田 至崇
張田 歩輝
張田 智子
馬場 和博
馬場 慎之助
馬場 ジャクリーンコルテス
馬場 久剛
馬場 妃花
バリ モディアマドゥウリィ
伴 和徳
阪野 滉太
パリアット スネラタ
樋川 辰彦
檜垣 薫
桧垣 賢児
樋笠 孝博
東 健太郎
東 託也
東浦 吉夫
東田 真生
樋口 克也
樋口 知春
樋口 陽太
齊 孝晴
齊 孝明
齊 勇晴
日向 孝史
日向 貴彦
兵頭 圭二
平岩 皓太
平尾 誠治
平岡 和彦
平沢 拓巳
平瀬 滋隆
平田 ギリェルメ
平田 寿正
平塚 洋司
平野 豊一
平野 匡志
平野 裕士
平橋 数樹
平松 花菜
平松 幹夫
平本 正樹
平山 尚樹
蛭田 裕輔
廣澤 賢臣
廣瀬 倫子
廣田 高志
廣田 宗宣
廣橋 征文
廣本 直也
尾藤 勇
深津 玲
深野 実
深水 邦彦
福岡 久晴
福岡 昌浩
福島 栄治
福島 康二
福島 汐織
福田 薫
福田 大樹
福田 靖
福永 葵
福永 規男
福永 ゆら
福原 邦展
福原 誠起
福本 淳
房野 浩二
伏見 歩
藤井 輝之
藤岡 響子
富士岡 隆
藤岡 猛
藤川 靖宏
藤倉 照章
藤崎 康成
藤嶋 晶子
藤田 和久
藤田 周

藤田 忠幸
藤田 珀斗
藤田 温
藤田 英浩
藤田 正幸
藤田 陽央
藤塚 恵勝
藤野 清一
藤野 智
藤原 幸栄
藤巻 崇
藤本 彰虎
藤本 彰
藤本 正樹
藤本 美桜
藤本 玲子
藤原 清吾
藤原 将
藤原 未奈子
淵脇 猛
船見 純也
古井 貴
古池 真
古川 克昇
布留川 清一
古川 晴也
古川 莉紗
古澤 憲一
古澤 壮樹
古城 春樹
古本 武志
古谷 茂雄
古谷 武久
日置 正恵
別府 達朗
辨天 朋大
保谷 浩正
外堀 徹雄
星 加代子
星 三千代
星野 珠璃
星野 龍太
細井 龍
細木 颯人
細木 宏昌
細野 恵未
細野 智有
細谷 洋
堀田 知示
堀 樹夏
堀 哲也
堀 稔明
堀 雄次
堀井 浩
堀内 直人
堀尾 大治郎
堀川 勝則
本田 昭裕
本多 竜也
本多 将俊
本間 太
前川 生向
前川 恵梨
前川 貴和女
前川 早苗
前川 英隆
前島 朋和
前島 康夫
前角 俊成
前田 誠
前納 聖司
前波 和幸
蒔苗 宏之
牧野 匡男
牧本 朱生
幕内 文亮
正木 貴行
増子 秀一郎
間島 浩一
増井 義明
増田 千敬
増田 和之
益田 高之
桝田 哲郎
増田 直紀
増田 百合子
益原 直也
増原 雄司
舛谷 真生
町田 佐知子
松井 厚
松井 司
松井 毅
松井 誠
松井 誠
松浦 章浩
松浦 博孝
松尾 明憲
松尾 寧音
松尾 博通
松岡 吉茂
松川 徹
松倉 遼人
松崎 泰之
松澤 佐知子
松澤 彰哉
松下 史久
松柴 義人
松島 雄
松竹 光男
松田 和明
松田 猛
松田 昌恵
松田 由貴子
松丸 二郎
松村 宙花
松村 理沙
松本 浩一
松本 晃征
松本 真太朗
松本 誠二
松本 孝之
松本 博
松本 文昭
松本 琉
松山 健一
松山 謙八
真野 知之
丸山 正徳
丸山 勝
三浦 薫
三浦 薫
三浦 涼音
三浦 英伸
三浦 弘之
三浦 大夢
三浦 昌義
三浦 怜士
三上 孝志
三上 毅
三上 英男
三川 裕志
三木 浩
三木 護
三木 渉
水木 郁応
水口 浩隆
水越 輝幸
水崎 潤一
水島 勲
水島 英宣
水野 淳成
水野 隆央
水野 秀行
水間 輝敏
水見 隼
水本 丞
溝内 徹
溝口 宣之
溝口 祥史
三田 真弘
三谷 治
三谷 哲一
光富 大貴
翠川 玄洋
緑川 祥子
皆川 朋輝
湊 敏明
南 健太郎
三根 大介
三原 一真
宮垣 正浩
宮川 いさむ
宮城 さつき
宮城 駿一朗
宮城 優二朗
三宅 講太朗
三宅 淳也
宮崎 淳平
宮崎 信之
宮崎 弘文
宮崎 雄太
宮澤 清
宮澤 真一
宮田 航成
宮田 琉成
宮地 聡太郎
宮地 ちひろ
宮成 千晶
三山 元彦
宮村 宗和
宮本 彰
宮本 健一
宮本 憲一
宮本 周治
宮本 神
宮本 裕美
三好 祐紀
向川 裕貴
武藤 和志
宗石 康英
村岡 麻里
村岡 賢和
村上 豪
村上 孝博
村上 久子
村上 誠
村上 昌志
村上 吉秀
村川 典人
村木 保吉
村古 心優
村瀬 かおる
村田 温志
村太 厚志
村田 和俊
村田 真理子
村松 翔
無留井 洋貴
目時 英昭
メルニコワ イリーナ
モイセエフ セルゲイ
茂木 仁史
望月 豪太郎
元木 和弘
本橋 琴実
本橋 正道
本橋 義也
本山 詩織
本山 久司
百生 陽純
桃原 梨璃伽
森 稀美華
森 晃二
森 誠司
森 天斗
森 弘樹
森 弘子
森 博文
森 真樹
森 義和
森澤 茂義
森田 浩一
盛實 賢俊
森下 晃秀
森田 文啓
森田 宗夫
森田 諒
森田 怜
森竹 忍
森本 英輔
森山 稜太
諸川 雅一
門崎 繁
門間 英晃
矢内 克典
八木 厚史
八木 隆典
八木 明秀
柳下 一幸
八木沼 史朗
八鍬 正裕
八代 健正
八代 美歩
安川 海空斗
矢菅 靖子
安田 拓未
安田 俊彦
安田 正幸
安西 俊之
柳澤 紗菜
柳田 秀樹
矢野 恵三
矢野 進
矢能 学
八幡 華菜
矢端 都雄
矢彦沢 幸
矢彦沢 直行
藪崎 右馬
矢部 貴也
矢部 真保
矢部 美文
山内 民也
山浦 真一
山川 竜馬
山川 知房
山上 大輝
山岸 凱
山岸 寿悦
山岸 隆
山際 大志郎
山口 麻雄
山口 篤史
山口 教一
山口 桜
山口 登夢
山口 直宏
山口 政登
山口 祐司
山崎 貴士
山崎 隆浩
山崎 晴弘
山崎 乙乃
山崎 信介
山崎 哲也
山崎 利行
山﨑 博文
山崎 竜太郎
山下 翔大
山下 鉄雄
山下 博明
山下 竜二
山城屋 義明
山路 洋平
山田 明
山田 泉
山田 健吾
山田 繁樹
山田 心優
山田 修一
山田 太樹
山田 喜一
山田 英樹
山田 浩人
山田 稔
山田 湧登
山田 幸信
山田 芳明
山田 瑠凛
山田 渉
大和屋 昌亮
山根 栄治
山根 好弘
山根 龍一
山野 博久
山之内 浩樹
山辺 光英
山村 康裕
山本 誠
山本 一樹
山本 一統
山本 航暉
山本 晃多
山本 慎二
山本 信太郎
山元 誠也
山本 哲也
山本 俊彦
山本 直緒
山本 裕之
山屋 龍生
湯浅 元博
結城 新市
雪野 雅樹
湯沢 喜明
弓場 彩香
弓中 武彦
弓林 龍生
湯山 和洋
横尾 早智
横尾 博和
横田 誠二
横溝 忍
横山 勝司
横山 貴一
横山 千恵美
横山 修弘
横山 敬洋
横山 愛
横山 靖史
吉岡 栄司
吉岡 恵美
井川 可菜
吉川 啓一
吉川 悠介
吉沢 努
吉栖 成美
吉田 篤司
吉田 耕一
吉田 淳一
吉田 大峨
吉田 龍也
吉田 勤
吉田 隼人
吉田 寿
吉田 博文
吉田 美紀
吉野 浩司
吉野 悟史
芳野 仁一
吉野 康晴
吉村 直人
吉本 正克
米倉 由佳子
米沢 祐輔
米田 昌平
米田 豊
米山 浩貴
李 花
李 權允
李 武志
利光 泰直
林 秉天
ルペシ ダンゴル
ルモワンヌ ファビアン
若梅 政司
若杉 風香
若林 総司
若林 太一
若松 勝美
和川 智子
脇山 洋一朗
和崎 弘志
渡邉 敦斗
渡辺 英治
渡邉 晴斗
渡邊 仁
渡辺 藤夫
渡邊 雄
渡邊 能行
渡邊 良祐
綿引 桂寿
渡部 流生
和田 政美
和田 義史

大会規約／試合規則・I.K.O極真ルール

【審判基準】
審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。組手時間の規定時間は1試合につき3分（予選は2分）、延長戦は2分とする。ただし、必要と認めた場合は審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。
大会進行は極力予定スケジュールに沿わせるが、やむをえない事態が起きた場合は、審判長・副審判長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。審判長は大会進行に関し、大会審議委員会の意見を求めることができる。

【組手と勝敗】
1. 組手は原則として1試合3分間（予選は2分）とする。延長戦は同じく2分間とする。
2. 組手の勝者は、①一本勝ち、②技有り2本による合わせ一本勝ち、③判定勝ち、④相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち、により決定される。

【一本勝ち】
3. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、ダメージを受けた相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

【技有り】
4. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、ダメージを受けた相手選手が一時的にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がったとき、または、倒れはしないがダメージのためバランスを崩したときは技有りとする。
5. クリーンヒットと残心：上段への蹴り（上段廻し蹴り、上段前蹴り、上段後ろ蹴り、上段後ろ廻し蹴り、上段膝蹴りなど）がクリーンヒットし、転倒やバランスを崩さなくとも、間合いを制しタイミング良く気合いが伴う突きをして明確な残心を示せば技有りとする。
6. 中段への蹴り（中段前蹴り、中段後ろ蹴りなど）がクリーンヒットし、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
7. 自分の技（足掛け・足払い、相手の技にカウンターの下段蹴りなど）によって、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
8. 相手の捨身技（胴廻し回転蹴りなど）をかわして、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に寸止めの気合いが伴う下段突きが決まれば技有りとする。
9. 転倒した選手が、倒れた瞬間に防御及び反撃の為に即座に攻撃（下からの蹴り上げ、廻し蹴りなど）をすることは認められ、第3条また第4条の基準で技有りや一本勝ちも認められる。
10. 相手の有効技により負傷し、審判長の判断で治療が必要となった場合、相手選手に技有りが与えられた上で試合続行となる。
11. 技有りは、2つで一本勝ちとする。

※転倒：攻防の中で相手の技によって瞬時に体を奪われ、お尻・背中が床についた場合。または足の裏以外の部位が床に着き、死に体（したにたい）となり直ちに攻防が続けられない状態になった場合。
※当て止め：ライトコンタクトによる明確な突き。ダメージを与えるフルコンタクトは反則。
※蹴りのクリーンヒット：ダメージのある技有り（第4条）にまでは至らしめないが、ある程度の威力・インパクトを伴う蹴り。

【判定】
12. 一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。
13. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持を有効とする。
14. 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。
①ダメージ：どちらがより相手にダメージを与えたか。
②有効打・防御技術：どちらがより有効な技を相手に当てたか。どちらが防御技術を用いて相手の攻撃を防ぎ、自分の攻撃に結びつけていたか。ダメージが無いとしても相手の技に反応せず不用意に受けるのは、試合判定のマイナス要因となる。
③積極性・試合態度：どちらが正確な技で積極的に攻め主導権を握っていたか。どちらが武道精神に則り相手を尊重して正々堂々とした試合態度であったか。
15. 減点1を与えられた選手が「技有り」を取った場合、判定に於いて「減点1」と「技有り」は相殺され、それ以外の内容で判定される。
減点1＝技有り
16. 相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち。

【延長戦】
17. 判定で主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持がない場合は、引き分けとし、延長戦を行う。

【体重・試割判定】
18. 延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合は、体重差と試割枚数で勝者を決する。体重差が10kg無い場合は試割枚数の多い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行って決める。

【反則】
19. 次の場合は、反則とする。
①顔面殴打：手、肘による顔面および首への攻撃。手先が触れても反則となる場合がある。
ただし、手で顔面を牽制することはかまわない。
②金的への攻撃。
③頭突きによる攻撃。
④倒れた相手への直接攻撃。第6条、第7条、第8条の場合を除く。
⑤背骨への攻撃：背骨（脊柱）への直接攻撃。
⑥掛け：相手選手の首から上、及び胴体へ手掛けした場合。
⑦掴み：相手選手の道着、手足を掴んだ場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために道着を掴むことは反則とせず、口頭での指導にとどめる。
（これらのケースは両者が掴んでいる場合が多く、特に掴みの反則を狙って仕掛ける相手の足払いに対する自衛的掴みについては反則を取らない）
⑧抱え込み：相手選手の足や身体を抱えた場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴りを捌いての足払いなど）に対する防御のために相手選手を抱えることは反則とせず、口頭での指導にとどめる。その際に首から上を抱え込むことは反則。また、双方共に相手選手を抱えたまま床に叩きつけてはならない。
⑨投げ：相手選手を投げた場合。
⑩顔面、首への押し：首から上への押し。
⑪連続しての押し：相手選手を連続して押した場合。
⑫抑え：相手選手を抑えた場合。
⑬密着：腕や胸を合わせて密着した場合。
⑭膠着：腕を合わせて、技術的な展開が3～５秒見られない膠着状態を繰り返した場合。
⑮消極性：明らかに消極的な態度で試合をした場合。
⑯掛け逃げ：技の掛け逃げを再三繰り返した場合。
⑰場外：自分から場外へ両足が出た場合、及び戦意をなくして場外に出た場合は反則（注意１）とする。但し、攻防中に場外に出た場合は反則を取らない。
⑱主審の「止め」が掛かった後の攻撃。
⑲関節への攻撃：中足・足刀・カカトによる正面から膝関節への攻撃。
⑳不十分な礼：正しく立礼をしない場合。
㉑着衣の乱れ：着衣が著しく乱れたまま試合を続けた場合。帯がほどけて床に落ちた場合。
㉒偽装：以下の場合、武道精神に悖る（もとる）行為として、注意・減点となる場合がある。
・相手の反則を装った場合（例：顔面殴打や金的への攻撃を受けたと装う）
・負傷を誇張した場合
・自ら顔面殴打や金的攻撃などを誘発した場合
㉓違反行為：ガッツポーズや床の踏み鳴らしなど禁止されている行為を行った場合。
㉔審判がとくに反則とみなした場合。
※押し：瞬間的な単発の押しを認める。
※捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。
※押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うことが認められる。
20. 反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
※反則により相手選手が負傷し、直ちに試合続行が不可能で回復時間が必要となり、審判長がその反則が重大なものと判断した場合は、反則をした選手に２つ分の注意が与えられる。

【減点】
21. 次の場合は1度目でも減点1となる場合がある。
① 悪質な反則を行った場合。
② 審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場合。

【反則負け】
22. 次の場合は、反則負けとする。
①減点2となった場合。減点2=反則負け
②反則により相手選手が負傷し、大会医師または医事委員会が試合続行不可能と判断し、審判長が認めた場合。

【失格】
23. 次の場合は失格となり、審判長の判断で順位が剥奪される場合がある。
①試合中、審判員の指示に従わない場合。
②粗暴な振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場合。
③出場申し込み時に申告した体重と当日の体重に10kg以上の相違があった場合。
④出場時刻に遅れたり、出場しない場合。
⑤主催者が定めた服装、防具の規定に反している場合。

【試合放棄】
24. 正当な理由なくして試合を放棄したときは、弁償金を支払わなければならない。ただし、下記の場合は例外とする。
①大会医師または医事委員の診察を受け、試合続行不可能となった場合。
② 大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判長が協議の上、退場を許可した場合。

国際空手道連盟・試割規定

①試割の材料は、33cm×21cm、厚さ2.4cm（13インチ×8インチ、0.9インチ）の杉板を使用する。材質は国際空手道連盟の規格に合致したもので、審判員、審議員の検査を通ったものとする。
②選手は、試割の枚数について、規定枚数（3枚）以上であれば何枚でも指定できる。
③設置の制限時間は2分とし、それを超えると失敗とみなす。
④試割は、固定したブロックを台として所定の位置で行う。ブロックの台は、審判員・審議員の許可がない限り動かすことはできない。
⑤選手は試割に当たって、ブロックの台、板にはいっさい触れてはならない。触れた場合はその種目は「失敗」とし、再挑戦もできない（その種目の記録は0枚となる）。ただし、間合いを計ること、板の上に審判員、審議員の検査を受けた薄い布（手拭、タオル等）を敷くことはできる。また、足刀の際にブロックに足を掛けて試技を行うことができる。
⑥試割は、審判員の「始め」の号令とともに速やかに行う。
⑦指定した枚数の板が1回の試技で完全に割れない場合は「失敗」とみなす。
⑧「失敗」した場合は、再度試みることができるが、この場合は規定枚数の3枚とする。
⑨再度試みた試割に失敗した場合は、記録は「0枚」となる。
⑩割った枚数が同枚数の場合は、体重の軽い選手を優位とする。その際の有効体重差は原則として10kgとする。
⑪選手は、正拳・足刀・猿臂・手刀の4種類の技で試割を行い、その合計枚数によって勝敗あるいは順位を競う。

女子の体重・試割規定

準決勝以降の試合において延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合、両選手は直ちに体重測定と試割を行い体重差と試割枚数で勝敗を決する。選手は任意の枚数（2枚以上）を1回のみ申告することができる。制限時間内（2分以内）に枚数を決め設置を完了させる。挑戦する枚数にかかわらず一枚でも割れない板があった場合は「失敗」となり、記録は「0枚」となる。体重差が5kg無い場合は試割り枚数の多い選手を勝者とする。体重差が5kg無く試割枚数が同数の場合は再度延長戦を行って決める。体重差が5kg以上有り、試割枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が5kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行って決める。

［試技順］
準決勝　①手刀
三位決定戦・決勝戦　①猿臂

大会における肖像権について

1. 主催者は、本大会の模様を動画撮影、写真撮影、録音等の方法により記録し、公開するほか、主催者及び主催者の指定する第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することがある。
また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。
2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が記録、公開及び利用されることに予め同意したものとし、主催者の自由な判断による記録、公開及び利用に関し、肖像権、プライバシー権、　パブリシティ権、作品や成果物に関する著作者人格権等を行使せず、また一切の対価を請求しないものとする。

組手の部

【試合開始】
1.両選手を進行係が呼ぶ。（このとき対戦者はお互いに反対の位置より試合場に登る）
2.中央の線を境に一定の間合い3mをとり中央に主審が立つ。両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、主審の「はじめ」の合図で試合を開始する。
3.試合続行中、着衣が乱れた場合、主審は試合を止め開始線に戻し、お互いに背を向けて服装を直させる。

【試合中】
1.試合中、一本勝ち、技有り、反則、場外などの場合、副審は笛の合図とともにそれぞれ旗によって示す。主審は「やめ」の指示で両選手を分け、元の位置に戻す。
2.旗の振り方は、以下の通りとする。
①一本勝ち／勝った選手の方の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
②技有り／技有りを取った選手側の旗を真横に上げる。大きく短く笛を吹く。
③反則／反則をした選手側の旗を振る。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
④場外／その側の旗で床を叩き、その後場外に出た選手側の旗を反則と同様に振り、笛を吹く。
旗の動きに合わせて短く笛を吹く。
⑤認めず／2本の旗を交差させて振る。旗に合わせ長めに笛を吹く。
⑥見えず／2本の旗を正面で交差させる。笛は吹かない。
⑦判定の際：引分け・中立／2本の旗を前で交差させる。大きく笛を吹く。
赤の勝利／赤の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
白の勝利／白の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。
3.一本勝ち、技有り、反則の場合、主審は副審の判断を求め主審を含め3名以上の判断を有効として、それぞれ宣告する。

【一本勝ち】
1.試合規則第３条の一本勝ちの技が決まった場合、主審は両選手の間に入って分け、試合を止め元の位置に戻す。
2.主審を含め3名以上の支持を有効とし、一本勝ちを宣言する。

【判定勝ち（優勢勝ち）】
1.一本勝ち、反則負け、失格がない場合、試合終了の合図によって、主審は「止め」と指示し両選手を分け、元の位置に戻す。
2.主審は両選手を正面に向かせ、「判定」と指示して副審の判断を求める。副審は判定基準に則り勝ちと判断した選手側の旗を真上に上げる。引分けと判断した場合は、2本の旗を前で交差させる。主審を含め3名以上の支持を有効とし、3名以上の支持がない場合は引分けとする。

【反則】
1.反則があった場合は、主審が両選手の間に入って試合を止めさせる。
2.反則の認定には原則として主審を含め３名以上の支持を有効とする。
3.反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意１」、2度目が「注意2」、3度目が「減点１」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。
4.反則技については、試合規則「反則」（第19条）を参照。

【反則負け】
1.減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2.反則負けの基準は、試合規則「反則負け」（第22条）を参照。

【失格】
1.試合規則「失格」に該当する場合は、主審は該当する選手に失格（手刀を斜め下に指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。
2.失格の基準は、試合規則「失格」（第23条）を参照。

【試合終了】
1.一本勝ち、反則負け、失格の場合、主審はただちに組手を止め、両選手を向かい合わせたまま勝ちを宣告し、両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、握手をさせ、退場させる。
2.一本勝ち、反則負け、失格がない場合は、試合終了の合図とともにただちに組手を止め、両選手を正面に向かせ副審の判断を求め、勝者を決定した上同様にする。

FREQUENTLY USED TECHNIQUES 試合の主な有効技


正拳突き
Fore-Fist Thrust


下突き
Upper Cut


肘打ち
Elbow Strike


片手での押し
One Hand Push


両手での押し
Both Hands Push


上段廻し蹴り
Upper Roundhouse Kick


下段廻し蹴り
Low Roundhouse Kick


前蹴り
Front Kick


膝蹴り
Knee Kick


横蹴り
Side Kick


後ろ廻し蹴り
Spinning Back Kick


踵落とし
Axe Kick


胴廻し蹴り
Roll Kick


捌き
Fending Off


蹴り技・合わせ技による転倒から下段突き
Downing an opponent by counter kick and lower thrust


足掛けによる転倒から下段突き
Downing an opponent by foot sweep and lower thrust


足掛け・捌きの複合技による転倒から下段突き
Downing an opponent by combining foot sweep & fending off, and lower thrust


上段への蹴りのクリーンヒットから残心
Upper kick cleanly hit an opponent and Zanshin


相手の捨身技を躱して下段突き
Avoiding an opponent's techniques and lower thrust


倒された瞬間の下からの攻撃
Attack from the floor immediately after being fell down

FOUL TECHNIQUES 試合の主な反則技


手技による顔面への攻撃
Strike To The Face


手技による首への攻撃
Strike To The Neck


連続しての押し
Multiple Pushing


掴み
Grabbing


頭突き
Head Butting


頭を付けての攻撃
Pushing With Head And Attacking


密着
Touching the hands or chest-to-chest


背骨(脊柱)への直接攻撃
Striking The Spine From Behind


金的への攻撃
Kick To The Groin


正面からの膝関節への攻撃
Attacking directly to the knee from front of it


倒れた相手への攻撃
Attacking A Downed Opponent

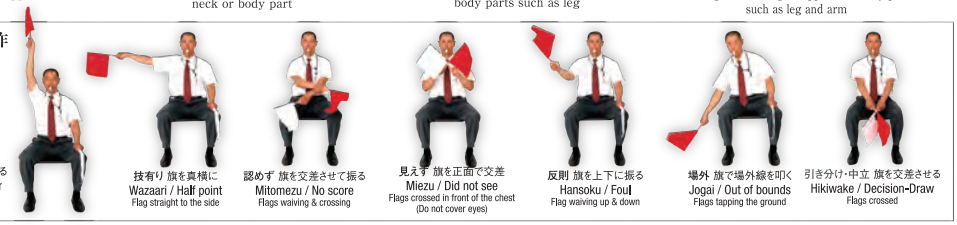

掛けての攻撃
Hooking an opponent's neck or body part


抱え&抱え込み
Holding an opponent's body parts such as leg


腕・脚を捌いての捻り・投げ
Twisting or throwing an opponent's body parts such as leg and arm


上から抑えての攻撃
Holding an opponent's body parts such as shoulder

副審の旗による動作
Action of the Corner Judges



◎有効・反則技について

写真で説明している「有効技」と「反則技」は、あくまでも主な例であり、ここにある技がすべてではありません。
These techniques and fouls are only examples.

監修／礒部清次（大会審判長）
演武／伊藤　慎（岐阜支部長）
森善十朗（東京城西下北沢・町田支部長）

～ 極真会館へ入門をしたら ～

会員登録

◆道場生は入門手続きと同時に、極真会館基幹システムIKOポータルに必要事項を入力し極真会館総本部に登録を行なうと同時に年会費の決済を行なっていただきます。
◆会員登録の詳細についてはIKOポータル確認画面〔会員登録に関する重要事項〕を確認し同意して頂くことになります。
◆会員登録は基本的には、入門時に道場で入力して頂きます。
◆登録完了後は、会員マイページにログインすることで登録状況の確認・変更が行なえます。
◆登録完了の時点で稽古に出席ができます。

※会員登録は極真会館の道場生全員が行なうことになっています。昇級審査の受審や試合出場の直前に行なうものではなく、入門と同時に行なって頂くものです。



既存の会員の方へ

IKOポータルへの登録切替（切り替えることで何が変わるか?）

現在の登録されている情報をIKOポータルへの登録切替することで
◆各種情報の変更の届け出が会員ご本人のパソコンなどで行なえるようになりました。
◆お手持ちのクレジットカードで年会費・メディカルサポート加入費のお支払いが可能となりました（クレジットカードの発行申込が必要ありません）。
◆会員マイページへログインすることで登録状況の確認が可能となりました。

https://www.memberregistration.net/user-auths/login



IKOポータルへ切り替えていない会員の方

～こんな時は、必ずお知らせください～





こんな時【その1】
引越しをしたら…

住所変更届の要領に従って必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。

こんな時【その2】
口座を変更したら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その3】
会員カードをなくしたら…

会員管理部へご連絡ください。



こんな時【その4】
退会しようと思ったら…

◎退会希望の場合は、年会費引き落としの40日前までに、ご本人・決済者が会員管理部に必ず電話連絡のうえ、総本部発行の会員証を所属支部へ返却していただくか、会員管理部へご返送ください。
◎確認のため、生年月日、住所などをおたずねすることがございます。相違する場合はお受けできない可能性もあります。
◎退会の際は、必ず所属支部にも連絡してください。月会費の停止などは、会員管理部では行なっておりません。
◎引き落としの前には請求書・振替の案内をお送りしますが、その確認後に退会連絡をいただいても、「年会費は翌年」、「月会費は翌月」からの引き落とし中止となります。
◎退会届の受付後、取り消しは原則的に行なえません。退会後の入門には、再度、入門料・年会費が必要となりますので、よくご検討のうえ、ご連絡をお願いいたします。
◎会員本人または会費決済者が諸手続きを行なわなかった場合、納入された年会費・月会費の返金は一切行ないません。翌年・翌月からの引き落とし中止となります。
◎退会希望の届けがない限り、毎年一回カード決済または口座振替により年会費は引き落としされ、登録は継続されます。本会より退会確認の連絡は行ないませんので、あらかじめご了承ください。

こんな時【その他】

●道場の休会　●他支部への移籍　●合宿・昇級審査など
ご不明な点は、各所属支部道場におたずねください。

キリトリ

住所変更届

※会員登録に関する変更届は、下記の要領にしたがって（または、コピーして）必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。※所属支部へも住所変更を行なってください。

会員番号		フリガナ 氏　名	
支 部 名			
◎新住所			
フリガナ			
〒 TEL.			※アパート等にお住まいの方は建物の名称・号室まで記入ください。

キリトリ

黒帯カード申請書

黒帯カード申請／写真の変更／会員証の再発行（事前にご連絡をお願いいたします）



【黒帯カードへの切替について】黒帯カードへの切替を希望される方は、申請書に必要事項を記入し、カード再発行料2,200円（うち税200円）と現在お持ちの会員証（バーコード入り）を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。同時に写真も同封してください。

【写真変更について】現在お持ちの会員証の写真を変更希望の場合は、変更する写真（パスポートサイズ）・会員番号・氏名を記入したメモ・現在の会員証（バーコード入り）・再発行料2,200円（うち税200円）を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。※書留確認後、1ヵ月程度お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会員番号		フリガナ 氏　名			
支　部　名					
昇段年月日	年　月　日	昇段No.		現在の段	段

お知らせに関するお問い合わせ

国際空手道連盟極真会館「会員管理部」TEL.03-6452-5666
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1　FAX.03-6452-5667
受付時間／平日の午前10時～午後5時30分（土日祝祭日は除く）



国際空手道連盟 総本部 極真会館

館長/松井章奎

師範／福田 勇、八巻建志、杉村多一郎、ホヴァニシアン・アルトゥール、赤石 誠

指導員／入澤 群、貝沼慶多、コバレンコ・コンスタンティン、谷川蒼哉、樋口知春、日比野丈二、本間唯志

〒171-0021東京都豊島区西池袋2-38-1｜TEL.03-5992-9200 FAX.03-5992-9600

大山総裁の遺志を受け継いで、松井章奎館長が指導。

総本部道場は極真空手の原点であり、同時に直接打撃制カラテの原点とも言えます。全国の支部と道場、全世界に大きく展開する国際空手道連盟の中心です。

総本部道場は、強さと精神的向上を求める道場生の活気あふれた極真空手の殿堂であり、故・大山倍達総裁の遺志を受け継いだ松井章奎館長のもと、一般部（13歳～34歳）、壮年部（35歳以上）、女子部、少年部（満4歳～12歳）があり、随時入門・体験・見学ができます。

極真会館ホームページ http://www.kyokushinkaikan.org/

■おもな管轄道場

総本部代官山道場 ◎責任者:赤石 誠
〒150-0033
東京都渋谷区猿楽町3-7 代官山木下ビル 4F
TEL.03-3780-5553

総本部川口道場 ◎責任者:ホヴァニシアン・アルトゥール
〒332-0017 埼玉県川口市幸町3-5-11
東パネビル2F　TEL.048-255-8988

総本部所沢道場 ◎責任者:入澤 群
〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-13
カワモク所沢ビル3F　TEL.042-922-3331

総本部札幌道場
〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島一条1-7-20
Forged bldg 4F　TEL.011-816-3939

総本部岩手道場 ◎責任者:松村典雄
〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町4-58
TEL.019-647-3351

極真会館公式ホームページ

公式動画配信サイト KYOKUSHIN ONLINE

Official SNS

YouTubeチャンネル

X（旧Twitter）

Instagram

Facebook

総本部・本部直轄道場・地区本部・支部・道場のご案内

青森支部



空手の道は人の道

支部長 石川博栄

〒036-8141
青森県弘前市松原東1丁目3-2 2F
TEL.090-3361-6007

北海道函館支部



奮励努力

支部長 横山 誠

〒041-0841
北海道函館市日吉町3-10-3
TEL.0138-54-8199

北海道胆振支部



初志貫徹

支部長 澤田乃基

〒051-0004
北海道室蘭市母恋北町1-5-11
(学)北斗文化学園内
TEL.090-3393-5808

北海道札幌東支部



創意工夫、道をひらけ!!

支部長 塚原典寿

〒001-0018
北海道札幌市北区北十八条西4丁目2-17 501号
TEL.080-3497-3595

秋田支部



義理人情

支部長 伊藤和摩

〒010-0963
秋田県秋田市八橋大沼町3-14
TEL.018-866-1855

山形支部・福島地区・宮城仙台道場



勇気と望みと感謝の心

支部長 吉田浩一

〒960-0201
福島県福島市飯坂町字十網下12-4-505
TEL.024-563-3987

郷田道場

集え!! 限界へのチャレンジャー

責任者 松井章奎

〒114-0014
東京都北区田端5-14-2
富士見マンションB1F
TEL 03-3823-8954

東京城西支部



めざせ!! 極真の星を!

総本部長／関東本部 本部長
支部長 山田雅稔

〒161-0034
東京都新宿区上落合3-23-17
ユニーブル落合1F
TEL.03-3363-8430

栃木北支部



質実剛健

支部長 荒玉康夫

〒324-0057
栃木県大田原市住吉町1-15-23
戸辺ビル2F・3F
TEL.0287-23-7090

栃木南支部



一芸は道に通ずる

支部長 沼尾陽司

〒320-0846
栃木県宇都宮市滝の原1-2-34
滝の原ビル2F
TEL.028-637-8997

群馬東支部



不撓不屈

支部長 小林 節

〒371-0804
群馬県前橋市六供町326
TEL.027-289-2158

群馬西支部



生涯修行

支部長 細野由人

〒375-0015
群馬県藤岡市中栗須289-1
TEL.0274-24-2858

茨城支部・埼玉北支部



求道万日

支部長 鴨志田裕寿

〈茨　城〉〒305-0821 茨城県つくば市春日3-1-7
セオドールビル3F
TEL.029-851-1993
〈埼玉北〉〒347-0033 埼玉県加須市下高柳1635-1
TEL.0280-31-6510

茨城中央支部



闘志全開

支部長 安島喬平

〈水戸〉〒310-0825
茨城県水戸市吉沢町162-2
TEL.090-6177-81366
〈牛久〉〒300-1203
茨城県牛久市栄町5-57-2
TEL.0292-91-3592

茨城南支部



信は力なり

支部長 香取宏明

〒300-0052
茨城県土浦市東真鍋町9-29・3F
TEL.029-826-2407

茨城西北支部



不撓不屈

支部長 大内啓次

〒302-0104
茨城県守谷市久保ケ丘2−18−1
けやきビル1F
TEL.080-4335-8582

埼玉東支部



心・技・体

支部長 毛塚慎一

〒339-0073
埼玉県さいたま市岩槻区上野59-2
TEL.090-2247-7150

埼玉西北支部



努力は必ず報われる

支部長 村田達也

〒350-1331
埼玉県狭山市新狭山2-11-16
ニュー狭山マンション1階
TEL.042-955-8557

埼玉南支部



尊敬・忍耐・感謝

支部長 鈴木雄三

〒353-0004
埼玉県志木市本町5-18-8
サンロード志木2F
TEL.048-487-7444

埼玉中央支部



やればできる!めざせ夢!

支部長 ホスロ・ヤグビ

〈大宮〉〒330-0854
埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-1-1 大宮アルシェビル7階
ゴールドジム大宮さいたま
〈宮原〉〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町3-477-1
TEL.048-653-9172

埼玉北越谷支部



極真精神!己を超えろ!

支部長 堀井 浩

〒343-0026
埼玉県越谷市北越谷2-17-5-2F
TEL.048-979-8408

埼玉東南支部



感謝・奉仕・行動

支部長 岡田幸喜

〒343-0111
埼玉県北葛飾郡松伏町松伏467
TEL.048-991-3453

千葉北支部



極真の覇者王道を歩め!

支部長 柿沼英明

〒273-0005
千葉県船橋市本町6-3-20
ベルヴィル2F
TEL.047-422-4128

千葉西支部



日進月歩

支部長 山川知房

〒274-0825
千葉県船橋市前原西2丁目15-19
三宝ビル5F
TEL.047-474-3437

千葉南支部



地域・社会に貢献する道場を目指す

支部長 石田伸太

〒290-0074
千葉県市原市東国分寺台3-10-20
TEL.0436-24-3212

千葉中央支部



心・技・体

支部長 竹石 修

〒264-0024
千葉県千葉市若葉区高品町427-6
TEL.043-235-3870

千葉下総支部



心を込めて、真に生きる

支部長 塩島 修

〒343-0042
埼玉県越谷市千間台東1-2-1
TEL.048-971-4553

千葉東葛支部



空手道の探求、普遍性の追求

支部長 福井裕樹

〈柏〉〒277-0852 千葉県柏市旭町1-1-16 中崎ビル2F
TEL.04-7147-9008
〈松戸〉〒271-0091 千葉県松戸市本町19-2 河内ビル2F
TEL.047-369-4655

千葉海浜支部



胆大心小

支部長 荒田昇毅

〒266-0032
千葉県千葉市緑区おゆみ野中央2-13-14
B棟スタジオM&M
TEL.090-1999-1802

本部直轄 四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場



極真の道を全うすること

支部長 杉村多一郎

<四　谷>〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11
山一ビル B1F TEL.03-3357-8555
<飯田橋>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋
4-5-6-3F TEL.03-3221-0753
<東松山>〒355-0016 埼玉県東松山市材木町
22-11 ウチダビル2F TEL.0493-25-3127
<秩　父>〒365-0005 埼玉県秩父市大字大野原
1864-1 TEL.0493-25-3127
<熊　谷>〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-13
加賀崎ビル1F TEL.048-524-1104

東京城東北千住支部



随所に主たれば、立つ処皆真なり

支部長 佐々木敏也

〒120-0034
東京都足立区千住3-1
トンプク堂ビル3F
TEL.03-5244-0201

東京城東小岩支部・千葉北西支部



心を磨き己を極める

支部長 足立慎史

〈小岩〉〒133-0057
東京都江戸川区西小岩1-30-8 第二中正ビル2F
TEL.03-3658-9077
〈行徳〉〒272-0133
千葉県市川市行徳駅前2-18-3 リムーブル堀木2F
TEL.047-356-0403

東京城東葛西支部



質実剛健

支部長 木立裕之

〒134-0084
東京都江戸川区東葛西5-1-14
第7片田ビル2F
TEL.03-6456-0178

東京城東湾岸支部



人生一度！主役は自分！

支部長 鎌田翔平

〈築地〉〒104-0043 東京都中央区湊2-12-11 2F
〈月島〉〒104-0052 東京都中央区月島 4-6-12
スタジオワンズ内 TEL.080-7273-2999

東京城東浅草支部



守礼の気迫

支部長 池之内貴光

〒111-0033
東京都台東区花川戸1-3-6
花川戸ビル1階
TEL.03-5828-5992

東京城南大崎支部



求道無限

支部長 鈴木由一

〒140-0002
東京都品川区東品川3-25-1
牧田ビル2F
TEL.03-3458-0058

東京城南京浜支部



己に克つ

支部長 菅野秀行

〒143-0016
東京都大田区大森北1-11-3
サカエビル4F A
TEL.03-5471-0603

東京城南池上支部



覇気を失う事は自分を失う事

支部長 御子柴直司

〒142-0042
東京都品川区豊町1-6-11
プレジールB1
TEL.03-4570-0500

東京城南目黒中央支部



我以外皆師也

支部長 池田祥規

〒153-0065
東京都目黒区中町2-38-27
鈴木第2ビル2F
TEL.03-5704-1078

東京城北支部



一所懸命

支部長 川本英児

〒179-0082
東京都練馬区錦1-34-15
カーサ錦1F
TEL.03-5399-3134

東京城西国分寺支部



継続は力なり

支部長 江口芳治

〒185-0012
東京都国分寺市本町3-11-1
第8千代鶴ビル5F
TEL.042-322-8691

東京城西南多摩支部



今あるものでベストを尽くせ

支部長 川嵜雅央

〒192-0362
東京都八王子市松木30-12
ベルエポック松木1F
TEL.042-686-1365

東京城西世田谷東支部



一生懸命

支部長 田口恭一

〒154-0011
東京都世田谷区上馬1-32-10
ハイツ三軒茶屋1F
TEL.03-3422-6653

東京城西西多摩支部



精神一到

支部長 真銅宏二郎

〒196-0015
東京都昭島市昭和町2-2-15
タウンベルハイツ２F (202)
TEL.042-543-9868

東京城西野方支部



規律・情熱・イズム

支部長 根本清志

〒165-0027
東京都中野区野方4-25-9
TEL.03-3388-6722

東京城西下北沢・町田支部



感謝

支部長 森善十朗

〈代田〉〒155-0033 東京都世田谷区代田5-11-11
シティ代田3F
〈町田〉〒194-0021 東京都町田市中町3-6-27-1階B
TEL.080-6359-0775

神奈川横浜港南支部



正々堂々

支部長 羽田シゲル

〒231-0057
神奈川県横浜市中区曙町5-68
永田ビル2F
TEL.045-243-1875

神奈川横浜北支部



弱きは即ち此れ強き、強きは克己なり

支部長 今西登之彦

〒222-0032
神奈川県横浜市港北区大豆戸町639-2
TEL.045-435-1800

総本部・本部直轄道場・地区本部・支部・道場のご案内

神奈川横浜東支部



翔ぬける極真の風になれ

支部長 青木英憲

〒223-0061
神奈川県横浜市港北区日吉7-16-28
ロイヤルコート日吉307
TEL.045-560-0187

神奈川川崎中央支部



自分に強く

支部長 進　裕治

〒213-0011
神奈川県川崎市高津区久本3-2-18
エムビル1階2号室
TEL.044-822-0021

神奈川相模原支部



志ここに−AMBITIOUS−

支部長 戸田直志

〒252-0243
神奈川県相模原市中央区上溝6-10-3 1F
TEL.042-761-1377

神奈川西湘支部



継続は力なり

支部長 福田達也

〒250-0011
神奈川県小田原市栄町3-10-31
栄町マンション2F
TEL.0465-24-9191

神奈川大和支部



一意専心！

支部長 竹岡拓哉

〈長後〉〒252-0016 神奈川県藤沢市長後668-1
サザン長後ビル 203
〈大和〉〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1
シリウス内3F マルチスペース
TEL.080-9192-3739

神奈川川崎南支部



一芸は道に通ずる

支部長 加賀健弘

〒212-0022
神奈川県川崎市幸区神明町1-13-1 2F
TEL.080-1181-1622

神奈川横浜西北支部



不屈の精神

支部長 石﨑恋之介

〈事務局〉〒161-0034
東京都新宿区上落合3-23-17
ユニーブル落合1階　東京城西支部気付
TEL.080-1064-1015

総本部横須賀道場



和を以て貴しと為す

支部長 日比野丈二

〈汐　入〉〒238-0042
神奈川県横須賀市汐入町2-32 HL汐入駅前ビル3F
〈久里浜〉〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜4-3-6 鳥伝第1ビル3F
TEL.090-8342-5090

山梨支部



千練万鍛 極真の道

支部長 小坂武史

〒405-0003
山梨県山梨市下井尻526-1
TEL.0553-33-9761

新潟中央支部



魅する私たちの軌跡

支部長 西村淳平

〒950-2015
新潟県新潟市西区西小針台1-4-21
TEL.090-6658-7073

富山支部



極真精神

中部本部 本部長
支部長 浜井良顕

〒930-0847
富山県富山市曙町6-40
TEL.070-9007-6678

長野支部



文武両道

支部長 平尾敏也

〒381-0033
長野県長野市南高田2-3-20
TEL.026-477-2696

石川支部



克己

支部長 古城　忠

〒924-0047
石川県白山市西美沢野町2番地1
TEL.076-274-7107

福井支部



人間の挑戦する意欲に限界はない

支部長 宮脇英彰

〒915-0834
福井県越前市北千福町109-3
TEL.0778-21-2380

静岡西遠支部・愛知東三河支部



天は自ら助くる者を助く!!

支部長 石黒康之

〈西　遠〉〒432-8038 静岡県浜松市中央区
西伊場町56-14・2F
TEL.053-482-9937
〈東三河〉〒441-8141 愛知県豊橋市草間町字東山143-6
TEL.0533-69-6231

静岡富士支部



継続は力なり

支部長 前川克信

〒419-0205
静岡県富士市天間954-59
TEL.0545-71-8666

静岡中央支部



千鍛万錬

支部長 初川正彦

〒420-0915
静岡県静岡市葵区南瀬名町3-14-2F
TEL.054-247-1501

愛知東南支部



生きる、しあわせ心豊かに！

支部長 堀田裕晴

〒475-0917
愛知県半田市清城町3-4-10-101
TEL.0569-26-2539

愛知名古屋支部



継続は力なり

支部長 木山　仁

〒464-0827
愛知県名古屋市千種区田代本通1-28
グレン清友1F
TEL.052-762-5119

岐阜支部



意志あるところに道は開ける

支部長 伊藤　慎

〒500-8333
岐阜県岐阜市此花町5-2
フジタビル1
TEL.058-254-1833

京都支部



強く、優しく

関西本部 本部長
支部長 川畑幸一

〒604-8437
京都市中京区西ノ京東中合町５６
パレット御池２Ｆ
TEL.075-801-8155

奈良支部



精鋭無比

支部長 拳　貴典

〒634-0835
奈良県橿原市東坊城町123-16
TEL.0744-28-2064

大阪西支部



信と力なり

支部長 岡田祐樹

〒552-0001
大阪府大阪市港区波除2-5-5
菊川マンション 1F
TEL.06-6584-3111

大阪東南支部



やれば出来る! 勇気と挑戦!!

支部長 田中隆昌

〒599-8234
大阪府堺市土塔町3333-1
TEL.072-239-2520

大阪みなはや支部



挙禅一如

支部長 田ヶ原正文

〒558-0004
大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12
パークサイド南栄ビル2F
TEL.06-6695-1768

大阪東支部



信頼と感謝

支部長 東 博昭

〈貝塚〉〒597-0081 大阪府貝塚市麻生中814-2
TEL.072-427-9906
〈枚方〉〒573-0131 大阪府枚方市春日野2-13-1
TEL.072-427-9906

大阪南支部



健やかな強さ

支部長 徳田忠邦

〒593-8311
大阪府堺市西区上441-1
TEL.072-264-8804

大阪布施支部



極真の道を全うすること

支部長 田中正信

〒577-0843
大阪府東大阪市荒川2-18-12
ビルドジャパン布施1F
TEL.090-9160-7606

兵庫西支部



先へ先へ、さらなる先へ

支部長 山野博久

〒656-0025
兵庫県洲本市本町5-3-4
本町コモード2F
TEL.090-8932-2149

和歌山支部



押 忍

支部長 北本久也

〒640-0112
和歌山県和歌山市西庄1037-53
TEL.090-8570-0458

中国本部



長州男児 極真魂に徹す

本部長 河岡博實

〒755-0091
山口県宇部市上宇部2532-11
TEL.0836-33-1527

山口支部



志を立ててもって万事の源となす

支部長 河岡晶俊

〒755-0091
山口県宇部市上宇部2532-11
TEL.0836-33-1527

広島支部



真を極める

支部長 小田勝幸

〒731-0143
広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-7
キシカワビル
TEL.082-209-3040

岡山東支部



大いなる野心

支部長 中塚信夫

〒700-0964
岡山県岡山市北区中仙道55-124
サンピオーネ中仙道2F
TEL.086-242-2008

徳島支部・岡山南支部



心を磨く、技を磨く、自分を磨く

支部長 三宅義人

〈徳 島〉〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町10-6
レインボータワービル5F
TEL.088-654-6098
〈岡山南〉〒710-0038 岡山県倉敷市新田2901
TEL.090-8978-9021

香川支部・岡山西支部



夢・極真専魂

支部長 岩田 厚

〈香 川〉〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1304-1
TEL.0877-28-8880
〈岡山西〉〒710-0817 岡山県倉敷市大内1237-1
TEL.086-486-0222

愛媛中央支部



極真専心・極真貫徹

支部長 谷口拓也

〒790-2648
愛媛県松山市菅沢町甲272番地
TEL.089-977-5720

福岡西支部



世界の和合を志すサムライの育成

支部長 阿部清文

〒810-0001
福岡県福岡市中央区天神5-7-5
ベスト天神ビル6F
TEL.092-739-6610

福岡東支部



気力、体力、努力

支部長 三村政史

〒802-0023
福岡県北九州市小倉北区下富野5-1-
TEL.093-521-7702

大分支部



初志貫徹 武道空手

支部長 三村忠司

〒870-0933
大分県大分市花津留1-12-12
TEL.097-556-4511

総本部沖縄道場



他を益す

支部長 長崎健一

〒901-1304
沖縄県島尻郡与那原町東浜81-9
ネクステージゆめなり102号室
TEL.098-955-1493

北大阪支部

責任者 松井章奎
〈連絡先〉
総本部事務局
〒150-0033
東京都渋谷区猿楽町3−7
TEL.03-6452-5777

本部直轄

三郷・草加道場

〈三郷〉〒341-0024
埼玉県三郷市三郷2-16-8 加藤ビル3階
TEL.048-953-3277
〈草加〉〒340-0015
埼玉県草加市高砂1-3-5
ライオンズマンション草加1階
TEL.048-928-0523

埼玉春日部道場

〒344-0011
埼玉県春日部市藤塚1626
TEL.048-763-8117

新潟南道場

〒949-7117
新潟県南魚沼市長森新田20-1
TEL.080-4051-4108

三重東道場

〒510-0836
三重県四日市市松本3-12-17 豊ビル４F
TEL.059-223-0400

大阪天満橋道場

〒536-0016
大阪府大阪市城東区蒲生4-2-3-303
TEL.06-6939-0244

島根松江道場

〒690-0885
島根県松江市浜佐田町787-2
TEL.0852-36-6828

長崎諫早道場

〒854-0062
長崎県諫早市小船越町1048-2
諫早市中央体育館
TEL.0957-46-7900

熊本帯山道場

〒862-0924
熊本県熊本市帯山8-5-94
TEL.096-285-3442

佐賀支部・熊本支部・宮崎支部・鹿児島支部　連絡先／総本部事務局　東京都渋谷区猿楽町3−7　TEL.03-6452-5777

加圧トレーニング® 本部は「第58回全日本空手道選手権大会 2026極真祭」を応援しています。







KA A TSU®

TRAINING



Pressure Training the Father
Yoshiaki Satou
加圧トレーニング® 発明者 佐藤義昭







国際空手道連盟 総本部 極真会館は、加圧トレーニング®の普及・発展に努めています。

SHIDAX

未来の子供たちのために

シダックスグループは、

「未来の子供たちのために」

を使命とし、

より良い社会を次世代に継承するために

エッセンシャル・ヒューマンサービス事業を通じて、

社会課題を解決していく総合サービス企業です。



シダックス株式会社

〒150-0041　東京都渋谷区神南 1-12-10　シダックス・カルチャービレッジ

TEL.03-5784-8881（代表）

https://www.shidax.co.jp

CONGRATULATIONS

THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

2026 KYOKUSHINSAI



堀建設は
極真カラテを
応援します

株式会社 堀建設

CONGRATULATIONS

「第58回 全日本空手道選手権大会」

「2026極真祭」を応援します。



株式会社　大松

松 国 宣 英

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2-3-10



CONGRATULATIONS

「第58回 全日本空手道選手権大会」

「2026極真祭」を応援します。

idea group

イディアグループ

〒231-0014
神奈川県横浜市中区常盤町4-45 アートビル4F
TEL.045-212-5581 (代)


ZONE
GROUP


プレジャーリゾート 伊豆赤沢温泉

Kato Pleasure Group

日本のレジャーをもっと楽しく！

カトープレジャーグループは、ホテル、リゾート、レストラン、エンターテインメント、リバークルーズなど
多岐に亘る事業の開発や運営を行うトータルプロデュースカンパニーです。


ふふ 東京 銀座


ふふ 城ヶ島 海風のしらべ


i+Land nagasaki GRAX OCEAN VILLAGE


つるとんたん THE SKY TOKYO

東京本社　107-0062　東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル5F　TEL:03-6384-5030　FAX:03-6384-5063
大阪本社　543-0051　大阪府大阪市天王寺区四天王寺2-1-9　TEL:06-6771-0111　FAX:06-6772-8128
www.kpg.gr.jp

CONGRATULATIONS

THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

2026 KYOKUSHINSAI

志太塾は国際空手道連盟 極真会館
総本部の選手を応援します。



志太塾

谷川蒼哉

樋口知春

代表　志太　勤一

株式会社プロアホールディングスは
国際空手連盟 極真会館を
応援しております！

PROA HOLDINGS

警備・アウトソーシングなら、プロアホールディングス

【本社】
〒604-8451 京都府京都市中京区西ノ京
御輿岡町 25-16 イリアスビル
アウトソーシング事業部 tel.075-464-2626
セキュリティ事業部 tel.075-464-8777

【烏丸御池支社】
〒604-0835 京都府京都市中京区高宮町 206
御池ビル 7F-A
tel.075-222-2222

【東京支社】
〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-10
VORT 新橋 NEX ビル 4F
tel.03-5425-6221

【大阪支社】
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区
東中島 1 丁目 20-19 新大阪ヒカリビル 10F 1006 号
tel.06-6328-7337

《グループ企業 》

株式会社ライジング
株式会社ライジングファシリティーズ
人材派遣・警備

ディーエムサービス株式会社
人材派遣・警備

株式会社デルマーセキュリティ
人材派遣・警備

株式会社 DSC
警備

株式会社ジャパンファシリティーサービス
警備

株式会社 ING ダイナミクス
清掃

株式会社イリアス
不動産

株式会社マリアコミュニケーションズ
Web 制作・イベント企画

株式会社オールライフスタイルズ
和菓子「京三条駿河屋」

一般社団法人
メディカルケア・ライジング
A 型就労サポート「ひまわり」

株式会社ディーパ
輸入車販売

塩原カントリークラブ

リゾート地に佇む本格派ゴルフ場 フラットな林間27ホールズ

お得に塩原CCでゴルフプレー

乗用カートフェアウェイ走行
楽々プレーで大好評!

※コースコンディションにより乗り入れできない場合もございます。





塩原温泉宿泊ゴルフパック 1泊3食付 夕食 朝食 昼食 1Rプレー

塩原カントリークラブでゴルフを楽しんだら、疲れた体を温泉でリフレッシュ!

詳しくはこちら▶





塩原カントリークラブ 〒329-2804
栃木県那須塩原市折戸148
FAX:0287-35-3503 Mail:info@shiobara-cc.com
お電話でのお問い合わせ ✆0287-35-2211

LINE公式アカウント
初回友だち登録特典
平日無料プレー券が当たるチャンス!!
※他のクーポンと併用は出来ません。※お一人様一回限り。
ご登録はこちら▼

Shiobara Country Club

CONGRATULATIONS

「第58回 全日本空手道選手権大会」

「2026極真祭」を応援します。



WADA INTERNATIONAL FOUNDATION
WIF

米国公益法人
和田国際交流財団

理事長

和田友良

国際空手道連盟 極真会館「神奈川横浜北支部」は、
第58回全日本空手道選手権大会（2026極真祭）を応援します。

CONGRATULATIONS

THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP

2026 KYOKUSHINSAI

株式会社 クリエーション

代表取締役 野村保夫 〒220-0004 横浜市西区北幸2-9-40 銀洋ビル402

株式会社 横浜小泉不動産

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿4-1-28 https://www.yokohamakoizumi.com/

株式会社 大一興業

代表取締役 高橋和秀 〒225-0015 横浜市青葉区荏田北2-1-5

株式会社 今西建設

取締役社長 今西登之彦
取締役専務 今西 大

〒211-0034 川崎市中原区井田中ノ町8-8 ゾンネンハイム元住吉101 http://www.imanishi-const.co.jp/

株式会社 極真会館メディカルマネジメント

代表取締役 今西登之彦

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町639-2 http://www.kyokushin-mm.jp/

有限会社 コーセーリトル

代表取締役会長 小林繁之

〒245-0014 横浜市泉区中田南5-65-30 https://kose-little.co.jp/company

株式会社 イディアコーポレーション

代表取締役 池田喜紀 〒231-0014 横浜市中区常磐町4-45 アートビル5階

《個人・指導員協賛》

分支部長 杉山史紘　指導員 酒井一雄　師範代 相澤和政　指導員 大西秀治
指導員 坂田　正　指導員 李　權允　指導員 李　武志　指導員 森　誠司
指導員 土井清隆　指導員 根本明芳　指導員 原　敬一　指導員 安藤公敬
指導員 岡村真也　指導員 皆川朋輝　指導員 馬場慎之助　指導員 白濱　淳
指導員 石井鉄也　指導員 丸山正徳　指導員 岡村清二　指導員 伊藤滉一郎
知念尚子　戸部道場道場生一同　センター北道場道場生一同

虎の穴

CONGRATULATIONS

「第58回 全日本空手道選手権大会」

THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP 2026 KYOKUSHINSAI

“虎の穴”は
国際空手道連盟 極真会館
を応援しています。

館長 辛 永虎


clean
planet
New Energy, New Future.

SAIGEN

サイゲングループは、
スポーツをするすべての人を応援します

祝　第58回 全日本空手道選手権大会　2026極真祭

広いピットで安心安全作業 ★ 待機レーン大型5台完備



預り大型タイヤ保管ラック

株式会社しのざき

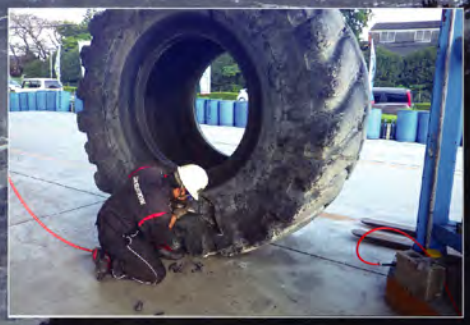
〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1　TEL.048-571-0700　FAX.048-573-7642

http://www.shinozaki-inc.com/

祝　第58回 全日本空手道選手権大会　2026極真祭

大型建機車両の部分修理作業 ★ 廃棄タイヤが生まれ変わる





株式会社 建機ソリューションしのざき

〒366-0801 埼玉県深谷市上野台1317-1　TEL.048-577-3920　FAX.048-573-7642

http://www.shinozaki-inc.com/

CONVERSE

真極

KYOKUSHIN・INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION

纏え、その一撃。



ALL STAR HI
KYOKUSHIN ICHIGEKI COLLECTION
"ONE STRIKE"

¥14,850（税抜¥13,500）
24.0cm,24.5cm,26.0~29.0cm



ALL STAR OX
EMBLEM (INTERNATIONAL)

￥13,200（税込￥12,000）
24.0cm,24.5cm,26.0~29.0cm



SUN LUCK

株式会社 サン・ラック

代表取締役 澤井 明彦

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-12 TEL.03-5816-2222(代表) http://www.sunluck777.co.jp

業務内容	パチンコ機・パチスロ機の販売	パーラーの玉貸機・両替機・計算機等の部品の販売	加盟	東日本遊技機商業協同組合
	パーラー経営に関わるトータルサポート業務	パーラーの設計デザイン		日本遊技関連事業協会
	パーラー補給システムの販売	パーラーの内装・外装デザインの企画設計施工		余暇環境整備推進協議会
				回胴式遊技機商業協同組合

施工の質を追究することで、
より魅力的な「エンターテイメント空間の創造」に貢献します。

エンターテイメント空間の創造

HOSHINO



SANKYO パーラー事業部 協力会社

有限会社 星野工務店

東京都知事許可番号 特(4)第114832号

〒110-0015 東京都台東区東上野2-22-8 株三共東上野第2ビル2F

Tel.03-3834-7777 Fax.03-3834-9999

URL:http://www.hoshino777.tokyo/



Land Mark

お客様の「感動」を導く上質な接客をめざして

ランドマークグループは極真会館を応援します。

ランドマークグループ
代表取締役 高田 慶済


ランドマーク網干


ランドマーク広畑

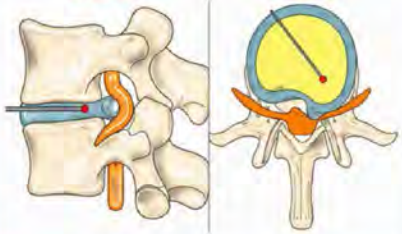

ランドマークたつの

〒671-1241　兵庫県姫路市網干区興浜 1479-1/ TEL:079-287-6702・FAX:079-287-6703

当院では腰と首の椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症のレーザー手術を実施しています。



経皮的レーザー椎間板減圧術（PLDD）
レーザー照射時



症例紹介　61歳男性



頸椎側面画像

右の症例はC5/6の
変形性頸椎症を伴う
頸椎脊柱管狭窄症

主訴：頸痛 頭痛 顔のしびれ

手術時間 5分
術後 1時間にて帰宅
リハビリは不要であった

手術日 2025年5月12日



医療法人　眞愛会

伊東くりにっく

大阪府泉佐野市下瓦屋 3-1-1
有本医療ビル一階

TEL 06-6453-4125

まずは気軽にお電話を



理事　伊東信久

WEBはこちら

シィード建設株式会社は 国際空手道連盟極真会館 兼久啓太朗選手 を応援しています。

シィード建設株式会社

SEED CONSTRUCTION CO.,LTD

一級建築士事務所 / 特定建設業 / 宅地建物取引業

一般建築　注文住宅　店舗建築　修繕・改修

施工管理募集中！あなたの力を待っています！詳細は当社ホームページの採用情報をご覧ください。

大阪本社 》 大阪市中央区北久宝寺町4丁目2番10号 東明ビル4階
TEL.06-6243-2210 / FAX.06-6243-2208

東京オフィス 》 東京都台東区浅草6丁目13番12-101号
TEL.03-5808-7870 / FAX.03-5808-7871

エクステリアダイアモンドムーンは
極真会館を応援しています。

継続は力なり

エクステリア ダイアモンドムーン
EX DIAMOND MOON

代表 服部 勝由
Katsuyoshi Hattori

◇本 社◇
〒425-0066 静岡県焼津市大島272-3
Mobile.090-2256-1830
Fax.054-623-0775

◇高柳倉庫◇
〒426-0041
静岡県藤枝市高柳 1989-1

◇取扱工事内容◇
カーポート工事/テラス工事/フェンス工事/物置工事/外構工事 etc.



http://www.ex-diamondmoon.com/

ボルト用マーキングスタンプ
Boltline Flex
ボルトライン フレックス
YouTube 使い方動画



[ご購入・お見積りのご相談は、お気軽にお問い合わせください]
MirateX株式会社
〒500-8234 岐阜市芋島3丁目5番2号 info@miratex.jp

太陽光発電をグループで
ワンストップサポート
それぞれの専門分野のプロフェッショナルが
太陽光発電設備をトータルで支えます

土地調達 申請
事前調査 現地調査
企画・設計 シミュレーション
施工 試運転
研究開発
メンテナンス パネル洗浄
作業効率化 安全対策
ケーブル 盗難対策

株式会社 加賀エネルギー研究所
土地調達・発電所設計・申請業務
株式会社 鈴電
電気設備・発電所・施工
株式会社 LEAP
メンテナンス、パネル洗浄
MirateX株式会社
IOT防犯システム、商材販売
OHTA合同会社
最先端技術の研究開発

株式会社 鈴電 岐阜市芋島3丁目5番2号 suzuden@amail.plala.or.jp

CONGRATULATIONS THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP 2026 KYOKUSHINSAI

蔵本整骨院

院 長 蔵本 昇

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-19
Tel.&Fax.06-4399-0505

CONGRATULATIONS THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP 2026 KYOKUSHINSAI

株式会社 チアフルフーズ

@CHEERFULFOODS_OFFICIAL

兼久啓太朗選手を応援してます

〒556-0021 大阪市浪速区幸町3-8-4
Tel.06-6568-5175 Fax.06-6568-5178

CONGRATULATIONS THE 58TH ALL JAPAN OPEN KARATE CHAMPIONSHIP 2026 KYOKUSHINSAI

空調設備・消防設備・建物清掃

有限会社
メトロビル管理

代表取締役 廣仲和幸

〒176-0003 東京都練馬区羽沢3丁目29番8号
Tel.03-3992-3313 Fax.03-3992-3314



KYOKUSHIN NEW ITEM

2026 AUTUMN I.K.O. KYOKUSHINKAIKAN ORIGINAL NEW T-SHIRTS & HOODIE & GOODS



■ コンバース・オールスター
× 極真会館〈黒地ハイカット〉
¥14,850（税込） size 24・24.5・26-29cm

■ コンバース・オールスター
× 極真会館〈黒地ローカット〉
¥13,200（税込） size 24・24.5・26-29cm



■ TA-17 黒 ¥4,400（税込） size 130・150・S・M・L・XL



■ TA-17 白 ¥4,400（税込） size 130・150・S・M・L・XL



■ 極真サイドTシャツ 白／黒
各¥4,400（税込） size 150・S・M・L・XL



■ 極真サイドTシャツ ダークブラウン
¥4,400（税込） size 150・S・M・L・XL





■ 極真ラインストーンZIPパーカー
ブラック／ヘザーグレー 各¥19,800（税込）
size S・M・L・XL・XXL



■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 黒 ¥6,930（税込） size S・M・L・XL・XXL



■ 一撃オリジナル
リカバリーTシャツ 白 ¥6,930（税込） size S・M・L・XL・XXL



■ 一撃ハーフパンツ
¥5,940（税込） size S・M・L・XL



■ 極真トレーニングパンツ
¥4,290（税込） size S・M・L・XL・XXL



■ 一道一念Tシャツ バーガンディ ¥4,400（税込）
size 130・150・S・M・L・XL



■ 一道一念Tシャツ 黒／白 各¥4,400（税込）
size 130・150・S・M・L・XL



■ 真極バスタオル ¥3,850（税込）
size w.120cm×h.60cm



■ 一撃キックミット ¥6,600（税込）



■ KYOKUSHINノート 各¥660（税込）
color 白／黒／赤 size w.105mm×h.150mm 80頁



■ ステッカー「キョクシンベアー」¥1,100（税込）
size w.210mm×h.150mm

真極 I.K.O.JAPAN

■ I.K.O.JAPANマフラータオル ¥2,750（税込）
size w.115cm×h.20cm



■ ICHIGEKIスーツケース型ポーチ
¥1,980（税込） size w.11×h.8×5.5cm



■ 真極ジャガードマフラータオル
〈赤〉〈キョクシンベアー〉
各¥2,750（税込） size w.110cm×h.20cm



■ キョクシンベアー
ステンレスボトル
¥4,400（税込） 容量1000ml



■ FRIXIONボールペン〈極真会〉
各¥1,000（税込） color 黒／パステルブルー／パステルピンク

※在庫有りの商品も欠品、販売終了になる場合がございます。また予告なく価格が変更になる場合がございます。詳しくは「一撃オフィシャルショップ」HPをご覧ください。

ICHIGEKI OFFICIAL SHOP TEL.0120-512-182 FAX.0120-512-184
https://www.ichigeki-officialshop.com/


THE 58TH
ALL JAPAN OPEN KARATE
CHAMPIONSHIP